

小野町第3期
子ども・子育て支援事業計画策定に係る
ニーズ調査

－ 調査結果報告書 －

令和7年3月

小 野 町

目 次

I 調査概要

1. 調査の目的	1
2. 調査内容	1
3. 調査対象及び調査方法	1
4. 調査の回収結果	2
5. 集計について	2

II 就学前児童 集計結果

◇ 調査結果（概要）	3
1. お子さんご家族の状況について	9
2. お子さんの育ちをめぐる環境について	11
3. お子さんの保護者の就労状況について	17
4. お子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について	23
5. お子さんの地域子育て支援事業の利用状況について	30
6. お子さんの土曜日・日曜日・祝日や長期休暇中の「定期的」な利用希望について	34
7. お子さんの病気の際の対応（平日の教育・保育を利用する方のみ）について	38
8. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かりなどの利用について	43
9. 小学校就学後の放課後の過ごし方について	48
10. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について	54
11. 小野町の子育て環境や子育て支援施策全般について	63

Ⅲ 小学生 集計結果

◇ 調査結果（概要）	67
1. お子さんご家族の状況について	69
2. お子さんの育ちをめぐる環境について	71
3. 保護者の就労状況について	71
4. 放課後の過ごし方について	77
5. 子どもの居場所づくり事業について	89
6. 小野町の子育て環境や子育て支援施策全般について	92

I 調查概要

I 調査概要

1. 調査の目的

本調査は、2025年度からスタートする「小野町第3期子ども・子育て支援事業計画」（令和7年度～令和11年度）の策定にあたり、子育てに関する実態やニーズを把握し、保育サービス等の需要並びに事業量等の分析における基礎資料とすることを目的とする。

2. 調査内容

アンケート調査の内容は以下のとおり。

項 目	就学前	小学生
ご家族の状況について	○	○
育ちをめぐる環境について	○	○
保護者の就労状況について	○	○
平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について	○	
地域子育て支援事業の利用状況について	○	
土曜日・日曜日・祝日や長期休暇中の「定期的」な利用希望について	○	
病気の際の対応（平日の教育・保育を利用する方のみ）について	○	
不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かりなどの利用について	○	
小学校就学後の放課後の過ごし方について	○	○
子どもの居場所づくり事業について		○
育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について	○	
小野町の子育て環境や子育て支援施策全般について	○	○

3. 調査対象及び調査方法

	就学前児童保護者	小学生保護者
調査対象	町内に居住する就学前児童が 含まれる世帯の保護者	町内に居住する小学生が 含まれる世帯の保護者
対象者数	220 人	380 人
抽出方法	住民基本台帳より無作為抽出	
調査方法	就学前：郵送配布・回収 小学生：学校配布・回収	
調査時期	令和6年7月3日～7月22日	
調査地域	小野町内全域	

4. 調査の回収結果

種 類	対象者数	回収数	白紙回答	有効回収数	有効回収率
就学前児童	220 票	114 票	0 票	114 票	51.8%
小学生	380 票	317 票	0 票	317 票	83.4%

注：有効回収数=白紙回答を除いた数

5. 集計について

- ・集計結果を百分率（％）で表す場合、小数点第2位を四捨五入し第1位までの表記とした。このため、百分率の合計が100にならない場合がある。
- ・母数（n=●と表記）は、回答者全員が答えるべき設問については回答者数、条件付き設問については、その設問に答えるべき該当者の数とする。
- ・複数回答を可とした設問で、選択肢をひとつも選択しなかった場合は「無回答」として集計する。
- ・単数回答（一つのみ選択）の設問において、複数選択した場合は、上記と同様に「無回答」として集計する。
- ・グラフ表示に際して、選択肢が多い場合などは、一部値の小さい数値の表記を省略する場合がある。

Ⅱ 就学前児童アンケート調査

集計結果

Ⅱ 就学前児童 集計結果

◇ 調査結果（概要）

1. お子さんご家族の状況について

子どもの年齢は、「0歳」及び「3歳」がともに18.4%と最も高く、以下、「2歳」が17.5%、「5歳」が15.8%、「4歳」が14.9%、「1歳」が13.2%となっている。

また、きょうだいの数は、「2人」が44.7%と最も高く、「1人」が21.9%、「3人」が19.3%、「4人」が12.3%、「5人」が1.8%となっている。

本調査票の回答者は、「母親」が90.4%と多数を占めている。

同居されている方は、「母親、父親ともに」が86.8%と最も高く、以下、「祖母（近居）」が30.7%、「祖母（同居）」が28.9%、「祖父（同居）」が26.3%、「祖父（近居）」が25.4%となっている。

子育てを主に行っている人は、「母親、父親ともに」が62.3%、「母親」が28.9%となっている。

2. お子さんの育ちをめぐる環境について

子育てに日常的に関わっている方は、「母親、父親ともに」が68.4%と最も高く、以下、「認定こども園」が55.3%、「祖父母」が35.1%、「母親」が23.7%となっている。

子育てに最も影響すると思われる環境については、「家庭」(93.0%)及び「認定こども園」(68.4%)が非常に高い比率となっている。

日頃、子どもをみてもらえる親族・知人がいるかは、「日常的に祖父母などの親族にみてもらえる」(48.2%)及び「緊急時もしくは用事の際には祖父母などの親族にみてもらえる」(45.6%)の比率が高く、その状況については、「祖父母などの親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が46.9%と最も高いものの、一方で「祖父母などの親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」及び「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」(ともに27.6%)、「祖父母などの親族の身体的負担が大きく心配である」(21.4%)において、それぞれ2割以上が負担感を感じている。

気軽に相談できる人や場所については、「いる／ある」が95.6%と多数を占め、具体的には「祖父母などの親族」(84.4%)や「友人や知人」(63.3%)、「利用している保育所・幼稚園・認定こども園」(43.1%)が上位となっている。

情報の入手先は、「広報おのまち」(65.8%)や「おのまち健康カレンダー」(37.7%)が上位となっている。一方、「特に得ていない」は23.7%となっている。

3. 保護者の就労状況について

【母親の就労状況】

母親の就労状況は、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 39.8%と最も高く、以下、「パート・アルバイトなどで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 23.0%、「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」及び「以前は就労していたが、現在は就労していない」がともに 15.0%などとなっている。

就労日数は、「5日」(87.0%)、1日あたりの就労時間は「8時間」(43.5%)、家を出る時間は「8時台」(50.0%)、帰宅時間は「18時台」(40.2%)が、それぞれ最も高い比率となっている。

「パート・アルバイト」などで就労している方の「フルタイム」への変更希望については、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が 33.3%と最も高く、「パート・アルバイトなどの就労を続けることを希望」は 30.0%となっている。

現在就労していない方の就労希望については、「1年より先、一番下の子どもが●歳になったころに就労したい」が 65.0%となっており、年齢は「3歳」が 46.2%、「1歳」及び「4歳」がともに 15.4%となっている。

「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の希望就労形態は、「パート・アルバイトなど」が 62.5%と多数を占め、希望就労日数は「4日」(60.0%)、希望就労時間は、「5時間」(50.0%)が、それぞれ最も高い比率となっている。

【父親の就労状況】

「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」が 95.4%と多数を占めている。

就労日数は、「5日」(68.2%)、1日あたりの就労時間は「8時間」(44.9%)、家を出る時間は「7時台」(56.1%)、帰宅時間は「19時台」(30.8%)が、それぞれ最も高い比率となっている。

「パート・アルバイト」などで就労している方は1人であった。

4. お子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

現在の幼稚園や保育所などの教育・保育事業の定期的な利用については、「利用している」が 73.7%と多数を占め、利用している種類は「認定こども園」が 81.0%と最も高く、「認可外の保育施設」(15.5%)と続く。

保育所などの現在の週あたりの利用日数は「5日」(84.5%)、1日あたりの利用時間は「8時間」(32.1%)、利用開始時間は「8時台」(60.7%)、利用終了時間は「16時台」(36.9%)が、それぞれ最も高い比率となっている。

保育所などの利用希望については、週あたり希望利用日数は、「5日」(61.9%)、1日あたりの利用希望時間は「8時間」及び「9時間」(ともに 21.4%)、希望開始時間は「8時台」(45.2%)、終了時間は「17時台」(31.0%)が、最も高い比率であり、現在の利用状況と同様の日数・時間を希望している。

保育所などの場所は「小野町内」が 97.6%と大多数を占め、小野町以外の市町村」は 1.2%となっている。

保育所などを利用している理由は、「子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している」（83.3%）や「子どもの教育や保育のため」（57.1%）が多く、一方、利用していない理由は、「子どもがまだ小さいため（●歳くらいになったら利用しようと考えている）」（51.7%）や「利用する必要がない（子どもの教育や保育のため、子どもの母親か父親が就労していないなど）」（27.6%）となっている。

すべての方について、今後、定期的に利用したい教育・保育事業は、「認定こども園」（81.6%）の比率が高く、利用希望場所は「小野町内」が 96.5%であり、「小野町以外の市町村」は 1.8%となっている。

「幼稚園」を希望した方で、幼稚園の利用（預かり保育をあわせて利用する場合を含む）を強く希望するかについては、「はい」と全員が回答している。

5. お子さんの地域子育て支援事業の利用状況について

地域子育て支援拠点事業の利用状況は、「利用していない」が 84.2%と多数を占める。「地域子育て支援拠点事業」を利用しているのは 11.4%で、月「2回」（61.5%）の利用となっている。「その他当該自治体で実施している類似の事業」の利用者は 1.8%（2人）であり、月「5回」の利用となっている。

今後の利用希望については、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が 66.7%と多数を占めている。

これまでに利用したことがある事業は、②親子ふれあい教室（32.5%）、③幼児のわくわくタイム（25.4%）は 20%を超えている。

今後利用したい事業は、⑤おのまち認定こども園内おひさまカフェ（20.2%）、③幼児のわくわくタイム（17.5%）、⑥こども家庭センター（子育て支援課）での相談（15.8%）などとなっている。

これまでに利用したことがない事業は、①ママのリフレッシュ教室（54.4%）、②親子ふれあい教室（43.0%）、⑥こども家庭センター（子育て支援課）での相談（41.2%）、⑤おのまち認定こども園内おひさまカフェ（40.4%）が 4 割を超えている。

知らない事業は、④笑顔のひろば（40.4%）、⑤おのまち認定こども園内おひさまカフェ（25.4%）、⑥こども家庭センター（子育て支援課）での相談（24.6%）の比率が高くなっている。

6. お子さんの土曜日・日曜日・祝日や長期休暇中の「定期的」な利用希望について

土曜日の利用希望は「月に 1～2 回は利用したい」が 19.3%、「ほぼ毎週利用したい」が 11.4%となっており、“ほぼ毎週”は「8 時台」（53.8%）から「17 時」（53.8%）まで、“月に 1～2 回”は「8 時台」（63.6%）から「17 時台」（36.4%）の利用が、それぞれ最も比率が高い回答となっている。

日曜日・祝日の利用希望は「月に1～2回は利用したい」が11.4%、「ほぼ毎週利用したい」が0.9%となっており、“ほぼ毎週（1人）は「8時台」から「18時台」まで、“月に1～2回”は「8時台」（53.8%）から「17時台」（30.8%）の利用が、それぞれ最も比率が高い回答となっている。

“月に1～2回”は利用したい理由は、土曜日、日曜日・祝日ともに「月に数回仕事が入るため」が最も高く、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」、「息抜きのため」と続く。

幼稚園を利用されている方の、夏休み・冬休みなどの長期休暇期間中の教育・保育事業の利用希望は、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が33.8%、「休みの期間中、週に数日利用したい」が5.9%となっており、“毎日”は「8時台」（60.9%）から「16時台」（39.1%）まで、“週に数日（4人）”は「8時台」から「16時台」の利用が、それぞれ最も比率が高い回答となっている。

“週に数日”利用したい理由は、“土曜日”“日曜・祝日”と同様に「週に数回仕事が入るため」が高くなっている。

7. お子さんの病気の際の対応（平日の教育・保育を利用する方のみ）について

子どもが病気やケガで通常教育・保育事業が利用できなかったことが「あった」のは79.8%であり、その場合「母親が休んだ」が86.6%と圧倒的多数を占め、「（同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった」（46.3%）、「父親が休んだ」（34.3%）と続く。

「母親（または父親）が仕事を休んだ」際に、52.5%が「できれば病児・病後児保育施設などを利用したい」と回答しており（「利用したいとは思わない」は45.8%）、希望する病児・病後児保育の事業形態は、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」（87.1%）や「他の施設に併設した施設で子どもを保育する事業」（54.8%）の比率が高く、「地域住民などが子育て家庭などの身近な場所で保育する事業」は9.7%となっている。

病児・病後児保育施設などを「利用したいとは思わない」理由は、「親が仕事を休んで対応する」（74.1%）や「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」（59.3%）の比率が高く、利用料が分からない」（25.9%）、「地域の事業の質に不安がある」（22.2%）と続く。

子どもが病気やケガで、通常教育・保育事業が利用できなかった際に、父母が休まず対応した方について、（父母のいずれかが）「できれば仕事を休んで看たい」が39.5%、「休んで看ることは非常に難しい」が34.2%となっており、難しい理由は「休暇日数が足りないので休めない」が53.8%（7人）、「子どもの看護を理由に休みがとれない」が38.5%（5人）、「自営業なので休めない」が7.7%（1人）となっている。

8. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かりなどの利用について

私用、親の通院、不定期の就労などの目的で不定期に利用しているサービスには、「一時預かり」及び「幼稚園・認定こども園（幼稚園型）の預かり保育」がともに6.1%（各7人）であり、「利用していない」は82.5%となっている。

上記「利用していない」理由は、「特に利用する必要がない」が78.7%で最も高く、以下、「事業

の利用方法（手続きなど）が分からない」（13.8%）、「利用料が分からない」（12.8%）、「利用料がかかる・高い」及び「自分が事業の対象者になるのかどうか分からない」（ともに10.6%）と続く。

私用、親の通院、不定期の就労などを目的とする一時的な預かり事業について、「利用したい」は42.1%（「利用する必要はない」は52.6%）であり、利用したい理由は、「ア．私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事など）、リフレッシュ目的」が70.8%と最も高く、「イ．冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院 など」が62.5%、「ウ．不定期の就労」が12.5%、「エ．その他」が2.1%となっている。また、一時的預かりの利用希望形態は、「大規模施設で子どもを保育する事業」が72.9%、「小規模施設で子どもを保育する事業」は52.1%、「地域住民などが子育て家庭などの近くの場所で保育する事業」は12.5%となっている。

保護者の用事により、泊まりがけで家族以外に預ける場合（子育て短期支援事業などの利用）については、「利用したい」は13.2%であり、その理由は「イ．保護者や家族の育児疲れ・不安」が60.0%と最も高く、以下、「ウ．保護者や家族の病気」が46.7%、「ア．冠婚葬祭」が40.0%、「エ．その他」が6.7%となっている。

9. 小学校就学後の放課後の過ごし方について

低学年（1～3年生）の放課後に過ごさせたい場所は、「自宅（保護者と過ごす）」が50.0%と最も高く、「祖父母宅や親戚宅、友人・知人宅」及び「放課後児童クラブ・学童保育」（ともに38.9%）、「放課後子ども教室」（33.3%）と続く。一方、高学年（4～6年生）の放課後に過ごさせたい場所は、「自宅（保護者と過ごす）」が55.6%と最も高く、「祖父母宅や親戚宅、友人・知人宅」（50.0%）、「習い事（ピアノ教室、学習塾、スポーツクラブなど）」（38.9%）と続く。

放課後児童クラブ・学童保育の利用希望がある方で、土曜日及び日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用希望は「高学年（4～6年生）になっても利用したい」がともに28.6%、長期休暇中の利用希望は、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が42.9%、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」は28.6%となっている。

10. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

【母親の育児休業について】

育児休業の取得については、「取得した（取得中である）」が57.5%、「取得していない」が11.5%となっている（「働いていなかった」が27.4%）。

育児休業を取得していない理由は、「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」（53.8%）、「配偶者が無職、祖父母などの親族にみてもらえるなど、制度利用の必要がなかった」（15.4%）が最上位となっている。

育児休業取得後に離職（「育児休業中に離職した」）した方が9.2%いる。「育児休業取得後、職場に復帰した」は69.2%で、復帰時期は「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が53.3%となっている。また、実際の取得期間の子どもの年齢は、平均1歳1.8か月であり、希望の平均

1歳4.1か月と、2.3か月の差がある。

希望より早く復帰した理由は「経済的な理由で早く復帰する必要があった」及び「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」（ともに25.0%）が、希望より遅く復帰した理由は「希望する保育所などに入れなかったため」（50.0%）が最上位となっている。

職場復帰時に短時間勤務制度を「利用した」は44.4%であり、「利用したかったが、利用できなかった」が28.9%、「利用する必要がなかった」が24.4%となっている。

【父親の育児休業について】

育児休業の取得については、「取得していない」が88.1%と多数を占め、「取得した（取得中である）」が5.5%となっている。

育児休業を取得していない理由は、「仕事が忙しかった」（45.8%）や「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」（39.6%）、「配偶者が育児休業制度を利用した」（37.5%）、「収入減となり、経済的に苦しくなる」（29.2%）、「配偶者が無職、祖父母などの親族にみてもらえるなど、制度利用の必要がなかった」（21.9%）などが上位となっている。

育児休業取得後に離職（「育児休業中に離職した」）した方はおらず、「育児休業取得後、職場に復帰した」は83.3%で、復帰時期は「それ以外だった」（年度初めの入所に合わせたタイミング以外）が80.0%となっている。また、実際の取得期間の子どもの年齢は、平均1歳5.5か月であり、希望の平均0歳6.5か月と、0.9か月の差がある。

希望より早く復帰した理由は、該当者は2人で「経済的な理由で早く復帰する必要があった」及び「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」（各2人）、（希望より遅く復帰した人は2人で無回答）。

職場復帰時に短時間勤務制度を「利用した」方はおらず、「利用する必要がなかった」が40.0%（2人）、「利用したかったが、利用できなかった」が20.0%（1人）となっている。

11. 小野町の子育て環境や子育て支援施策全般について

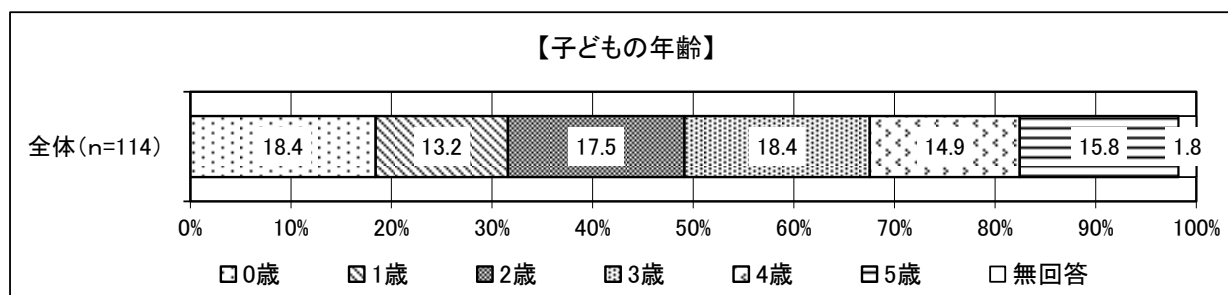
町内の利用したことのある公園については、「小野運動公園」が73.7%と最も高く、「緑とのふれあいの森公園」（9.6%）、「中央児童公園」（6.1%）、「万景公園」（0.9%）となっている。

本町における子育ての環境や支援への満足度は、「3（普通）」が58.8%と最も高く、以下、「2（やや不満がある）」が20.2%、「1（不満がある）」が10.5%、「4（やや満足している）」が7.0%、「5（満足している）」が2.6%となっている。

1. お子さんご家族の状況について

問1. 宛名のお子さんの生年月をご記入ください。

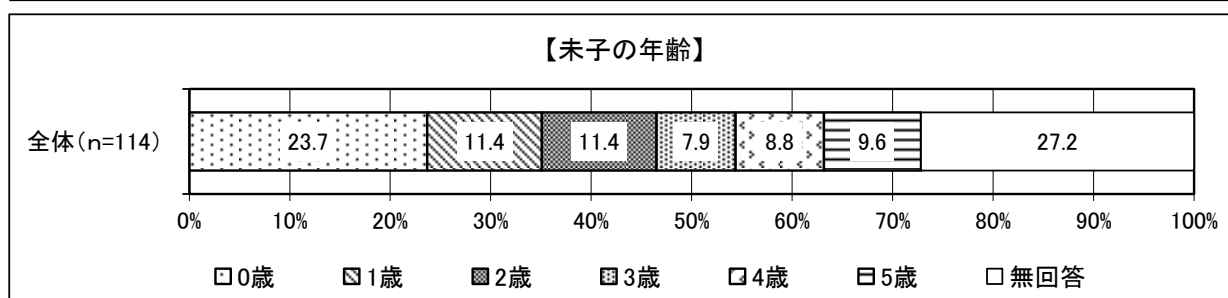
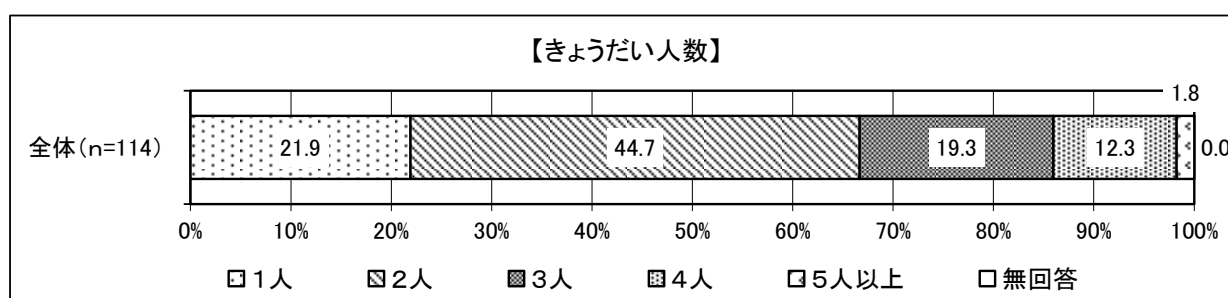
子どもの年齢は、「0歳」及び「3歳」がともに18.4%と最も高く、以下、「2歳」が17.5%、「5歳」が15.8%、「4歳」が14.9%、「1歳」が13.2%となっている。



問2. 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を口内に数字でご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。（口内に数字をご記入ください。）

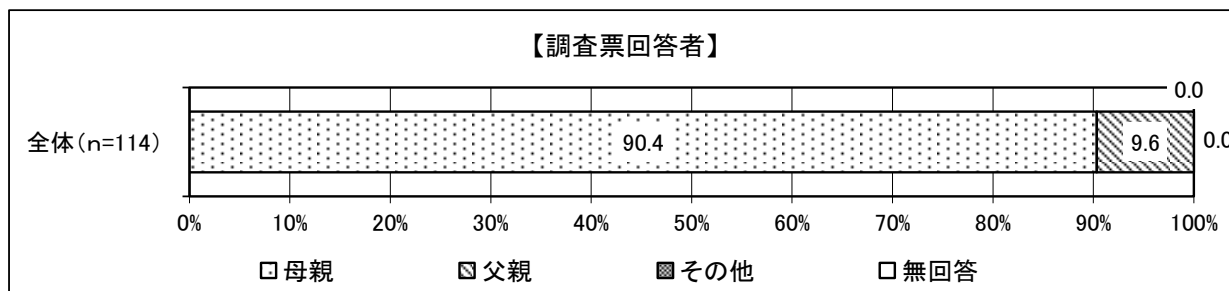
きょうだい数は、「2人」が44.7%と最も高く、以下、「1人」が21.9%、「3人」が19.3%、「4人」が12.3%、「5人」が1.8%となっている。

末子の年齢は、「0歳」が23.7%、「1歳」及び「2歳」がともに11.4%、「5歳」が9.6%、「4歳」が8.8%、「3歳」が7.9%となっている。



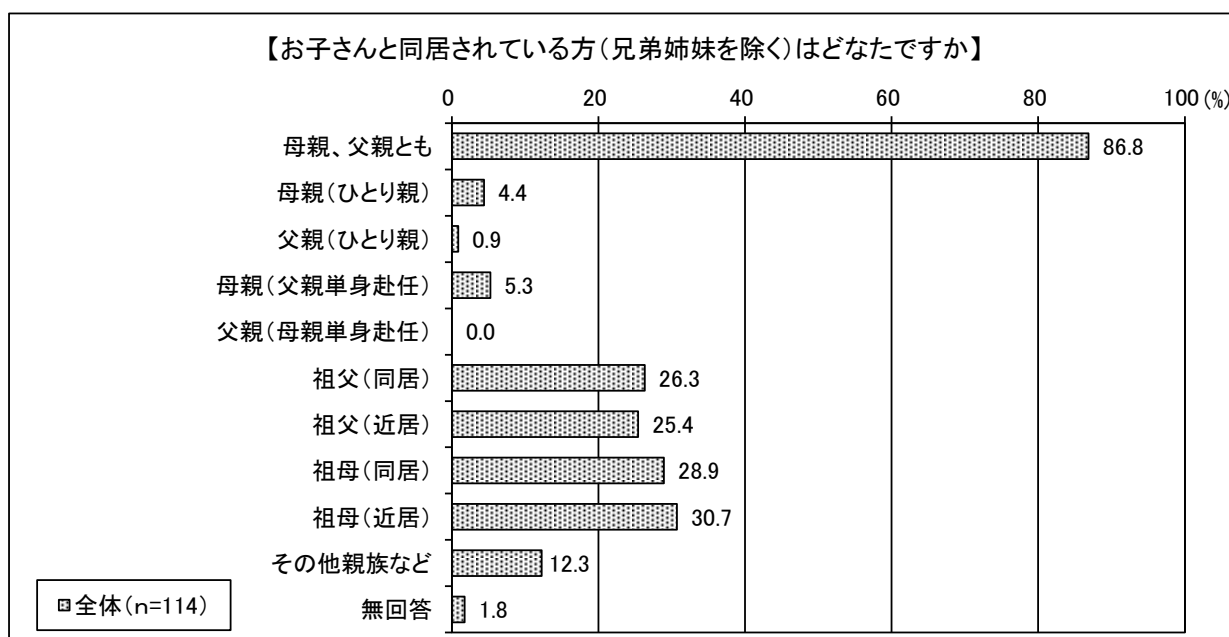
問3. この調査票にお答えいただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。（☑は1つのみ）

本調査票の回答者は、「母親」が90.4%と多数を占め、「父親」は9.6%となっている。



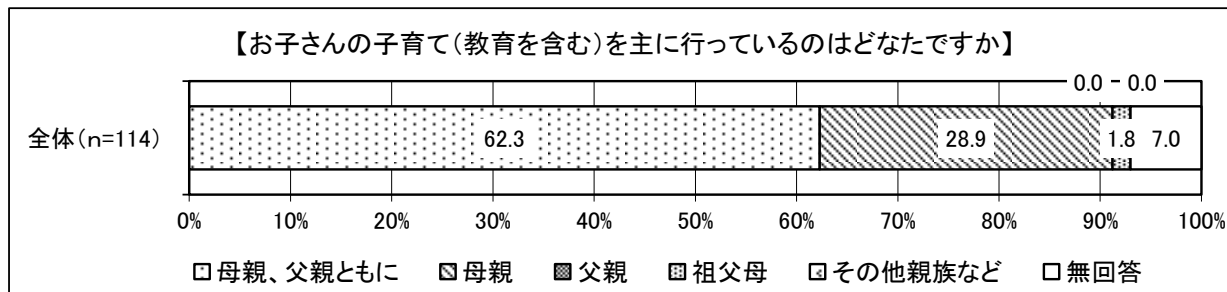
問4. お子さんと同居されている方（兄弟姉妹を除く）はどなたですか。お子さんから見た関係でお答えください。祖父、祖母については同居または近居（おおむね30分で行き来できる状況）の別でお答えください。（☑はいくつでも）

同居されている方は、「母親、父親とも」が86.8%と最も高く、以下、「祖母（近居）」が30.7%、「祖母（同居）」が28.9%、「祖父（同居）」が26.3%、「祖父（近居）」が25.4%となっている。



問5. 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。（☑は1つのみ）

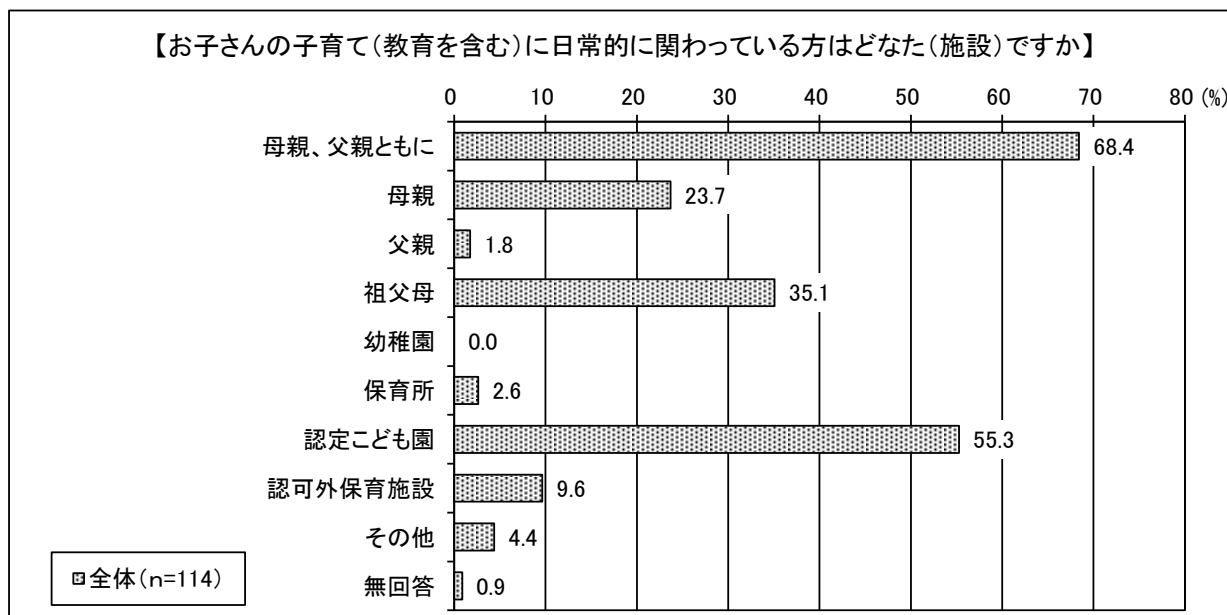
子育てを主に行っている人は、「母親、父親ともに」が62.3%と最も高く、以下、「母親」が28.9%、「祖父母」が1.8%となっている。



2. お子さんの育ちをめぐる環境について

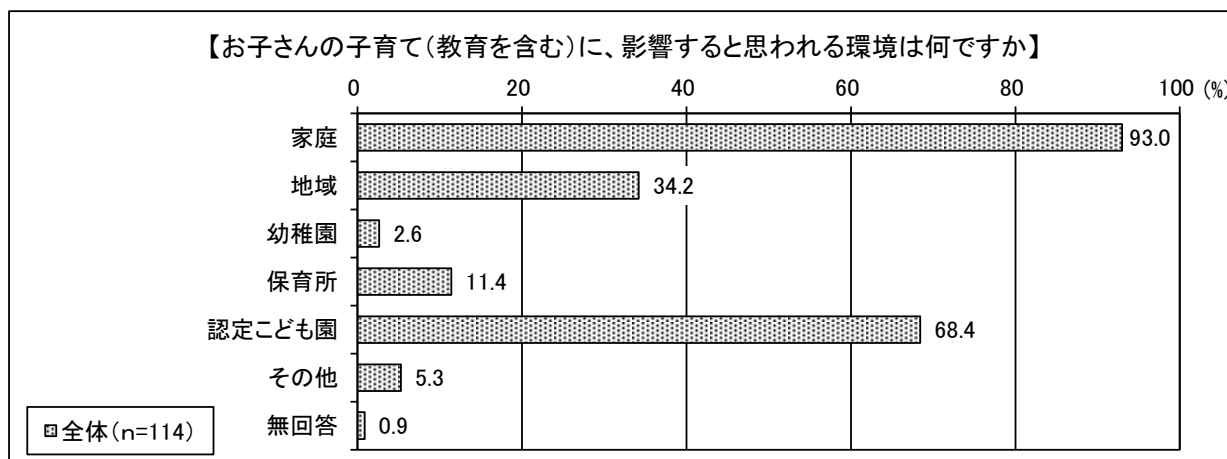
問6. 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係でお答えください。（☑はいくつでも）

子育てに日常的に関わっている方は、「母親、父親ともに」が68.4%と最も高く、以下、「認定こども園」が55.3%、「祖父母」が35.1%、「母親」が23.7%となっている。



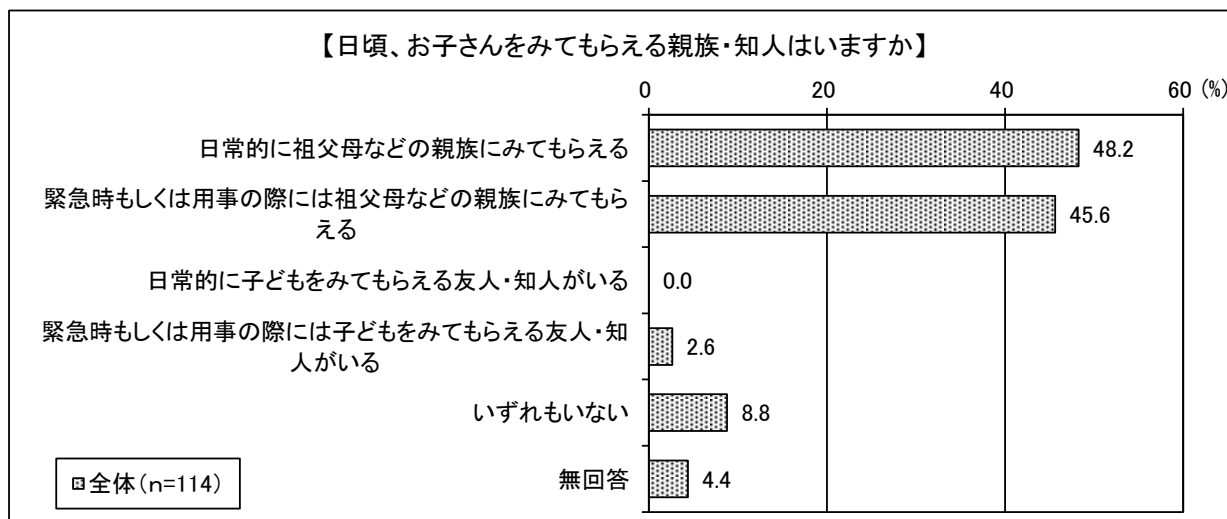
問7. 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に、影響すると思われる環境についてお答えください。（☑はいくつでも）

子育てに最も影響すると思われる環境については、「家庭」が93.0%と最も高く、以下、「認定こども園」が68.4%、「地域」が34.2%となっている。



問8. 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。（☑はいくつでも）

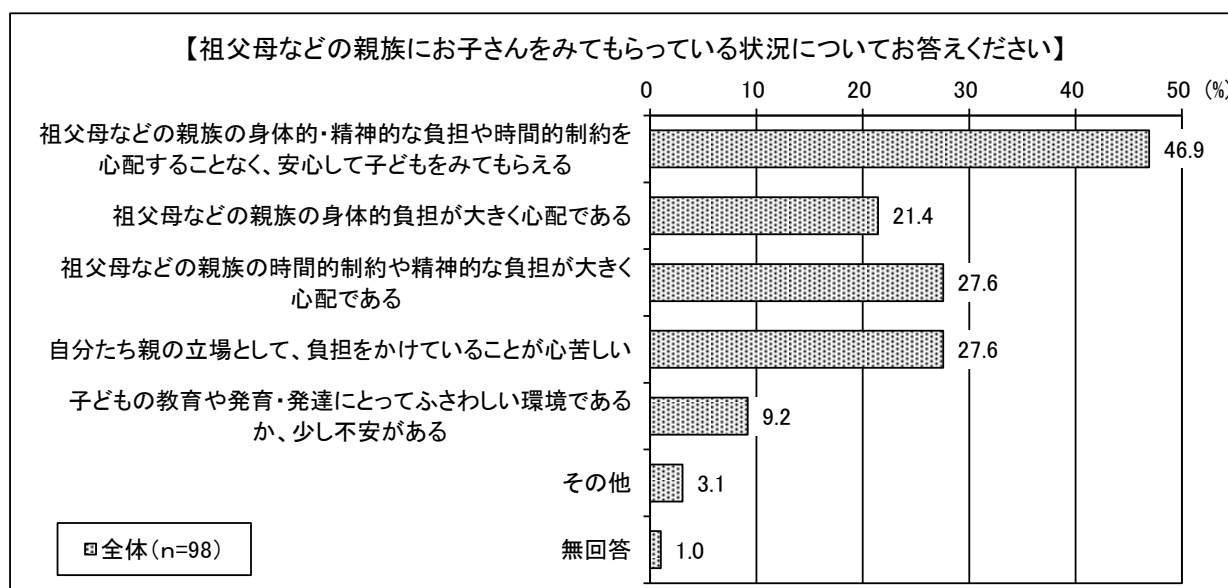
日頃、子どもをみてもらえる親族・知人がいるかは、「日常的に祖父母などの親族にみてもらえる」が48.2%と最も高く、以下、「緊急時もしくは用事の際には祖父母などの親族にみてもらえる」が45.6%、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が2.6%となっており、「いずれもない」は8.8%となっている。



【問8で「親族にみてもらえる」とお答えいただいた方にお聞きします。】

問8－1. 祖父母などの親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。
(☑はいくつでも)

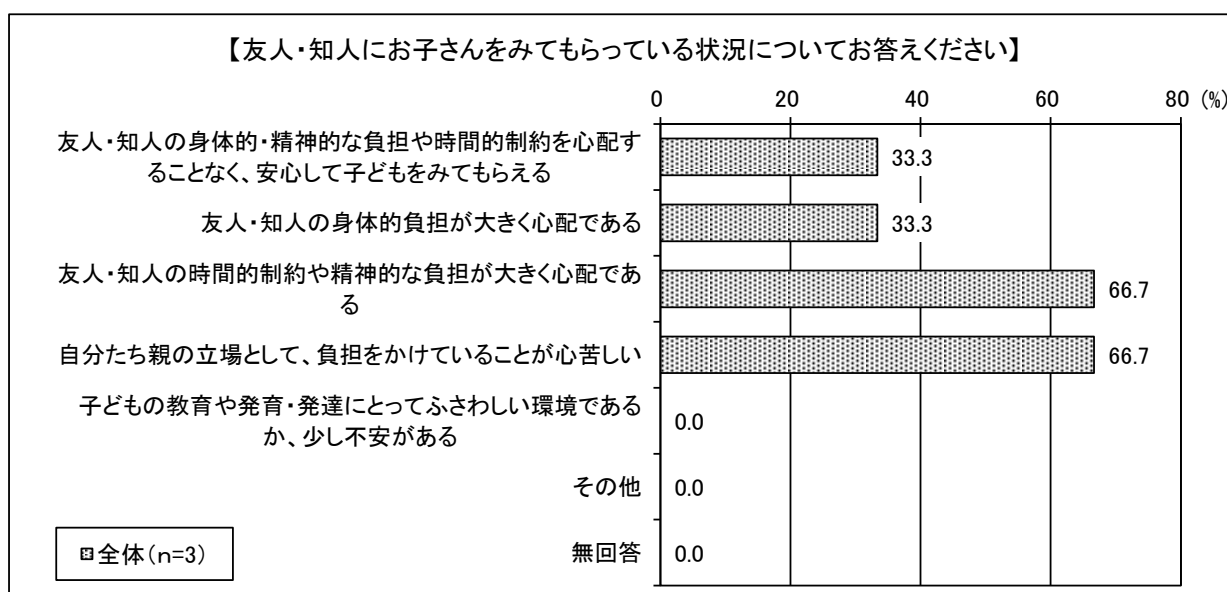
祖父母などの親族にお子さんをみてもらっている状況については、「祖父母などの親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が46.9%と最も高く、以下、「祖父母などの親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」及び「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」（ともに27.6%）、「祖父母などの親族の身体的負担が大きく心配である」(21.4%)、「子どもの教育や発育・発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある」(9.2%) となっている。



【問8で「みてもらえる友人・知人がいる」とお答えいただいた方にお聞きします。】

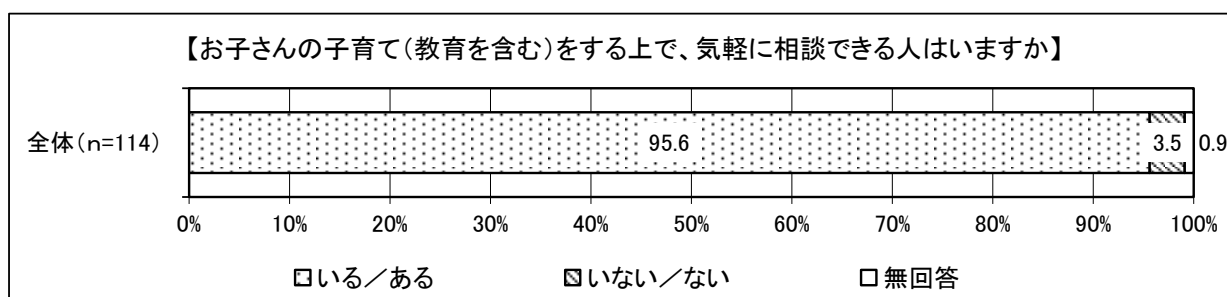
問8-2. 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。
(☑はいくつでも)

友人・知人にお子さんをみてもらっている状況については、回答者は3人で「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」及び「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が各2人、「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」及び「友人・知人の身体的負担が大きく心配である」が各1人となっている。



問9. 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか（☑は1つのみ）

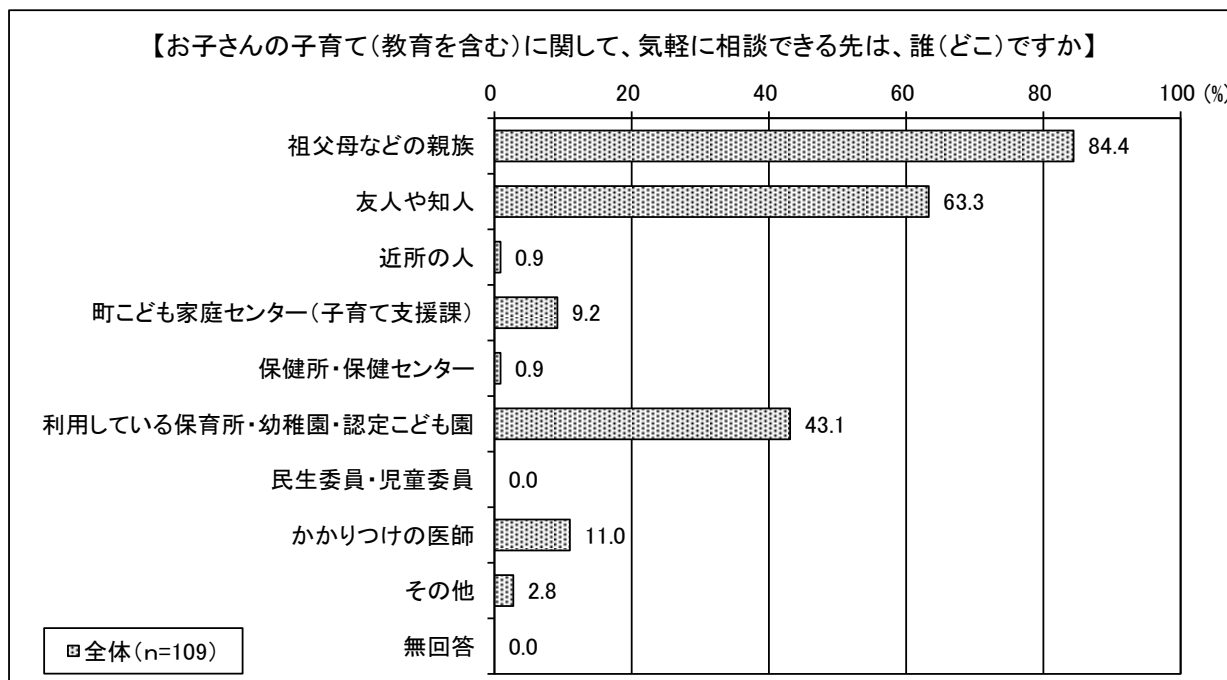
気軽に相談できる人、また、相談できる場所があるかについては、「いる／ある」が95.6%と多数を占め、「いない／ない」が3.5%となっている。



【問9で「いる／ある」とお答えいただいた方にお聞きします。】

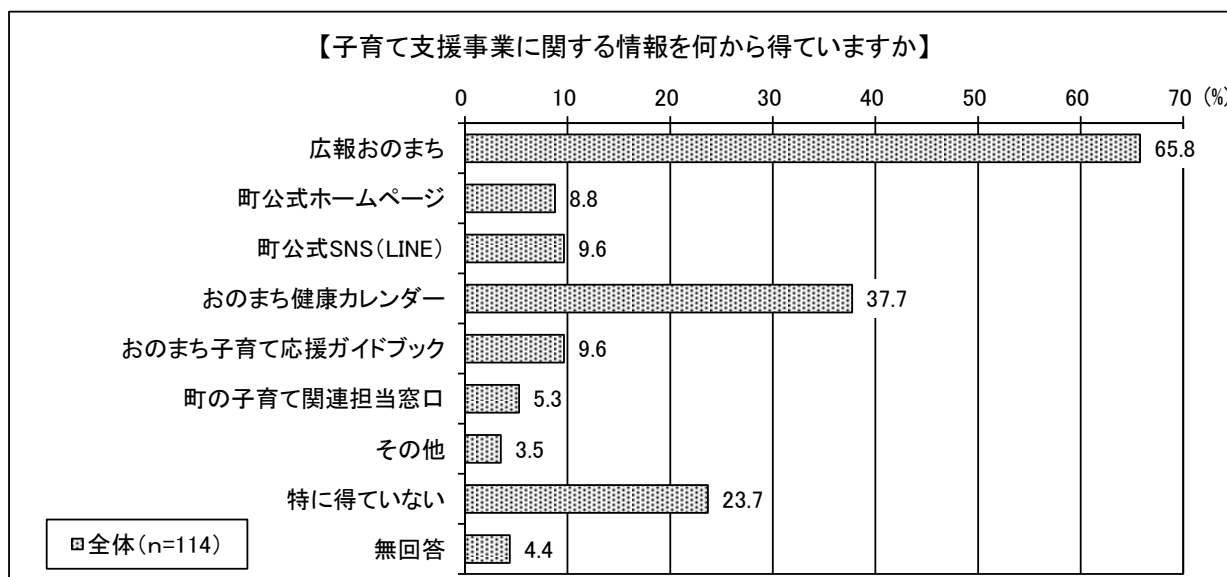
問9－1. お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。（☑はいくつでも）

子育てに関して、気軽に相談できる先は、「祖父母などの親族」が84.4%と最も高く、以下、「友人や知人」（63.3%）、「利用している保育所・幼稚園・認定こども園」（43.1%）が上位となっている。



問10. 子育て支援事業に関する情報を何から得ていますか。（☑はいくつでも）

子育て支援事業に関する情報を何から得ているかについては、「広報おのまち」（65.8%）及び「おのまち健康カレンダー」（37.7%）が上位となっており、それ以外の項目は10%未満となっている。また、「特に得ていない」は23.7%となっている。



問 11. 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

子育てをする上、周囲からどのようなサポートがあればよいかについて、20 人から 24 件の意見等が寄せられており、「病児・病後児保育・医療体制」（5 件）や「一時預かり・ベビーシッター・休日保育」（4 件）、「経済的支援」（2 件）、「相談窓口・体制」（2 件）などの意見があった。

No.	項目	件数
1	病児・病後児保育・医療体制	5
2	一時預かり・ベビーシッター・休日保育	4
3	経済的支援	2
4	相談窓口・体制	2
5	こども園	1
6	送迎サービス	1
7	保育料無償化	1
8	遊び場の整備（屋内外）	1
9	交流の場・体験教室等	1
10	情報提供	1
11	その他	1
12	特になし	4

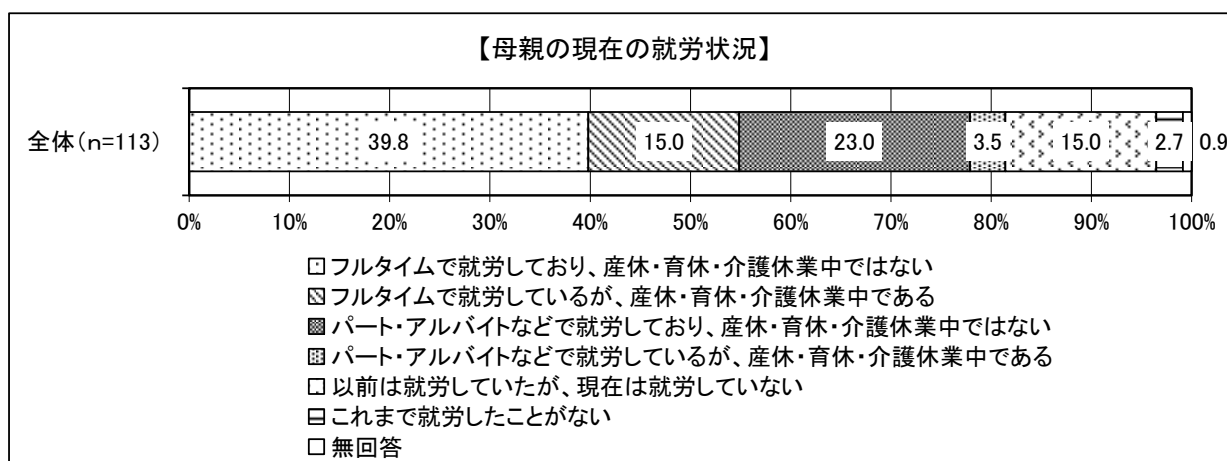
※1 つの調査票に複数の内容が記載されている場合、件数は複数回カウントしている。

3. お子さんの保護者の就労状況について

《母親の状況について》

問 12 (1) . 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況をお聞きます。(☑は1つのみ)

母親の就労状況は、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 39.8%と最も高く、以下、「パート・アルバイトなどで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 23.0%、「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」及び「以前は就労していたが、現在は就労していない」がともに 15.0%などとなっている。

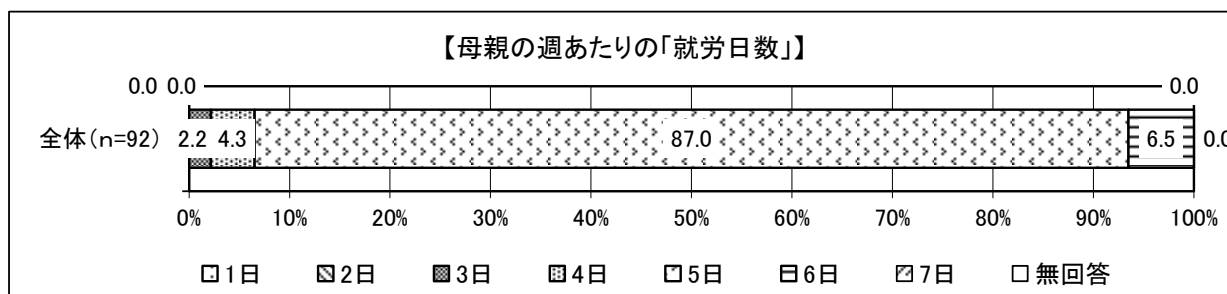


【(1) で「就労している」とお答えいただいた方にお聞きます。】

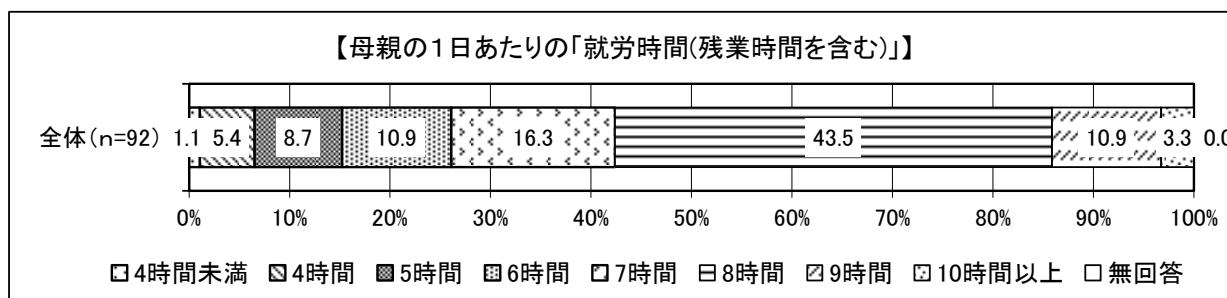
1 週当たりの「就労日数」、1 日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。

(1)-1 1 週あたりの就労日数と 1 日あたりの就労時間（残業時間を含む）

母親の週あたりの就労日数は、「5 日」が 87.0%と多数を占め、以下、「6 日」が 6.5%、「4 日」が 4.3%、「3 日」が 2.2%となっている。

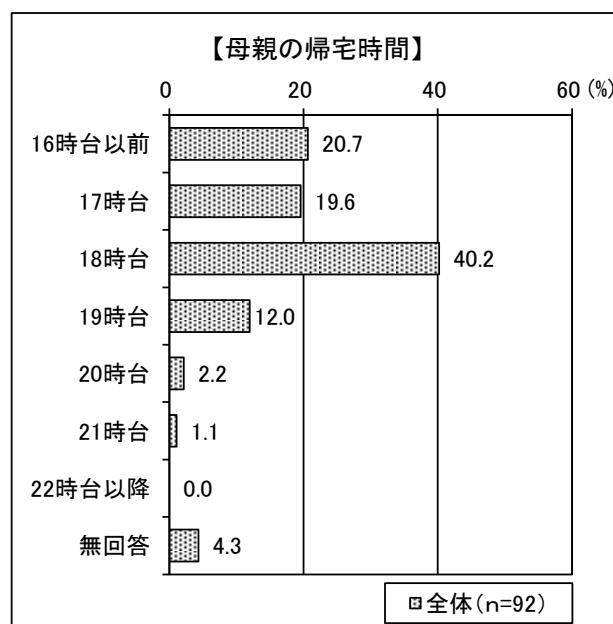
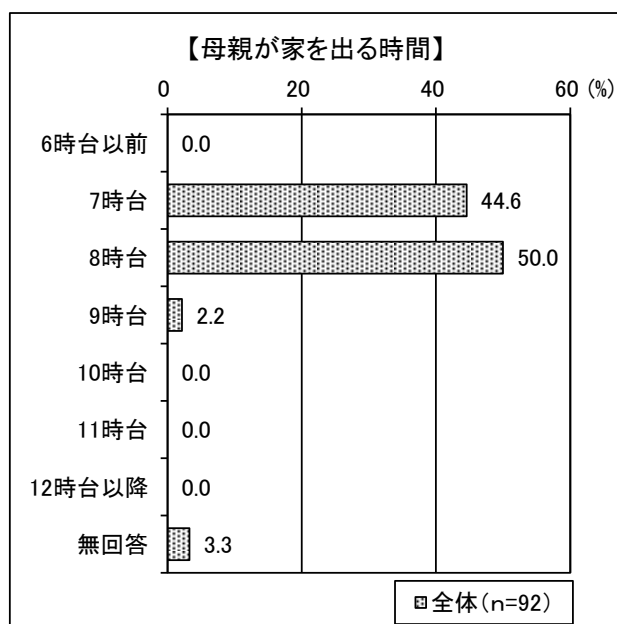


母親の1日あたりの就労時間は、「8時間」が43.5%と最も高く、以下、「7時間」が16.3%、「6時間」及び「9時間」がともに10.9%となっている。



(1)-2 家を出る時間と帰宅時間

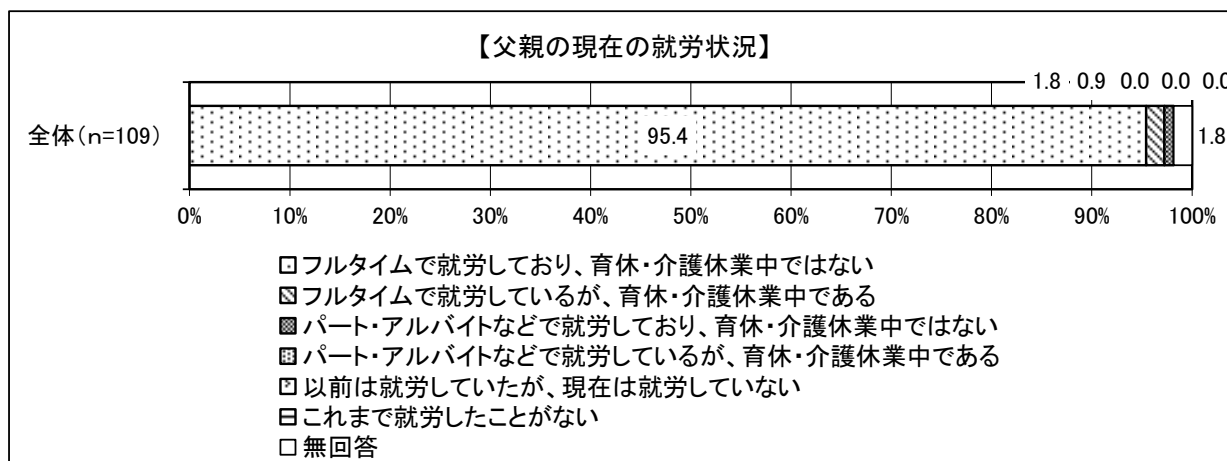
母親が家を出る時間は、「8時台」が50.0%と最も高く、「7時台」が44.6%となっている。帰宅時間は、「18時台」が40.2%と最も高く、「16時台以前」が20.7%、「17時台」が19.6%、「19時台」が12.0%などとなっている。



《父親の状況について》

問 12（２）．宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況をお聞きます。（☑は１つのみ）

父親の就労状況は、「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」が 95.4%と多数を占め、以下、「フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である」が 1.8%、「パート・アルバイトなどで就労しており、育休・介護休業中ではない」が 0.9%となっている。

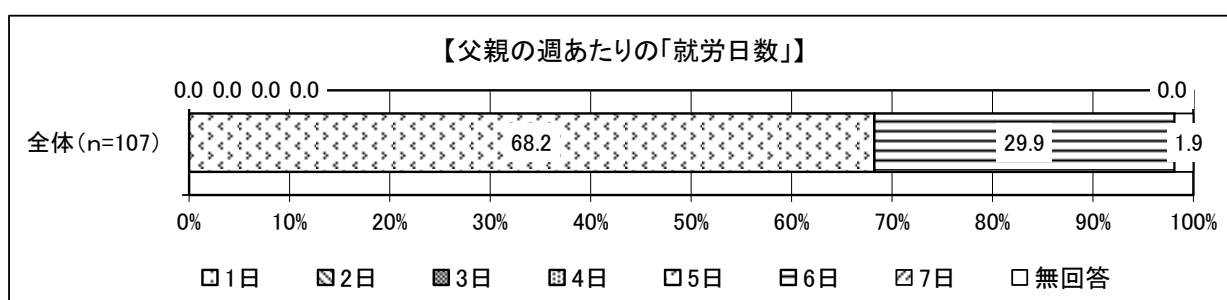


【（２）で「就労している」とお答えいただいた方にお聞きます。】

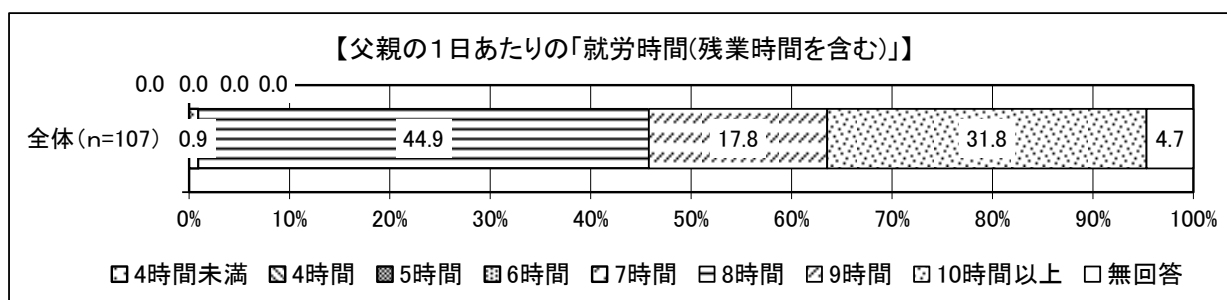
１週当たりの「就労日数」、１日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。

(2)-1 １週あたりの就労日数と１日あたりの就労時間（残業時間を含む）

父親の週あたりの就労日数は、「５日」が 68.2%と多数を占め、以下、「６日」が 29.9%となっている。

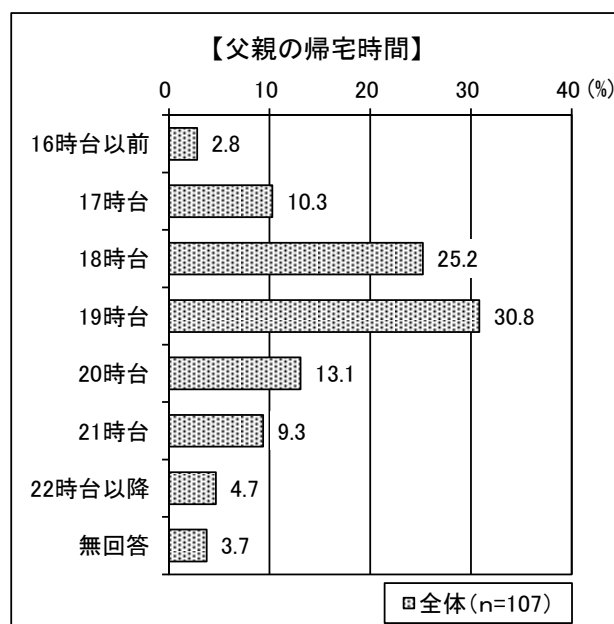
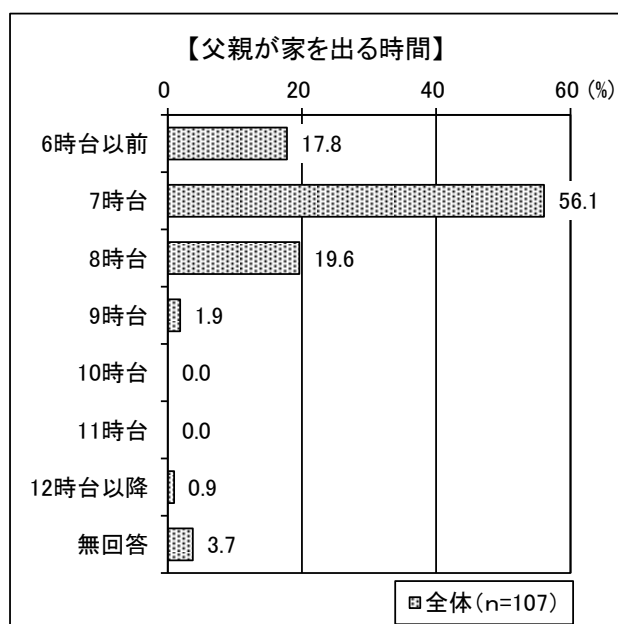


父親の1日あたりの就労時間は、「8時間」が44.9%と最も高く、以下、「10時間以上」が31.8%、「9時間」が17.8%となっている。



(2)-2 家を出る時間と帰宅時間

父親が家を出る時間は、「7時台」が56.1%と最も高く、以下、「8時台」が19.6%、「6時台以前」が17.8%と続いている。帰宅時間は、「19時台」が30.8%と最も高く、以下、「18時台」が25.2%、「20時台」が13.1%、「17時台」が10.3%などとなっている。

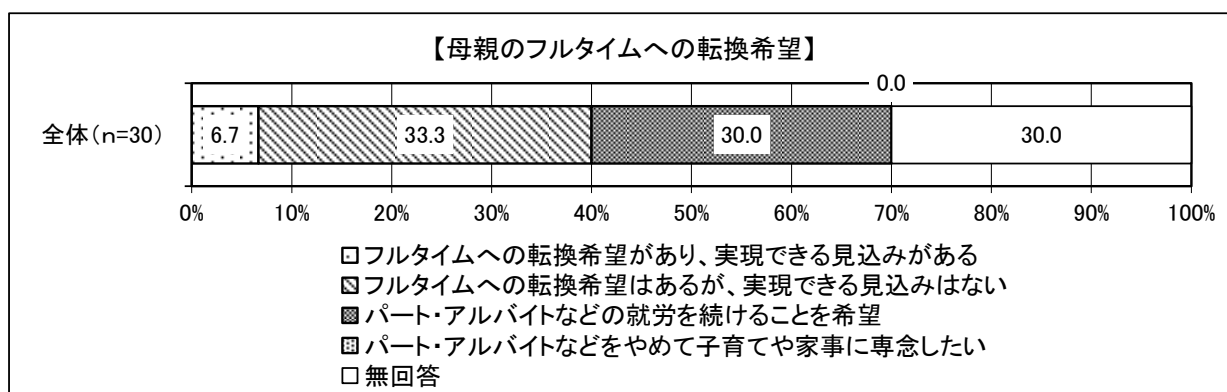


【問 12 の（１）または（２）で「パート・アルバイトなどで就労している」とお答えいただいた方にお聞きします。】

問 13. フルタイムへの転換希望はありますか。（それぞれ☑は１つのみ）

◇母親

フルタイムへの転換希望については、「パート・アルバイトなどの就労を続けることを希望」が 30.0%となっている。また、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」(33.3%)と「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」(6.7%)を合わせた４割は『転換希望』がある。



◇父親

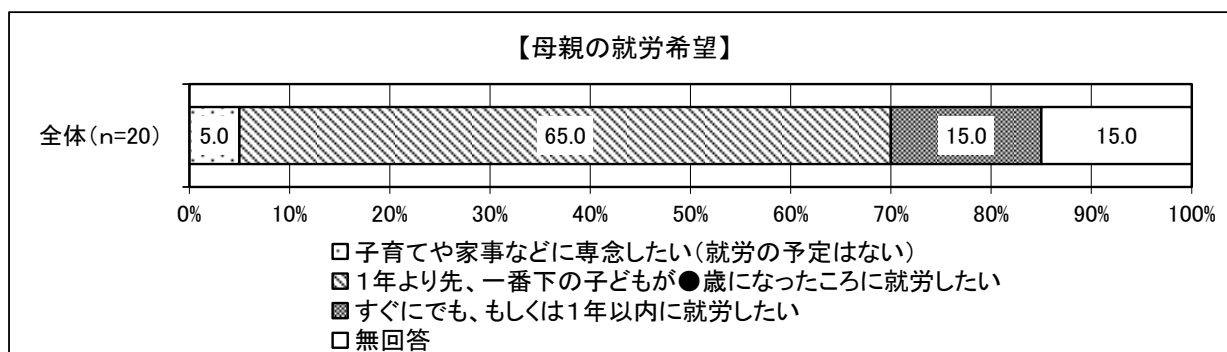
該当者は１人で「無回答」となっている。

【問 12 の（１）または（２）で「就労していない」「就労したことがない」とお答えいただいた方にお聞きします。】

問 14. 就労したいという希望はありますか。（☑は１つのみ）

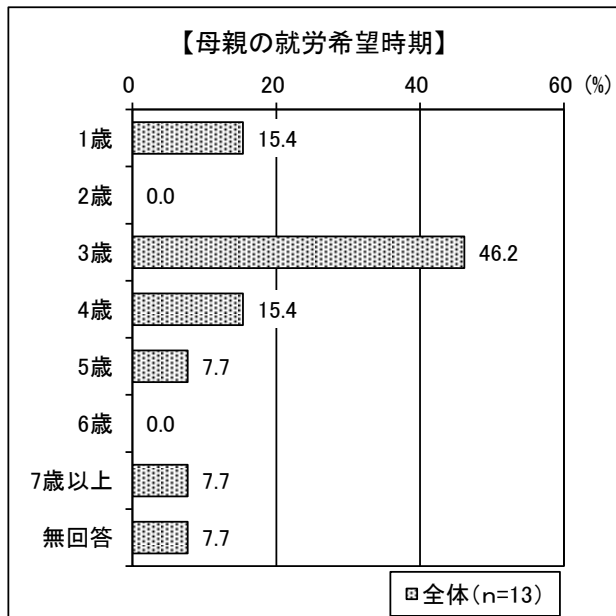
◇母親

就労希望については、「１年より先、一番下の子どもが●歳になったところに就労したい」が 65.0%と最も高く、「すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい」が 15.0%、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が 5.0%となっている。



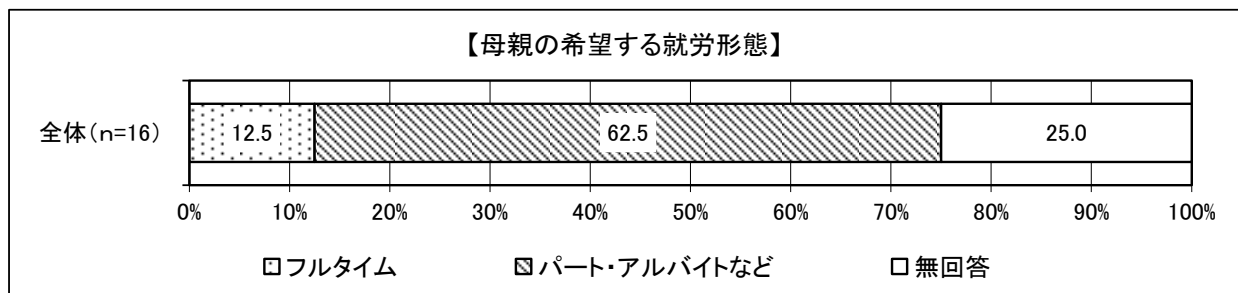
【「1年より先、一番下の子どもが●歳になったところに就労したい」の回答の子どもの年齢】

就労希望時期については、「3歳」が46.2%、「1歳」及び「4歳」がともに15.4%となっている。

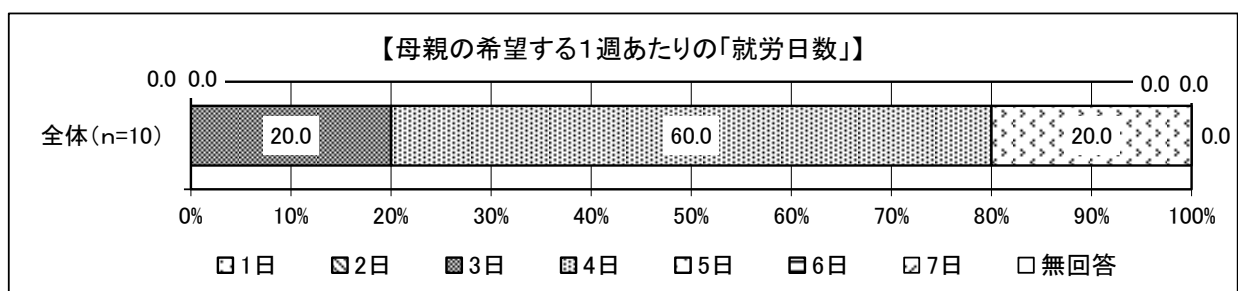


【「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の希望勤務形態】

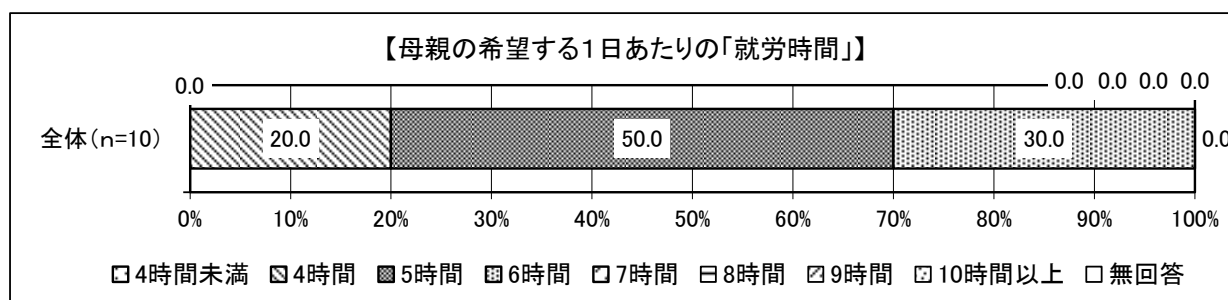
希望する就労形態は、「パート・アルバイトなど」が62.5%と多数を占め、「フルタイム」が12.5%となっている。



希望する週あたりの就労日数は、「4日」が60.0%、「3日」及び「5日」がともに20.0%となっている。



希望する1日あたりの就労時間は、「5時間」が50.0%、「6時間」が30.0%、「4時間」が20.0%となっている。



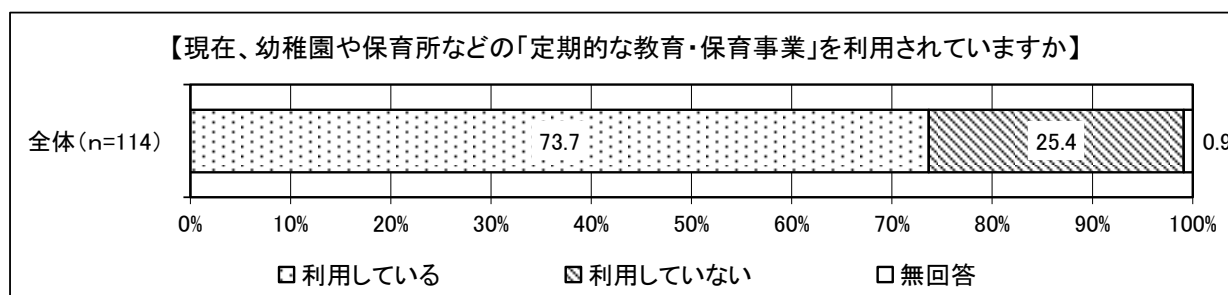
◇父親

該当者はなし。

4. お子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

問 15. 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育事業」を利用されていますか。（☑は1つのみ）

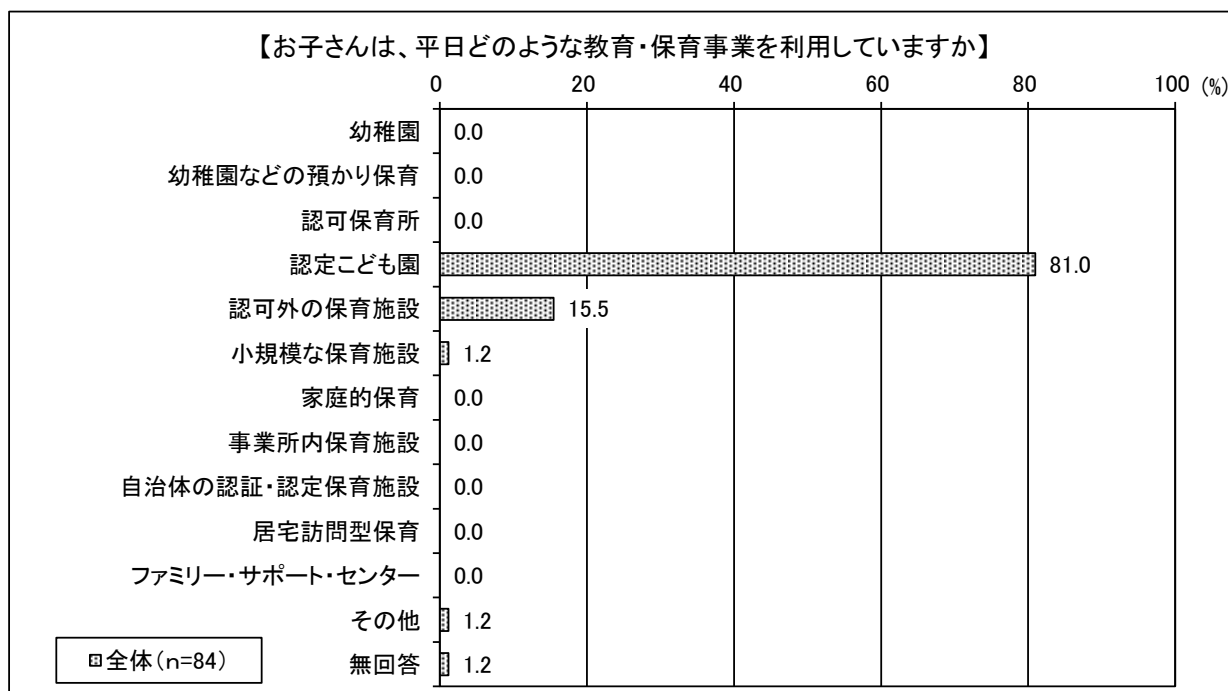
現在、平日の幼稚園や保育所などの定期的な教育・保育事業の利用は、「利用している」が73.7%と多数を占め、「利用していない」は25.4%となっている。



【問 15-1～問 15-4 は、問 15 で「利用している」とお答えいただいた方にお聞きします。】

問 15-1. 宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。（☑はいくつでも）

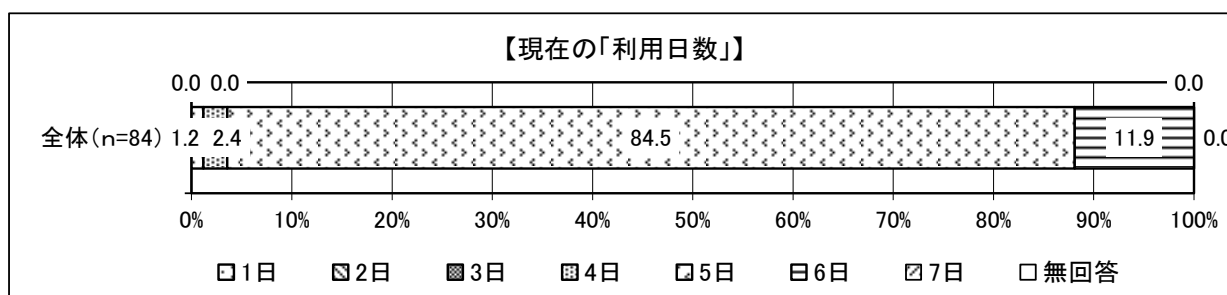
平日、利用している教育・保育事業の種類は、「認定こども園」が 81.0%と最も高く、以下「認可外の保育施設」（15.5%）、「小規模な保育施設」（1.2%）となっている。



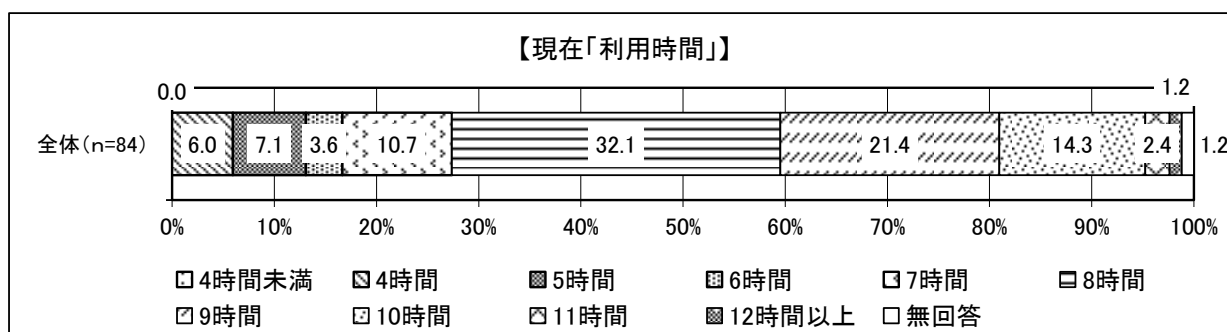
問 15-2. 平日に定期的に利用している教育・保育事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。（☑は1つのみ）

◇現在

現在の週あたりの利用日数は、「5日」が 84.5%と最も高く、以下、「6日」が 11.9%、「4日」が 2.4%、「1日」が 1.2%となっている。

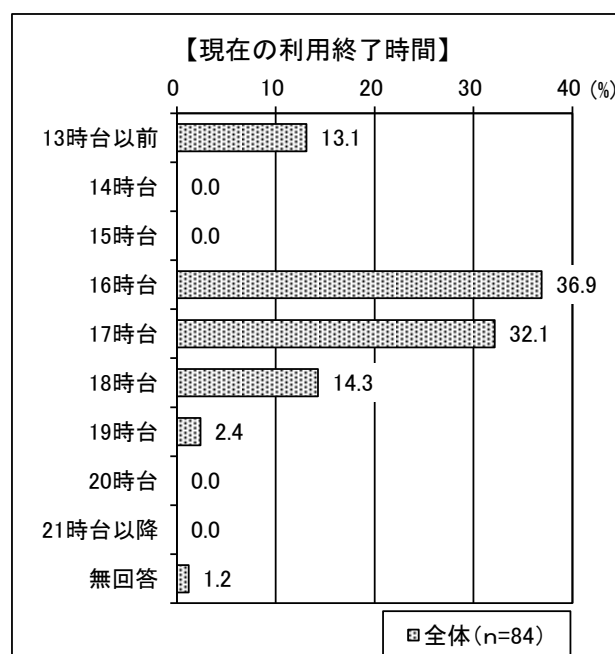
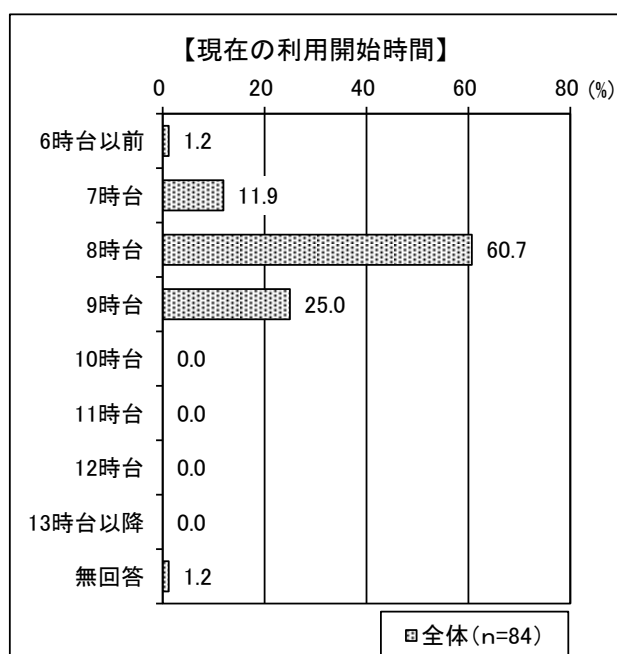


現在の1日あたりの利用時間は、「8時間」が32.1%と最も高く、以下、「9時間」が21.4%、「10時間」が14.3%、「7時間」が10.7%となっている。



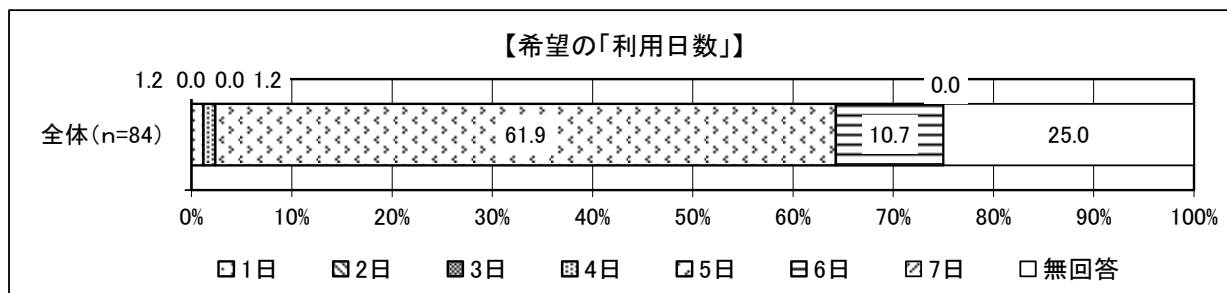
【現在の利用時間（開始時間・終了時間）】

現在の利用開始時間は、「8時台」が60.7%、「9時台」が25.0%、「7時台」が11.9%であり、利用終了時間は、「16時台」が36.9%、「17時台」が32.1%、「18時台」が14.3%、「13時台以前」が13.1%となっている。

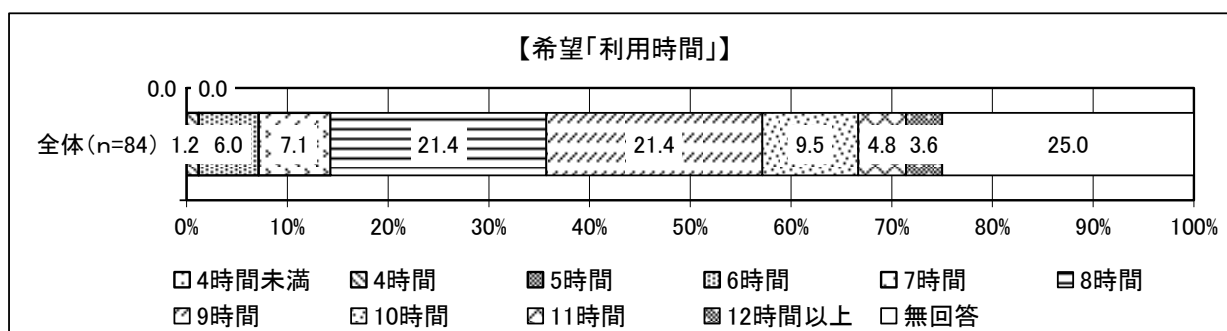


◇希望

希望の週あたりの利用日数は、「5日」が61.9%と最も高く、以下、「6日」が10.7%、「1日」及び「4日」がともに1.2%となっている。

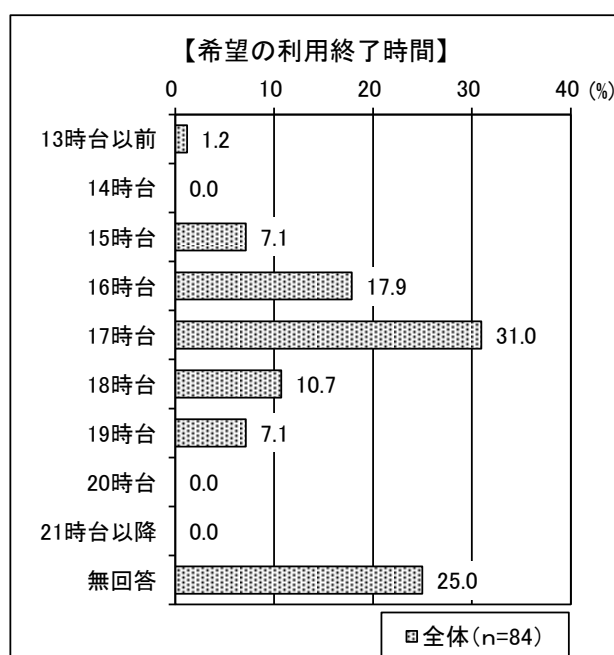
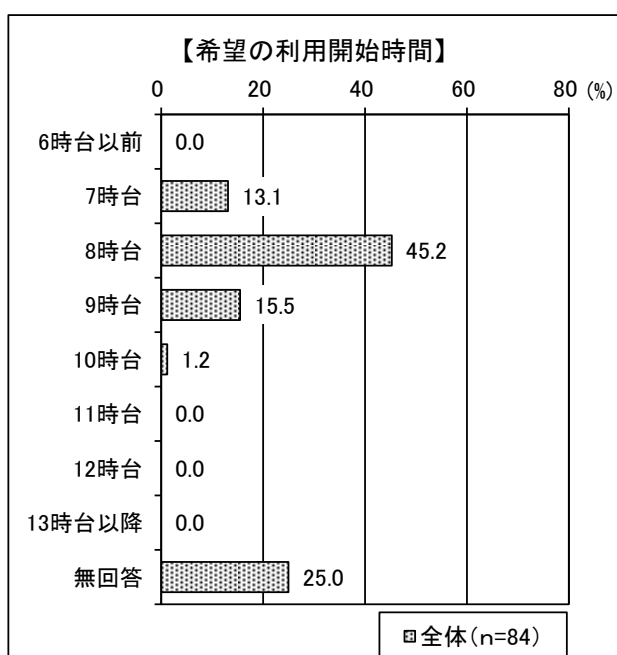


希望の1日あたりの利用時間は、「8時間」及び「9時間」がともに21.4%と最も高く、以下、「10時間」が9.5%、「7時間」が7.1%となっている。



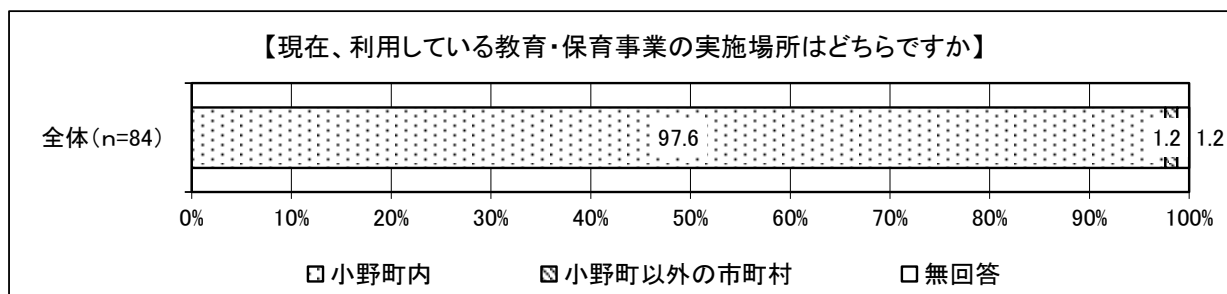
【希望の利用時間（開始時間・終了時間）】

希望の利用開始時間は、「8時台」が45.2%、「9時台」が15.5%、「7時台」が13.1%であり、利用終了時間は、「17時台」が31.0%、「16時台」が17.9%、「18時台」が10.7%となっている。



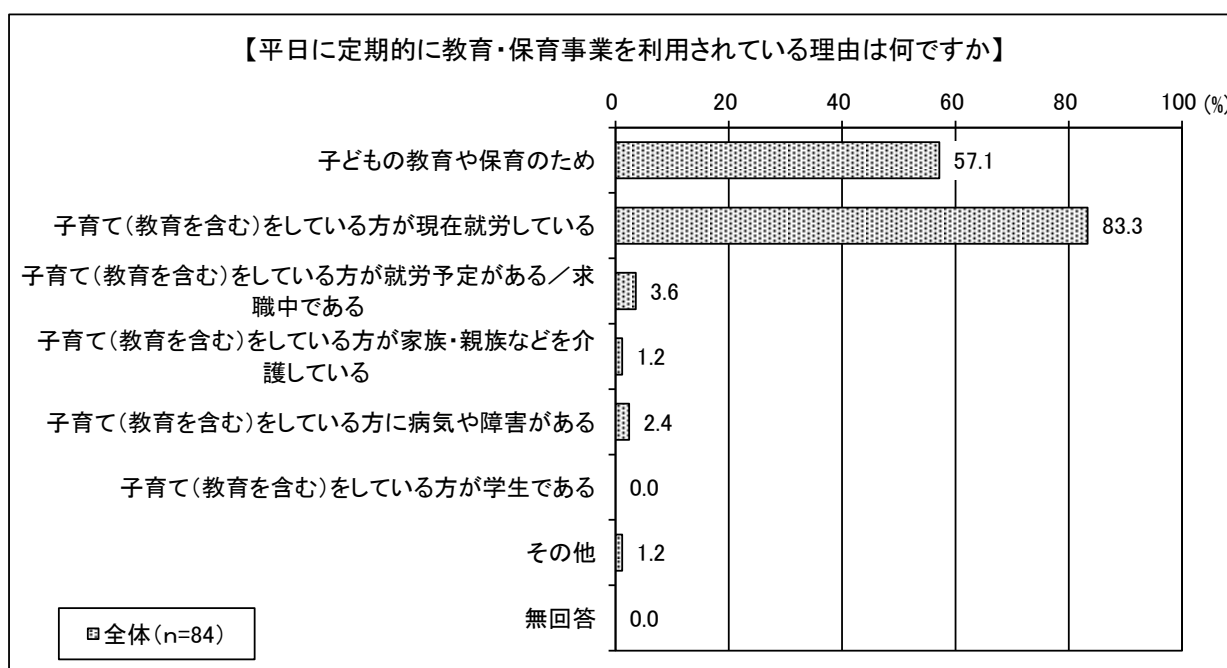
問 15-3. 現在、利用している教育・保育事業の実施場所はどちらですか。（☑は1つのみ）

現在、利用している教育・保育事業の実施場所は、「小野町内」が 97.6%と多数を占め、「小野町以外の市町村」は 1.2%となっている。



問 15-4. 平日に定期的に教育・保育事業を利用されている理由は何ですか。（☑はいくつでも）

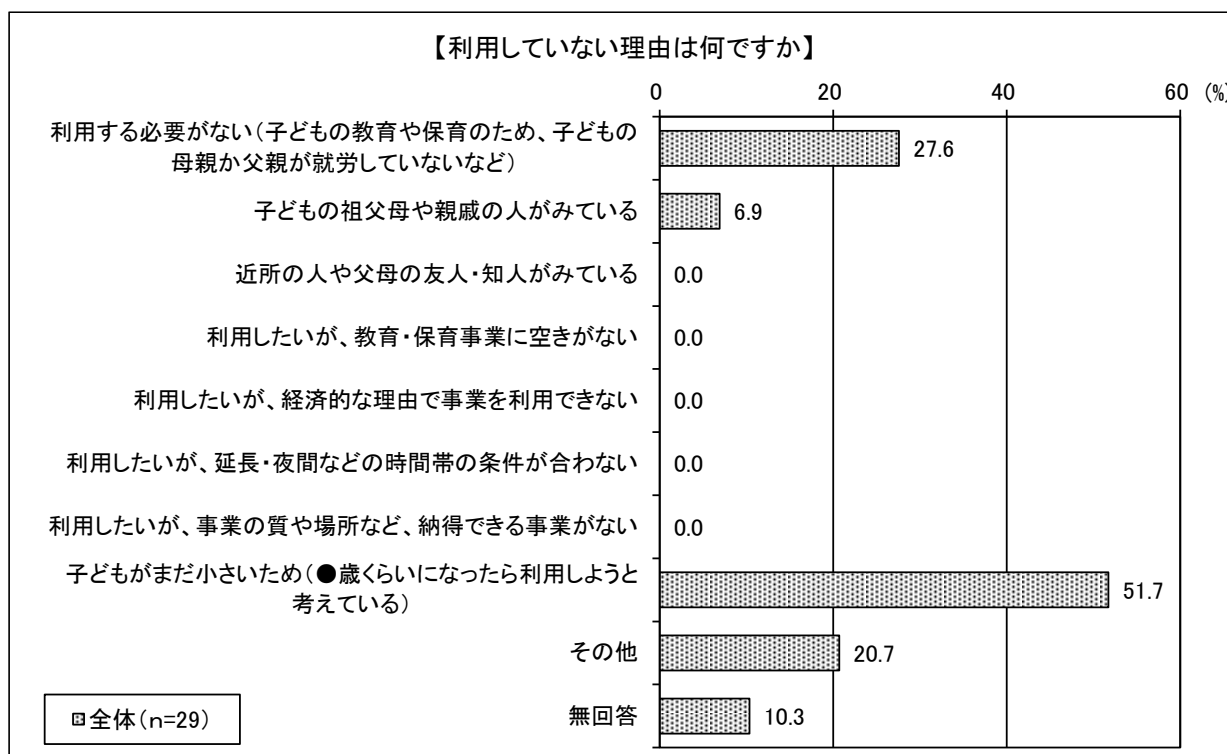
教育・保育事業を利用している理由は、「子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している」が 83.3%と最も高く、以下、「子どもの教育や保育のため」(57.1%)、「子育て（教育を含む）をしている方が就労予定がある／求職中である」(3.6%) などとなっている。



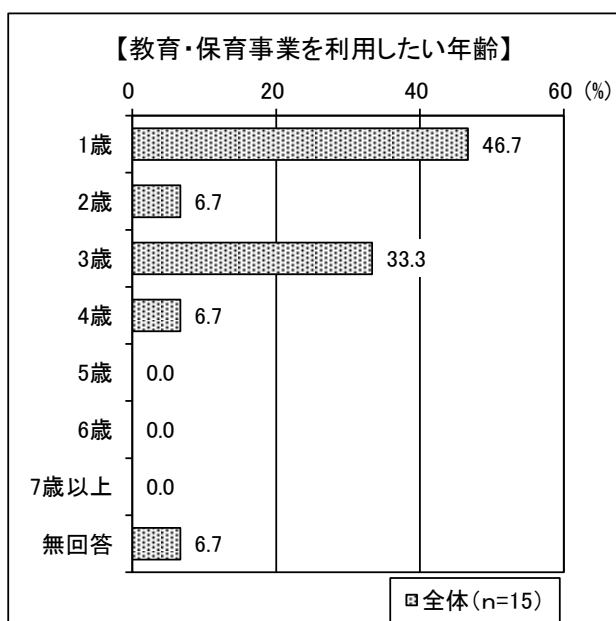
【問 15 で「利用していない」とお答えいただいた方にお聞きします。】

問 15-5. 利用していない理由は何ですか。（☑はいくつでも）

教育・保育事業を利用していない理由は、「子どもがまだ小さいため（●歳くらいになったら利用しようと考えている）」が 51.7%と最も高く、以下、「利用する必要がある（子どもの教育や保育のため、子どもの母親か父親が就労していないなど）」（27.6%）、「子どもの祖父母や親戚の人がみている」（6.9%）となっている。

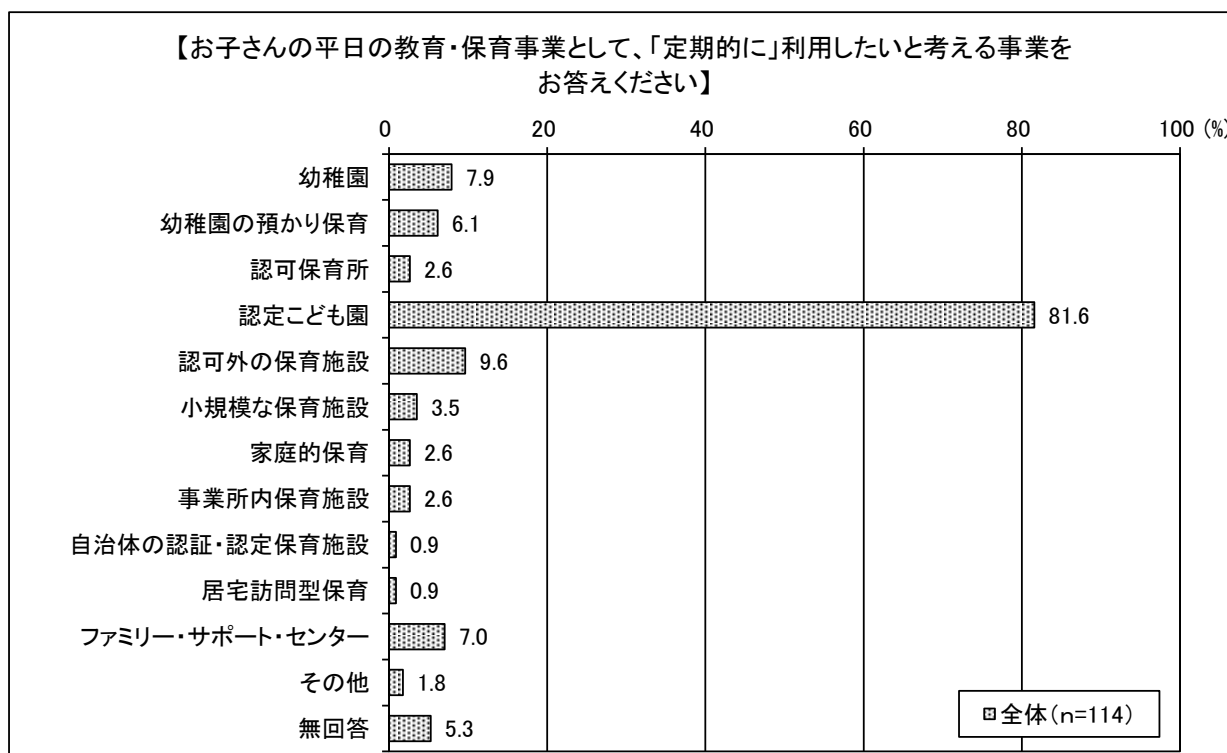


教育・保育事業を利用したい年齢については、「1歳」が 46.7%、「3歳」が 33.3%、「2歳」及び「4歳」がともに 6.7%となっている。



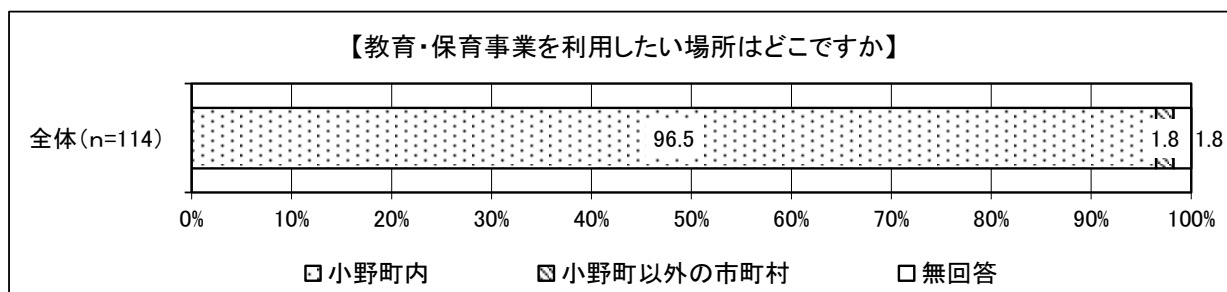
問 16. すべての方にお聞きします。現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。（☑はいくつでも）

平日に定期的に利用したい教育・保育事業については、「認定こども園」が81.6%と最も高く、以下、「認可外の保育施設」(9.6%)、「幼稚園」(7.9%)、「ファミリー・サポート・センター」(7.0%)となっている。



問 16-1. 教育・保育事業を利用したい場所はどちらですか。（☑は1つのみ）

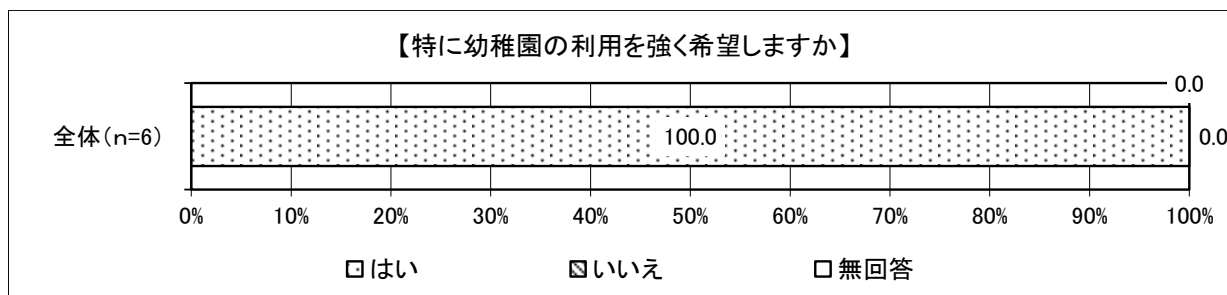
教育・保育事業を利用したい場所については、「小野町内」が96.5%と多数を占め、「小野町以外の市町村」は1.8%となっている。



【問 16 で「① 幼稚園」または「② 幼稚園などの預かり保育」を選び、かつ「③ 認可保育所」～「⑫ その他」とお答えいただいた方にお聞きます。】

問 16-2. 特に幼稚園（幼稚園などの預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。（☑は1つのみ）

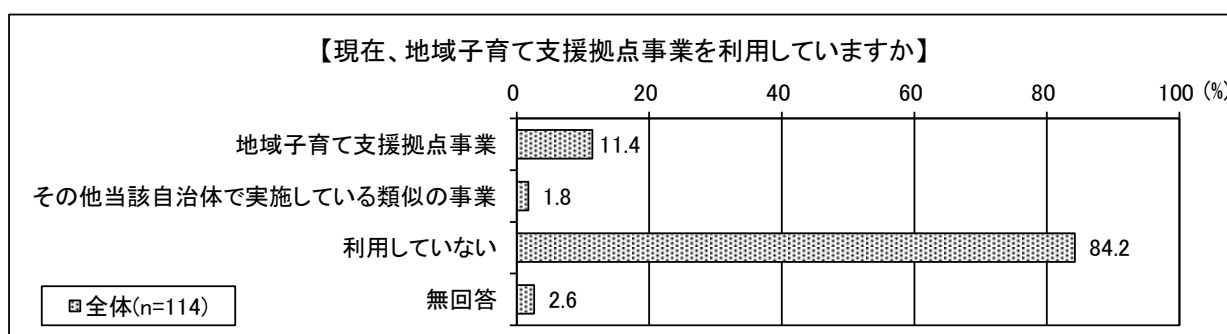
特に幼稚園の利用希望については、「はい」が 100% となっている。



5. お子さんの地域子育て支援事業の利用状況について

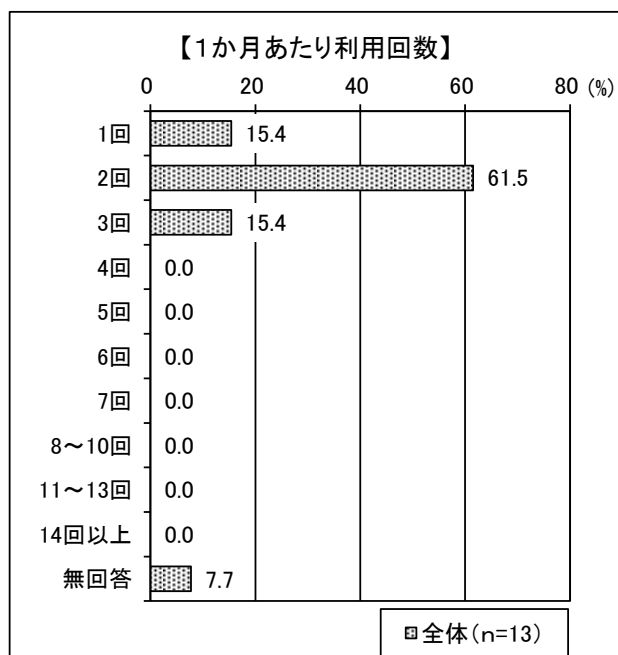
問 17. 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（（例）ママのリフレッシュ教室、親子ふれあい教室など、相談をしたり、情報提供を受けたりする場）を利用していますか。（☑はいくつでも）

地域子育て支援拠点事業の利用状況については、「利用していない」が 84.2% と多数を占め、「地域子育て支援拠点事業」が 11.4%、「その他当該自治体で実施している類似の事業」が 1.8% となっている。



【「地域子育て支援拠点事業」の1か月あたり利用回数】

地域子育て支援拠点事業の1か月あたりの利用回数については、「2回」が61.5%と最も高く、以下、「1回」及び「3回」がともに15.4%となっている。

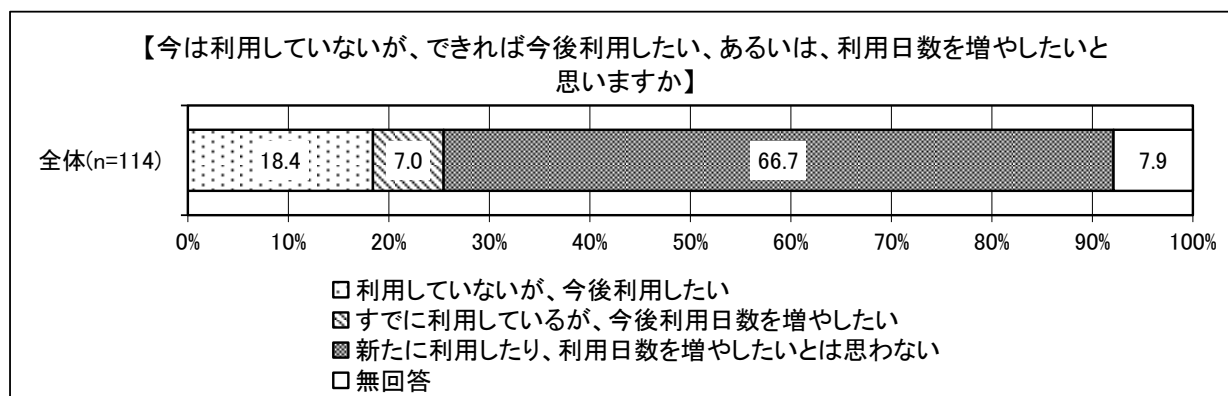


【「その他当該自治体で実施している類似の事業」の1か月あたり利用回数】

その他当該自治体で実施している類似の事業の1か月あたりの利用回数については、該当者は2人で「5回」となっている。

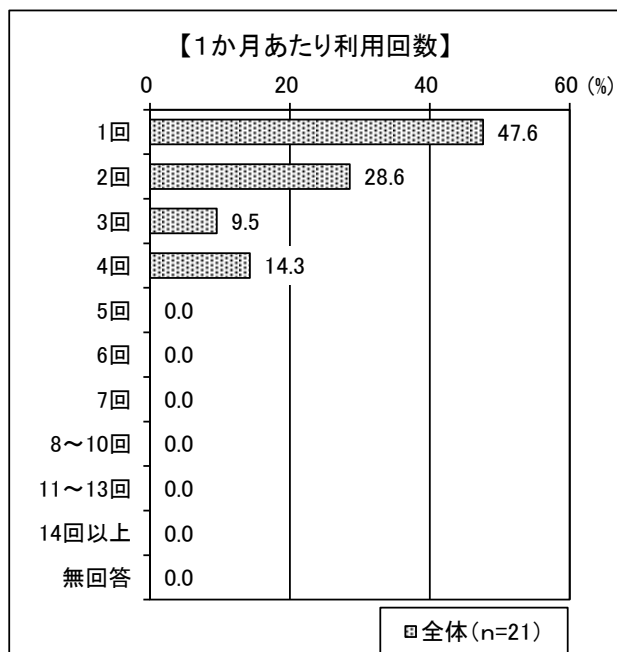
問 18. 問 17 のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。(☑は1つのみ)

地域子育て支援拠点事業の今後の利用希望については、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が66.7%と多数を占め、「利用していないが、今後利用したい」が18.4%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が7.0%となっている。



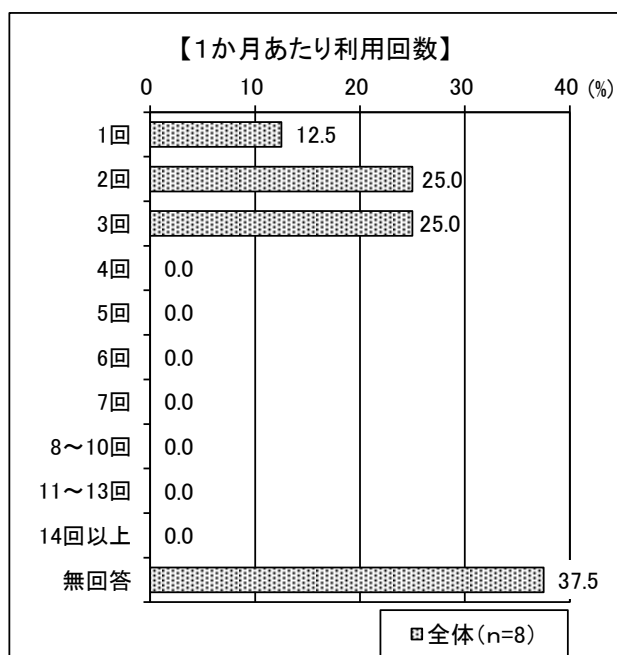
【「利用していないが、今後利用したい」の1か月あたり利用回数】

利用していないが、今後利用したい1か月あたりの利用回数については、「1回」が47.6%と最も高く、以下、「2回」が28.6%、「4回」が14.3%、「3回」が9.5%となっている。



【「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」の1か月あたり利用回数】

すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい1か月あたりの利用回数については、「2回」及び「3回」がともに25.0%、「1回」が12.5%となっている。



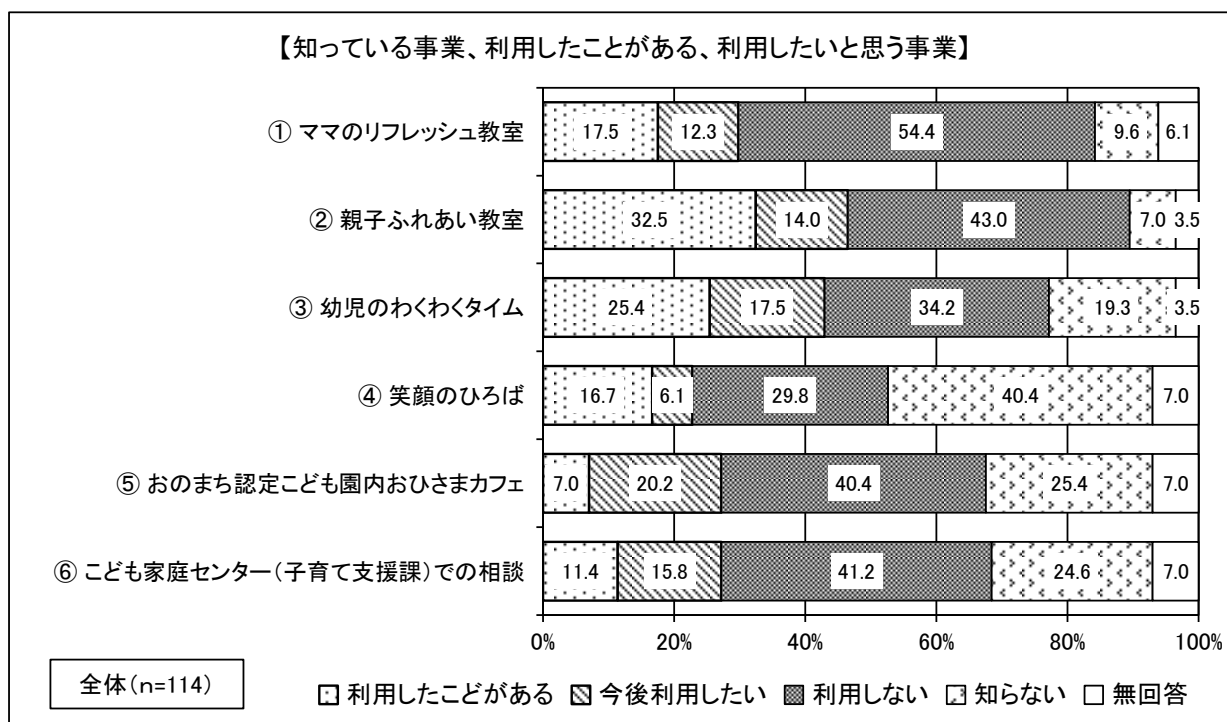
問 19. 下記の事業で知っているものや、利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。（①～⑥の事業それぞれ☑は1つのみ）

“利用したことがある”の比率が高いのは、②親子ふれあい教室（32.5%）、③幼児のわくわくタイム（25.4%）となっている。

“今後利用したい”の比率が高いのは、⑤おのまち認定こども園内おひさまカフェ（20.2%）、③幼児のわくわくタイム（17.5%）、⑥こども家庭センター（子育て支援課）での相談（15.8%）などとなっている。

“利用しない”の比率が高いのは、①ママのリフレッシュ教室（54.4%）、②親子ふれあい教室（43.0%）、⑥こども家庭センター（子育て支援課）での相談（41.2%）、⑤おのまち認定こども園内おひさまカフェ（40.4%）となっている。

“知らない”の比率が高いのは、④笑顔のひろば（40.4%）、⑤おのまち認定こども園内おひさまカフェ（25.4%）、⑥こども家庭センター（子育て支援課）での相談（24.6%）となっている。

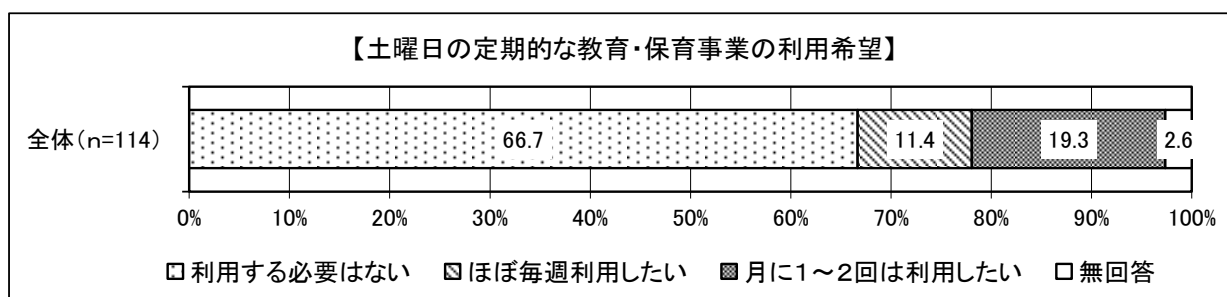


6. お子さんの土曜日・日曜日・祝日や長期休暇中の「定期的」な利用希望について

問 20. 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業（児童クラブなど）の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。（☑は1つのみ）

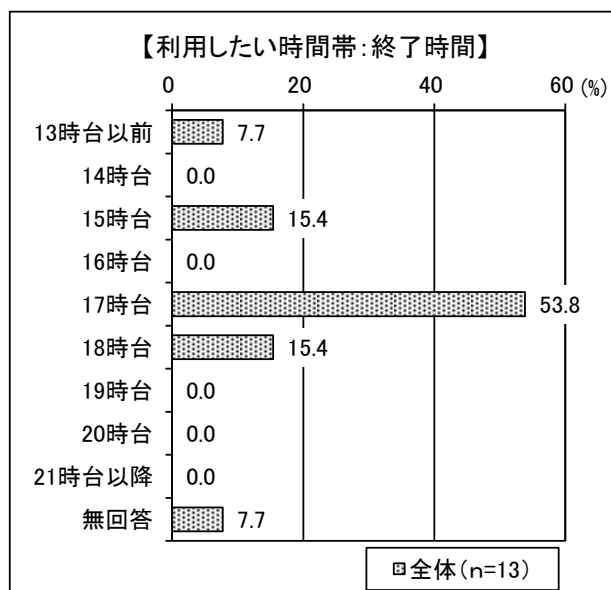
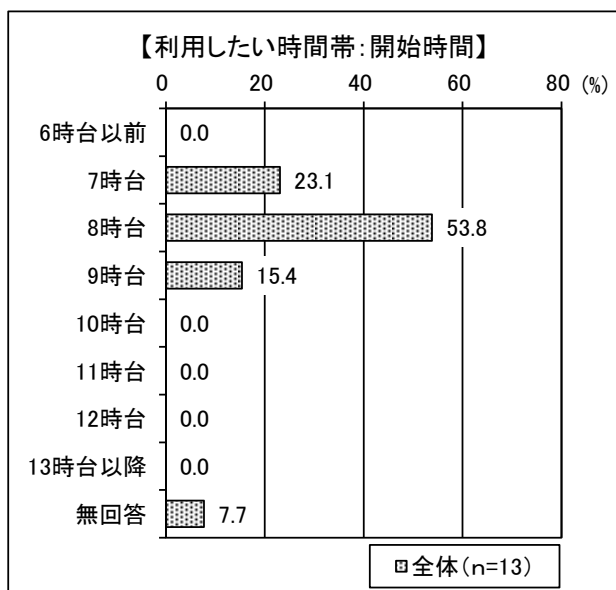
（1）土曜日

土曜日の教育・保育事業の利用希望については、「利用する必要はない」が66.7%と多数を占め、「月に1～2回は利用したい」が19.3%、「ほぼ毎週利用したい」が11.4%となっている。



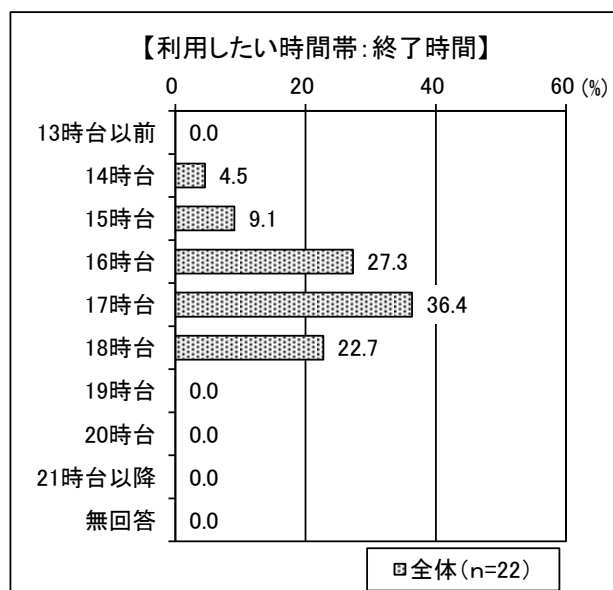
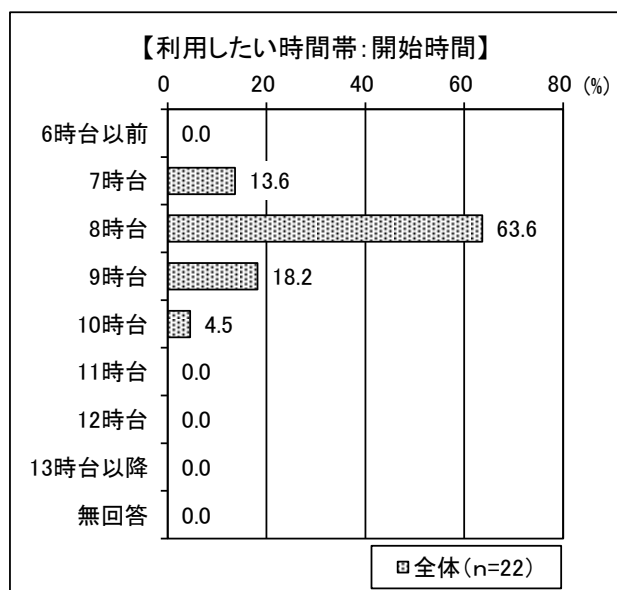
【ほぼ毎週利用したい】

希望の利用開始時間は、「8時台」が53.8%、「7時台」が23.1%、「9時台」が15.4%であり、利用終了時間は、「17時台」が53.8%、「15時台」及び「18時台」がともに15.4%、「13時台以前」が7.7%となっている。



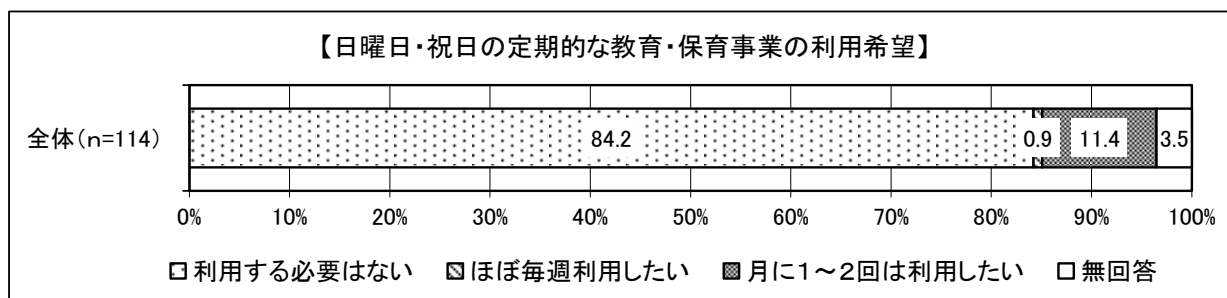
【月に1～2回は利用したい】

希望の利用開始時間は、「8時台」が63.6%、「9時台」が18.2%、「7時台」が13.6%であり、利用終了時間は、「17時台」が36.4%、「16時台」が27.3%、「18時台」が22.7%となっている。



(2) 日曜日・祝日

日曜日・祝日の教育・保育事業の利用希望については、「利用する必要はない」が84.2%と多数を占め、「月に1～2回は利用したい」が11.4%、「ほぼ毎週利用したい」が0.9%となっている。

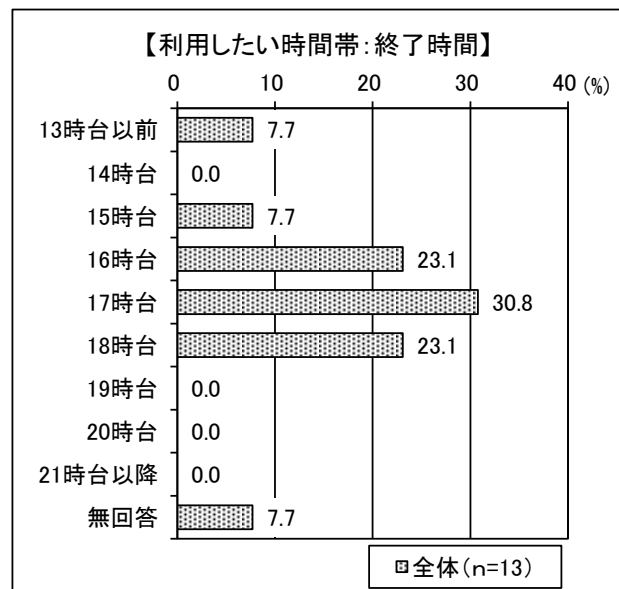
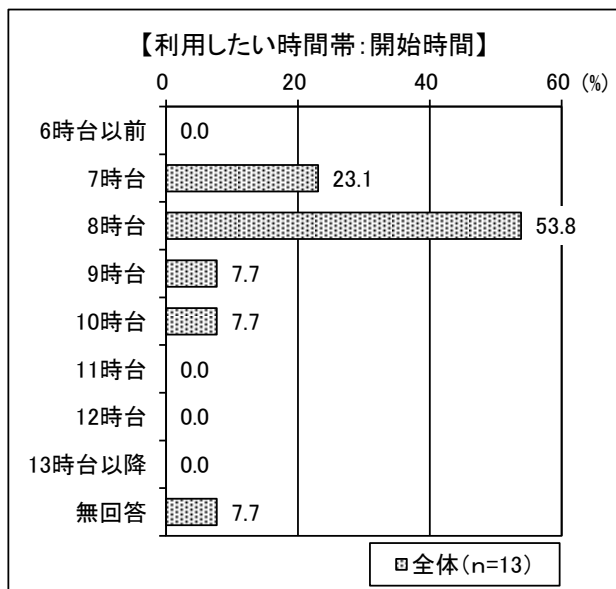


【ほぼ毎週利用したい】

該当者は1人で、希望の利用開始時間は「8時台」であり、終了時間は「18時台」となっている。

【月に1～2回は利用したい】

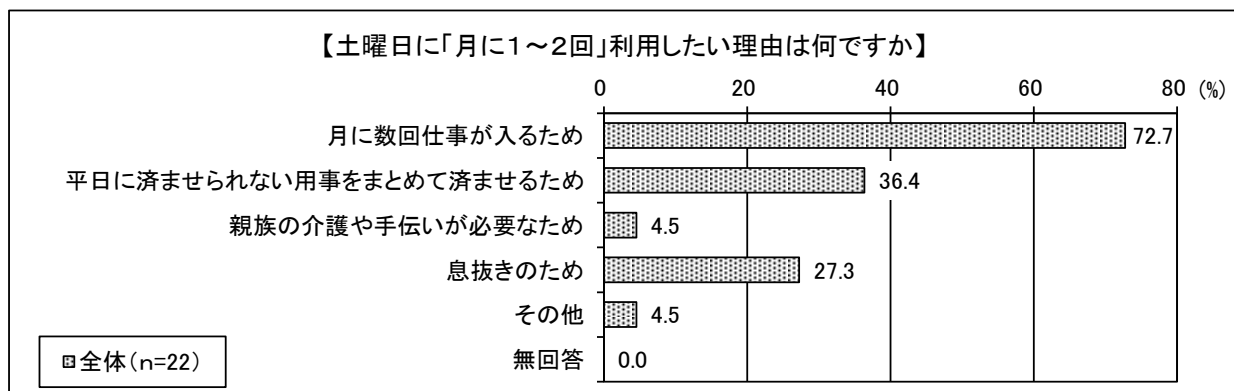
希望の利用開始時間は、「8時台」が53.8%、「7時台」が23.1%であり、利用終了時間は、「17時台」が30.8%、「16時台」及び「18時台」がともに23.1%となっている。



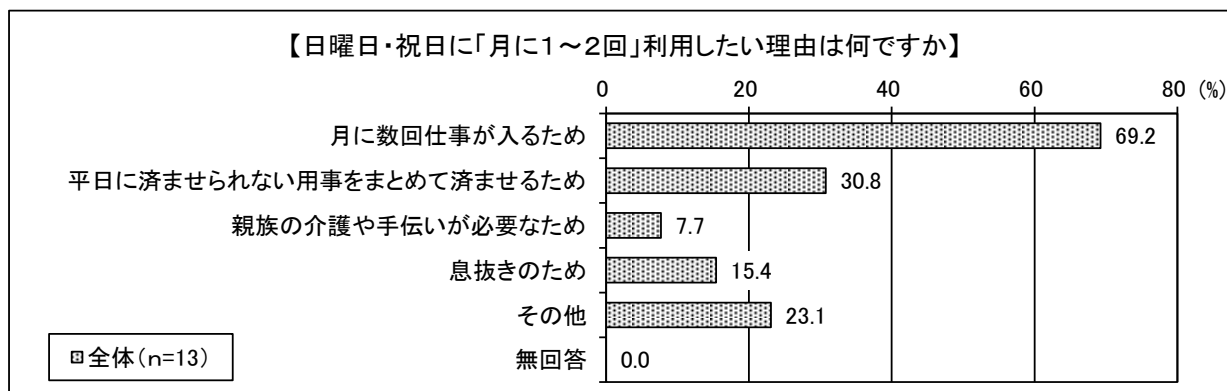
【問 20 の（１）もしくは（２）で「月に１～２回は利用したい」とお答えいただいた方にお聞きします。】

問 20-1. 毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。（☑はいくつでも）

土曜日に“月に１～２回”は利用したい理由については、「月に数回仕事が入るため」が 72.7%と最も高く、以下、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」（36.4%）、「息抜きのため」（27.3%）、「親族の介護や手伝いが必要なため」（4.5%）となっている。



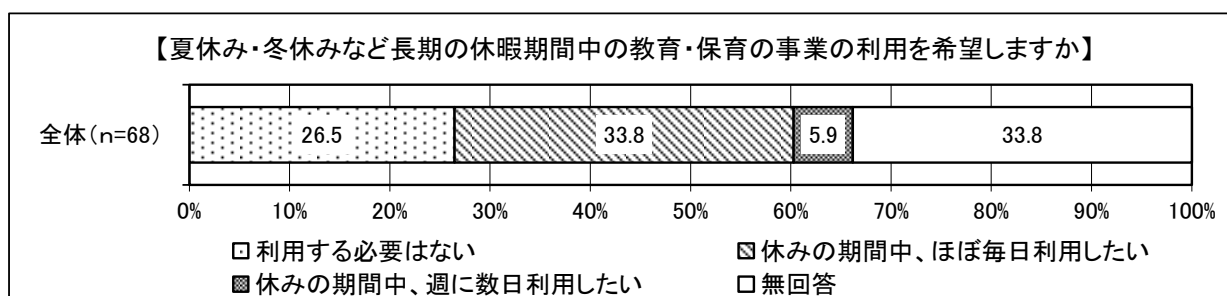
曜日・祝日に“月に１～２回”は利用したい理由については、「月に数回仕事が入るため」が 69.2%と最も高く、以下、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」（30.8%）、「息抜きのため」（15.4%）、「親族の介護や手伝いが必要なため」（7.7%）となっている。



【「幼稚園」または認定こども園（幼稚園型）を利用されている方にお聞きします。】

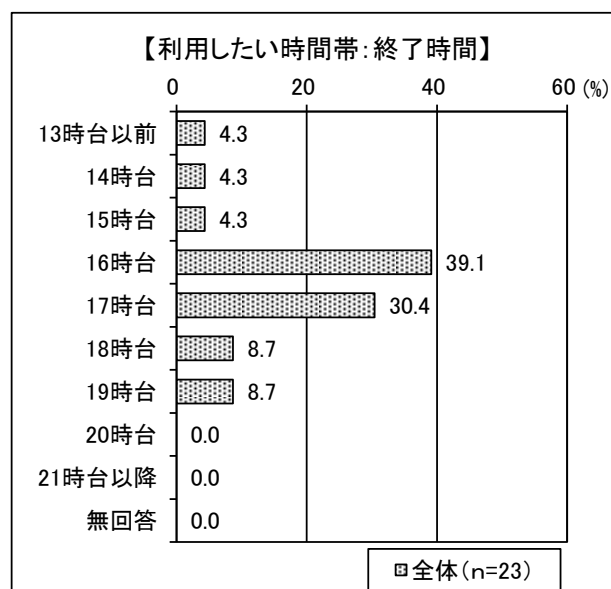
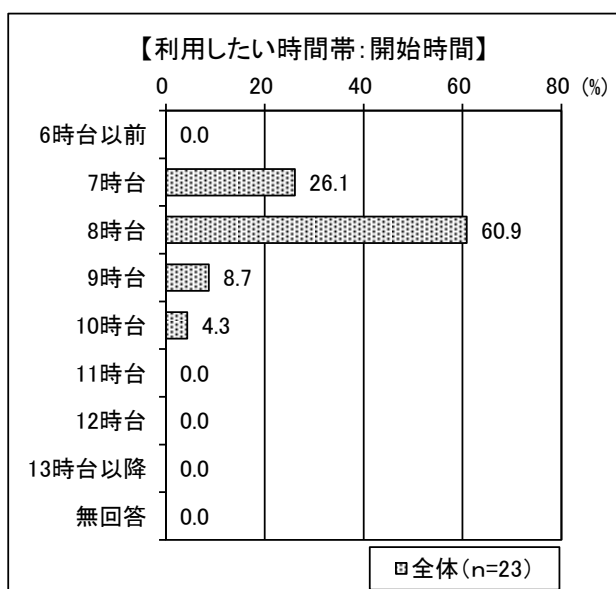
問 21. 宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。（☑は1つのみ）

夏休み・冬休みなどの長期休暇期間中の教育・保育事業の利用希望については、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が33.8%と最も高く、以下、「利用する必要はない」が26.5%、「休みの期間中、週に数日利用したい」が5.9%となっている。



【毎日利用したい】

希望の利用開始時間は、「8時台」が60.9%、「7時台」が26.1%であり、利用終了時間は、「16時台」が39.1%、「17時台」が30.4%となっている。



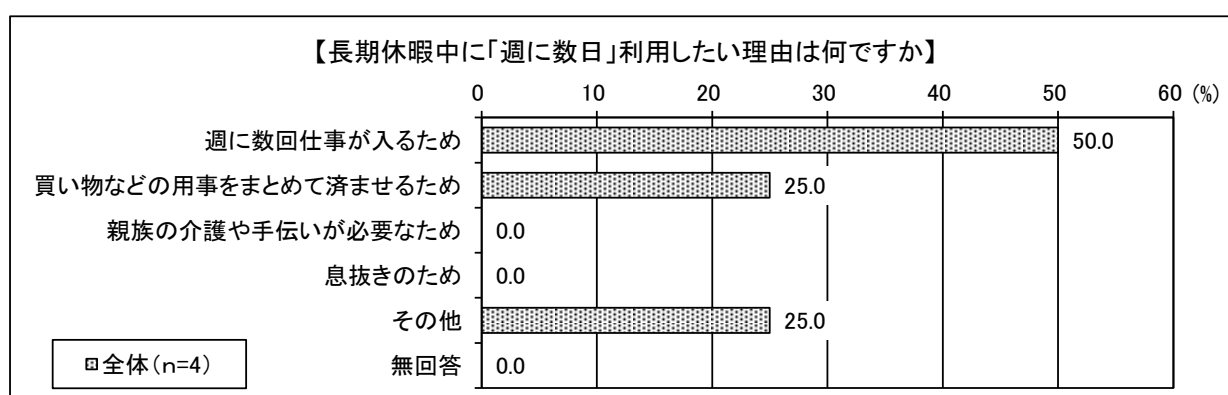
【週に数日利用したい】

該当者は4人で、希望の利用開始時間は「8時台」であり、終了時間は「16時台」が2人、「15時台」及び「17時台」が各1人となっている。

【問21で「週に数日利用したい」とお答えいただいた方にお聞きします。】

問21-1. 毎日ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。（☑はいくつでも）

夏休みや冬休みなどに“週に数日”利用したい理由については、該当者は4人で「週に数回仕事が入るため」が2人、「買い物などの用事をまとめて済ませるため」及び「その他」が各1人となっている。

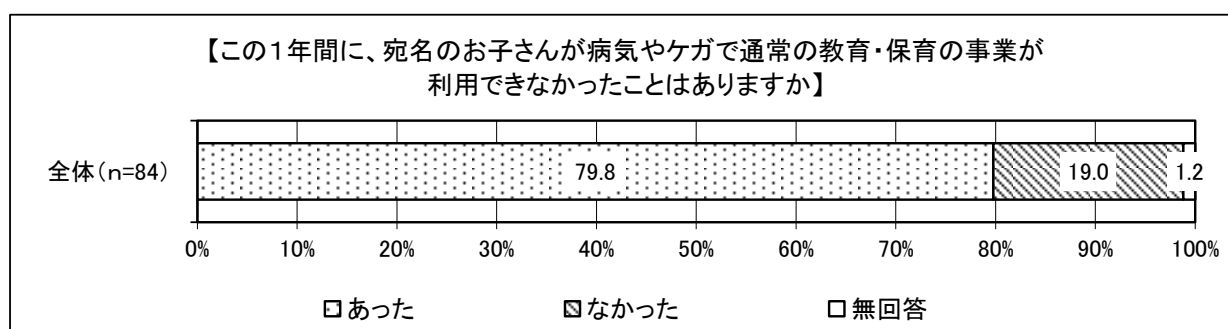


7. お子さんの病気の際の対応（平日の教育・保育を利用する方のみ）について

【平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方（問15で「利用している」）とお答えいただいた方にお聞きします。】

問22. この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の教育・保育の事業が利用できなかったことはありますか。（☑は1つのみ）

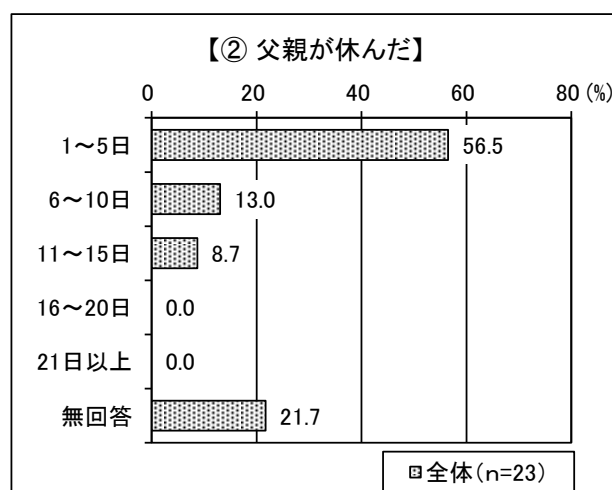
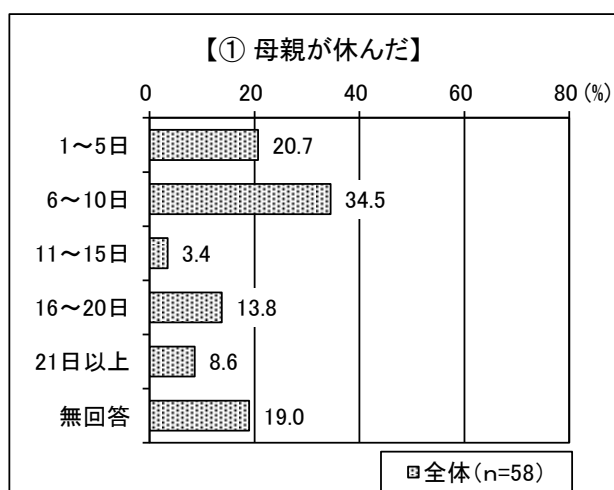
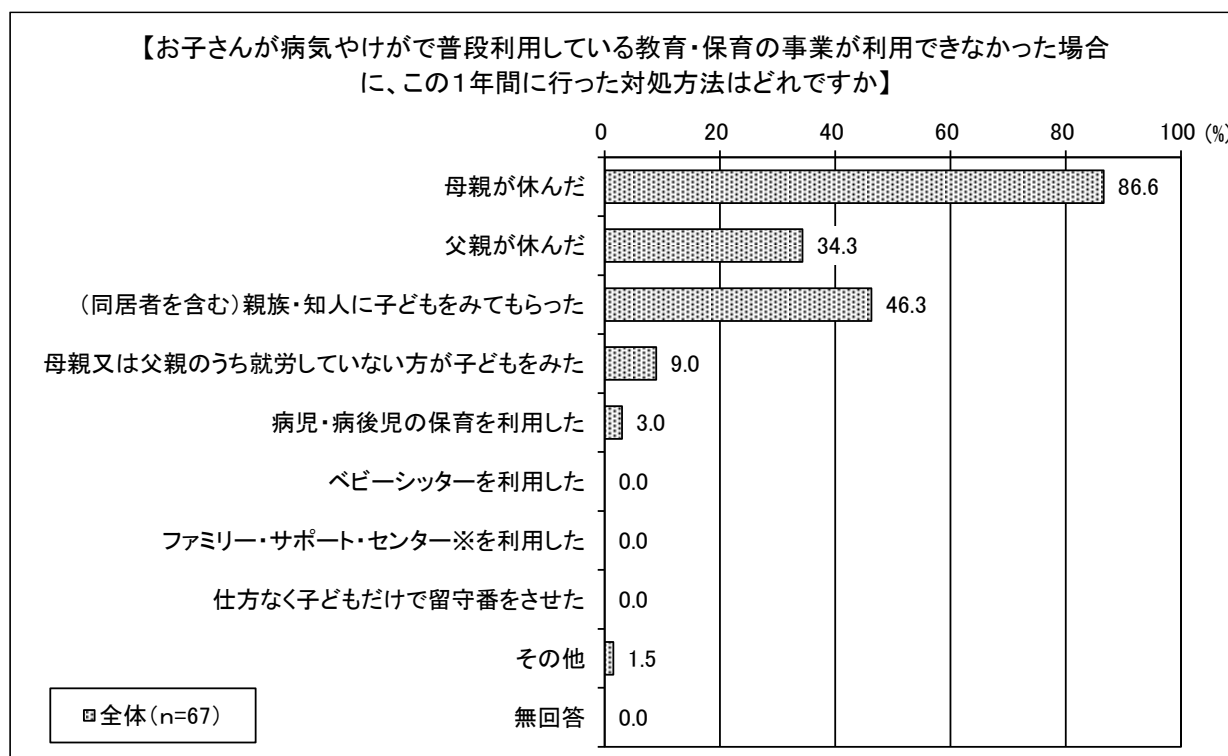
病気やケガで通常の教育・保育事業が利用できなかったことについては、「あった」が79.8%と多数を占め、「なかった」は19.0%となっている。

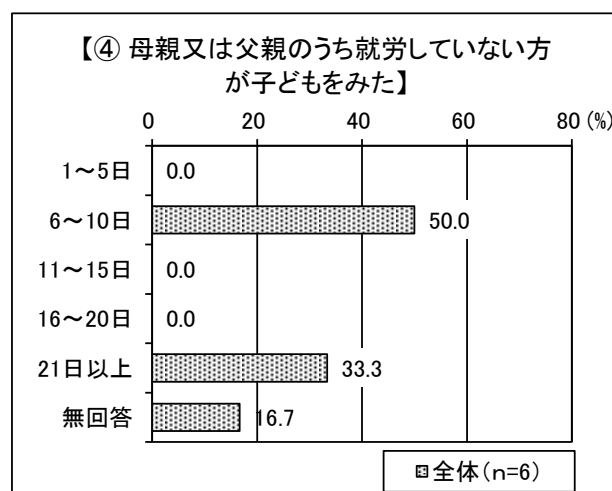
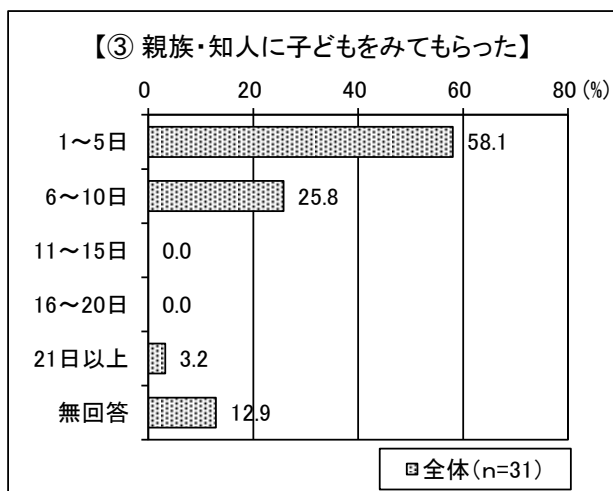


【問 22 で「あった」とお答えいただいた方にお聞きします。】

問 22-1. 宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この１年間に行った対処方法は次のどれですか。（☑はいくつでも）

病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合は、「母親が休んだ」が 86.6%と最も高く、以下、「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」(46.3%)、「父親が休んだ」(34.3%) となっている。



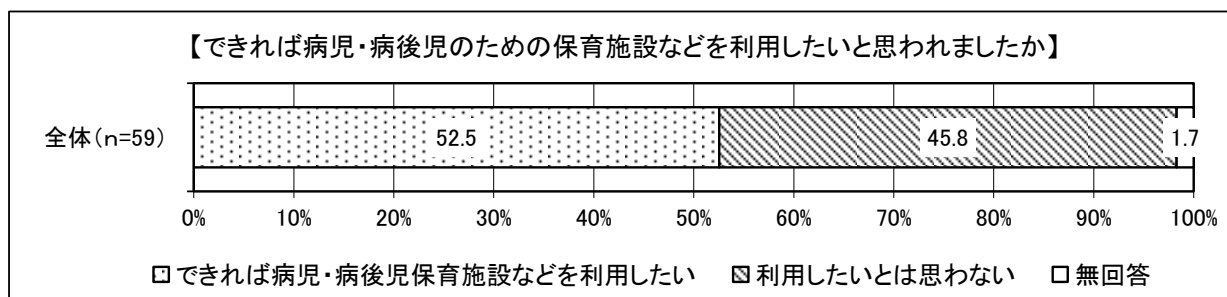


※⑥～⑧は該当者なし、⑤及び⑨は少人数のためグラフは省略（「⑤病児・病後児の保育を利用した」は2人で1～5日、「⑨その他」は1人で無回答）。

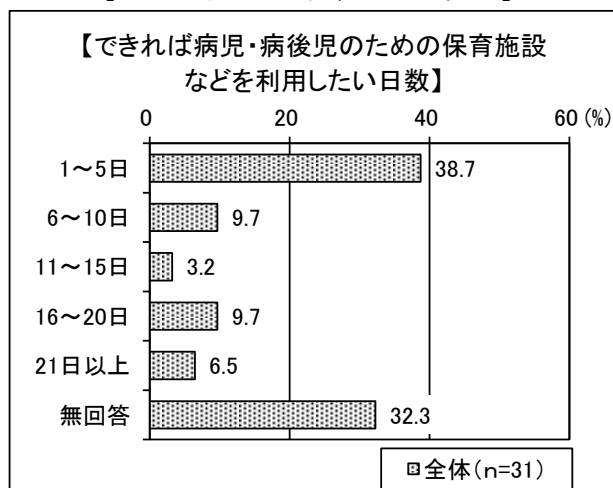
【問 22-1 で「① 母親が休んだ」、「② 父親が休んだ」とお答えいただいた方にお聞きます。】

問 22-2. その際、「できれば病児・病後児のための保育施設などを利用したい」と思われましたか。（☑は1つのみ）

病児・病後児のための保育施設の利用意向については、「できれば病児・病後児保育施設などを利用したい」が 52.5%と半数を超えており、「利用したいとは思わない」は 45.8%となっている。



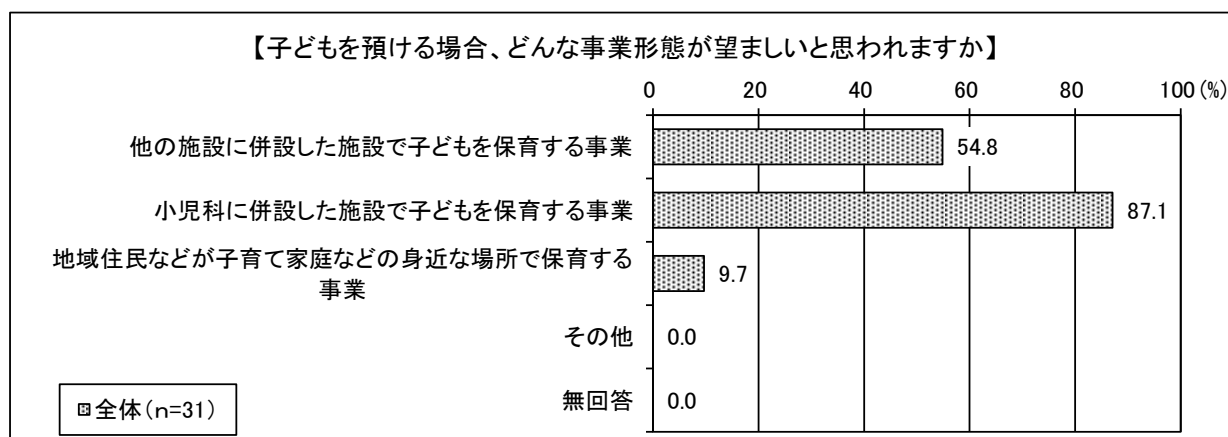
利用しなかった日数については、「1～5日」が 38.7%と最も高く、以下、「6～10日」及び「16～20日」がともに 9.7%、「21日以上」が 6.5%、「11～15日」が 3.2%となっている。



【問 22-2 で「① できれば病児・病後児保育施設などを利用したい」とお答えいただいた方にお聞きします。】

問 22-3. 上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。（☑はいくつでも）

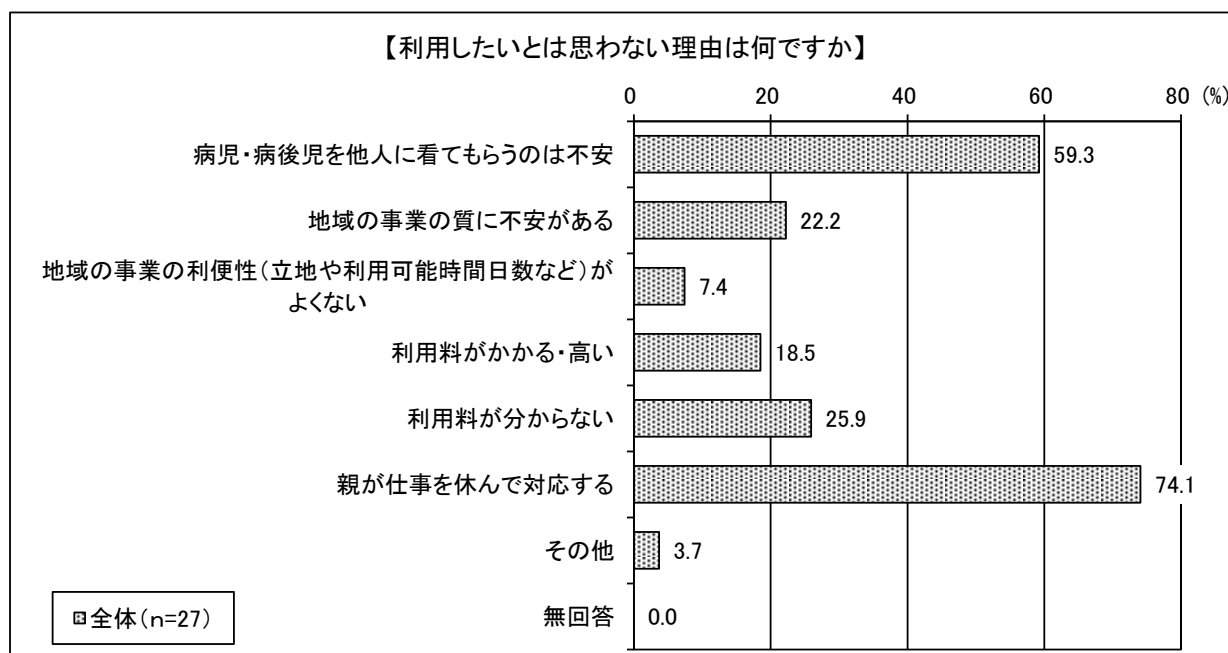
病児・病後児保育の望ましい事業形態については、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が 87.1%と最も高く、「他の施設に併設した施設で子どもを保育する事業」が 54.8%、「地域住民などが子育て家庭などの身近な場所で保育する事業」が 9.7%となっている。



【問 22-2 で「② 利用したいとは思わない」とお答えいただいた方にお聞きします。】

問 22-4. そう思われる理由についてお答えください。（☑はいくつでも）

病児・病後児のための保育施設を利用したいと思わない理由については、「親が仕事を休んで対応する」が 74.1%と最も高く、以下、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」(59.3%)、「利用料が分からない」(25.9%)、「地域の事業の質に不安がある」(22.2%)と続く。

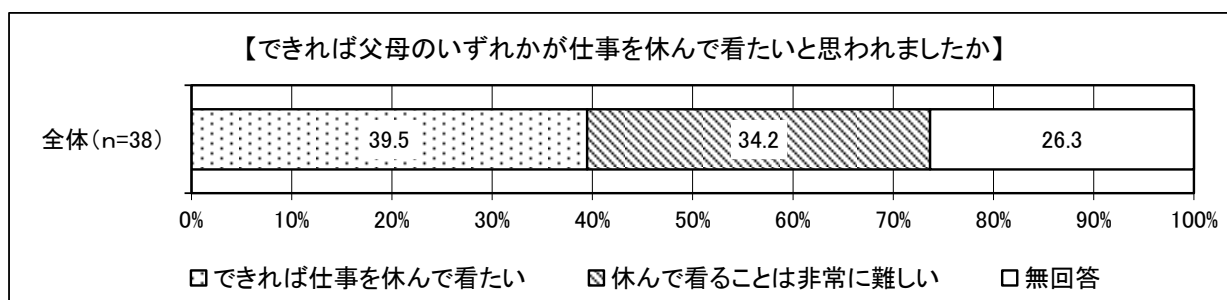


【問 22-1 で「③～⑨」とお答えいただいた方にお聞きます。】

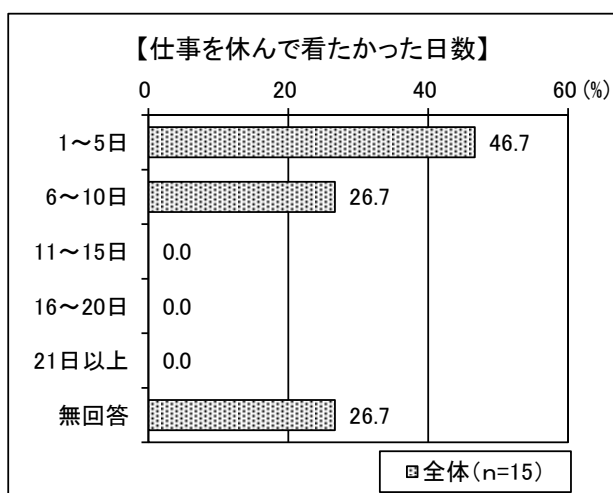
問 22-5. その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。

問 22-1 の「③～⑨」の日数のうち、仕事を休んで見たかった日数についてもご記入ください。（☑は1つのみ）

できれば父母のいずれかが仕事を休んで看護したいと思ったかについては、「できれば仕事を休んで看たい」が 39.5%、「休んで看ることは非常に難しい」は 34.2%となっている。



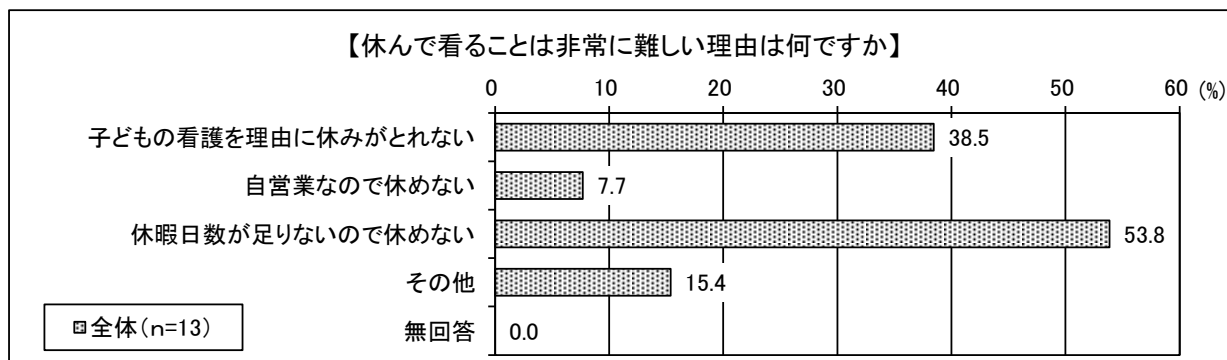
仕事を休んで見たかった日数については、「1～5日」が 46.7%、「6～10日」が 26.7%となっている。



【問 22-5 で「②休んで看することは非常に難しい」とお答えいただいた方にお聞きます。】

問 22-6. そう思われる理由についてお答えください。（☑はいくつでも）

仕事を休んで看護することが難しい理由は、「休假日数が足りないで休めない」が 53.8%、「子どもの看護を理由に休みがとれない」が 38.5%、「自営業なので休めない」が 7.7%となっている。

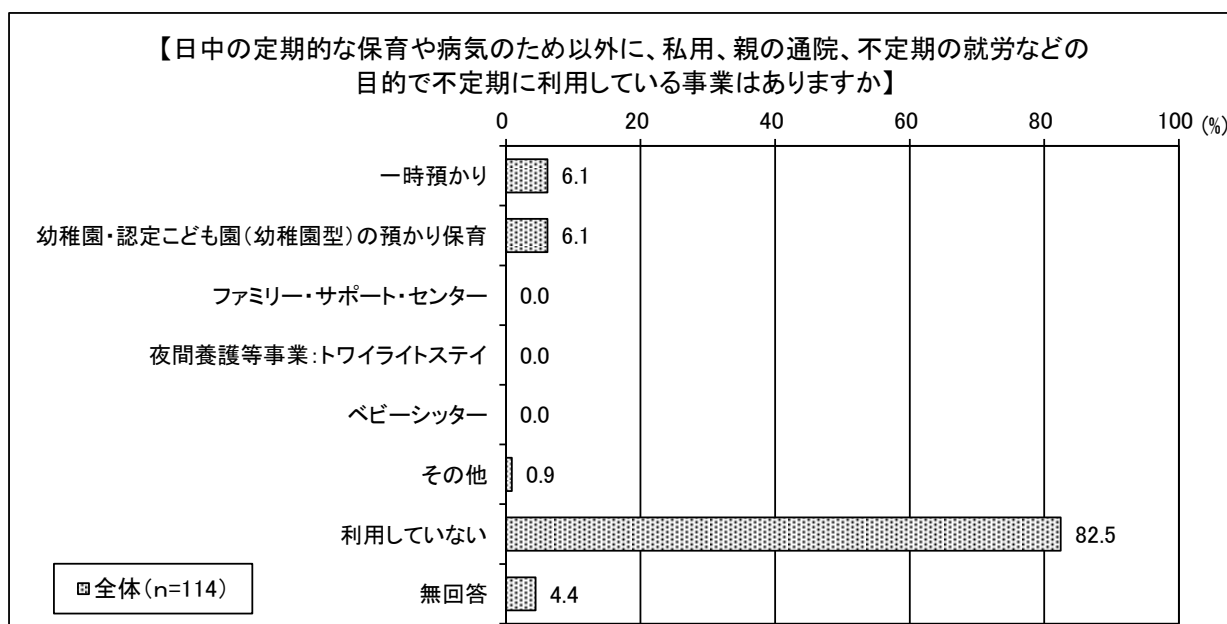


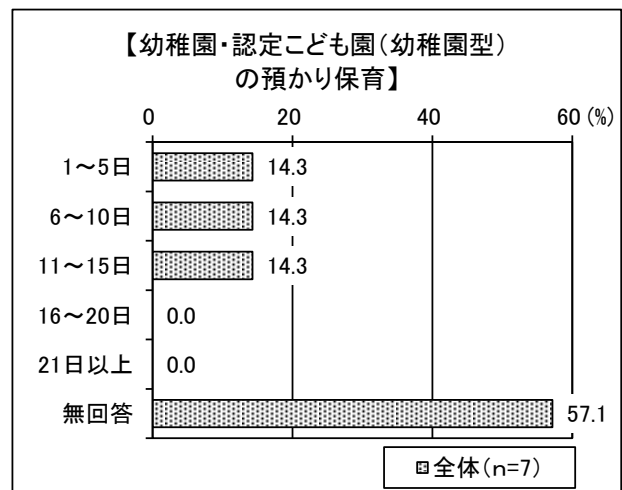
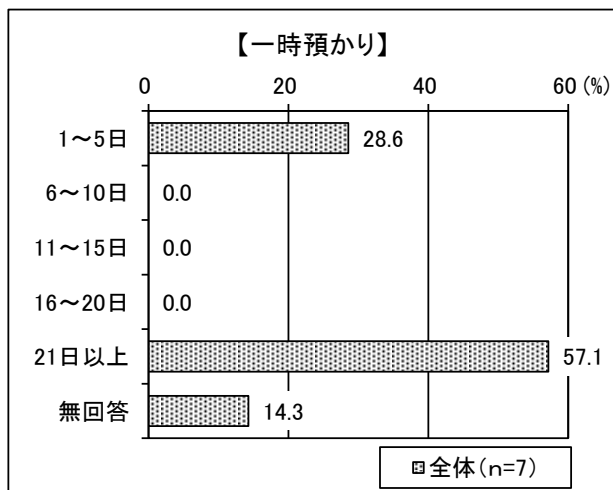
8. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かりなどの利用について

問 23. 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労などの目的で不定期に利用している事業はありますか。（☑はいくつでも）

私用、親の通院、不定期の就労などの目的で不定期に利用している事業については、「利用していない」が 82.5%と多数を占める。

利用している事業では、「一時預かり」及び「幼稚園・認定こども園（幼稚園型）の預かり保育」がともに 6.1%（各 7 人）となっている。



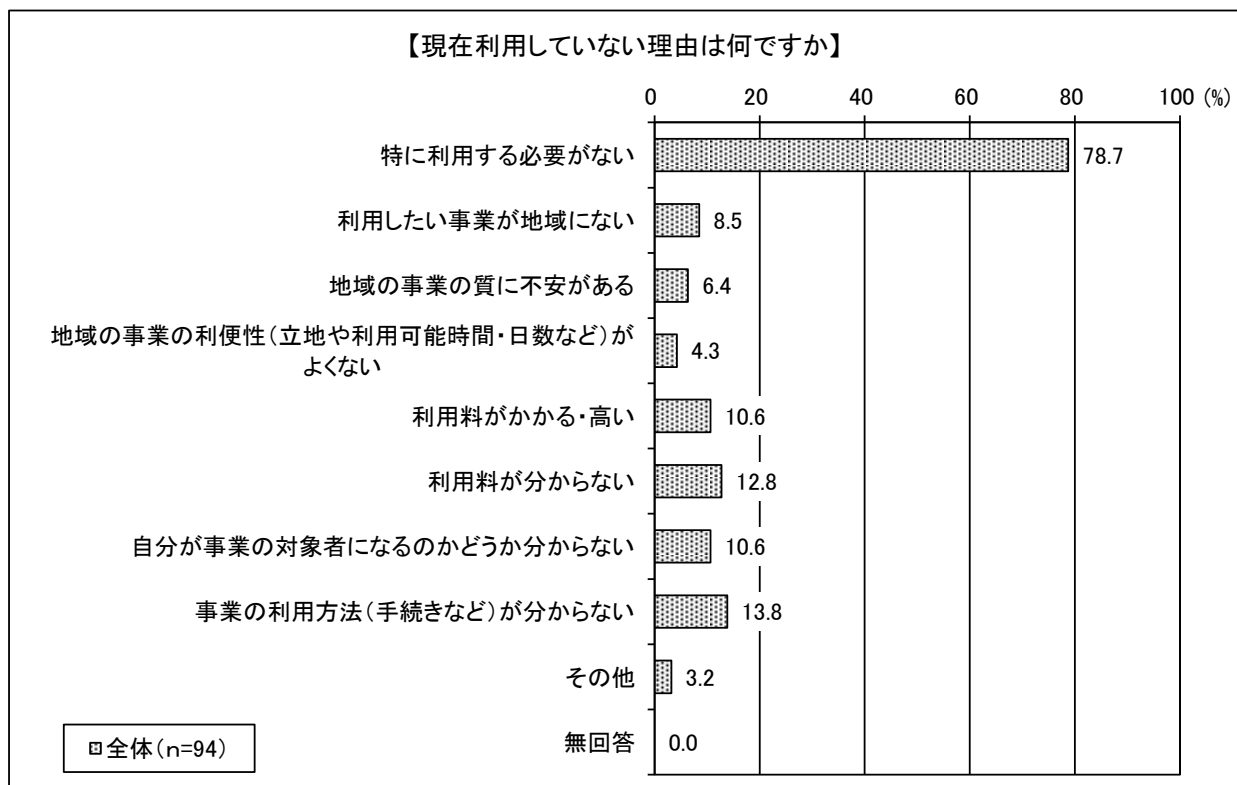


※③～⑤は該当者なし、⑥は少人数のためグラフは省略（1人で21日以上）。

【問 23 で「利用していない」とお答えいただいた方にお聞きます。】

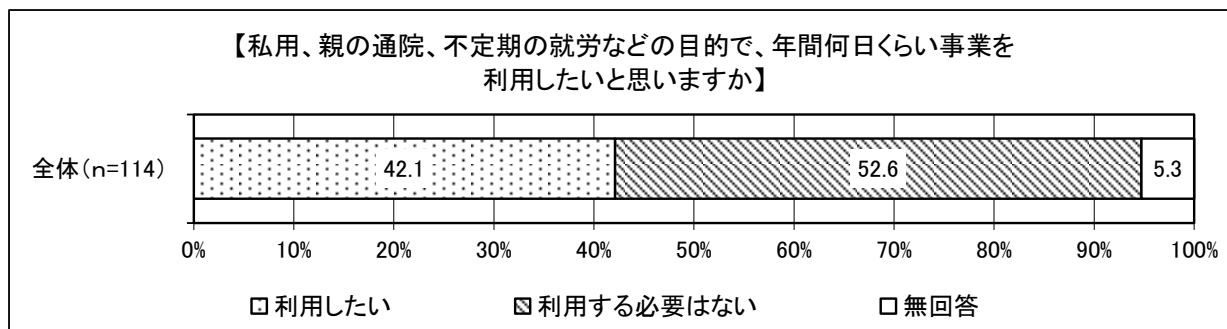
問 23-1. 現在利用していない理由は何ですか。（☑はいくつでも）

利用していない理由は、「特に利用する必要がない」が 78.7%と最も高く、以下、「事業の利用方法（手続きなど）が分からない」（13.8%）、「利用料が分からない」（12.8%）、「利用料がかかる・高い」及び「自分が事業の対象者になるのかどうか分からない」（ともに 10.6%）と続く。

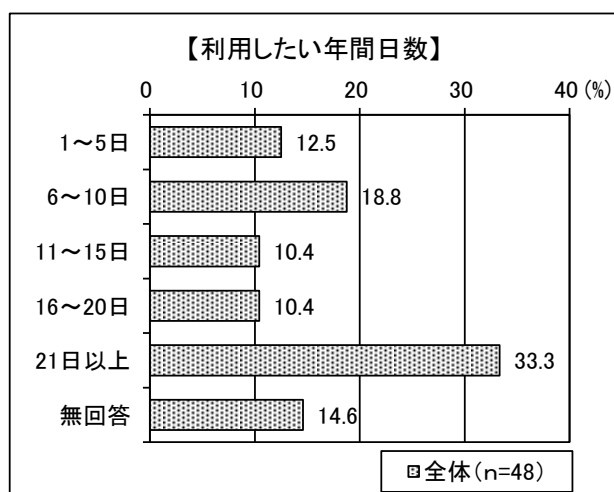
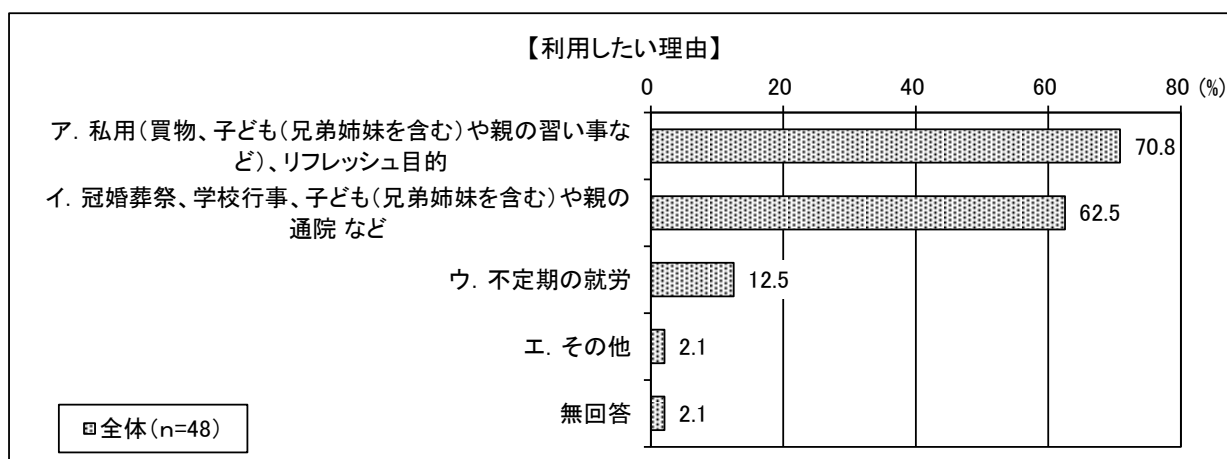


問 24. 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労などの目的で、年間何日くらい事業を利用したいと思いますか。なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。（☑は1つのみ）

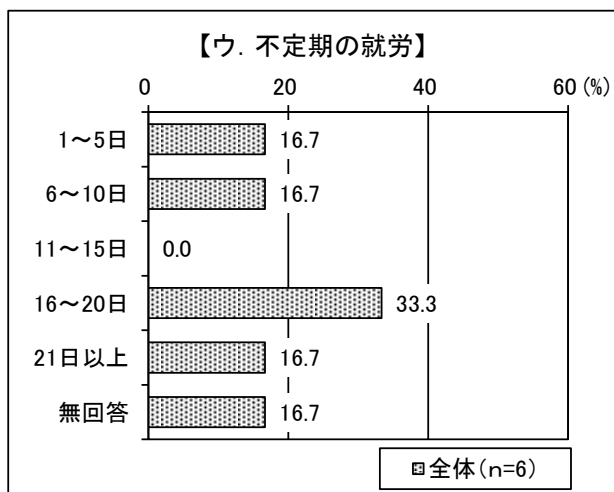
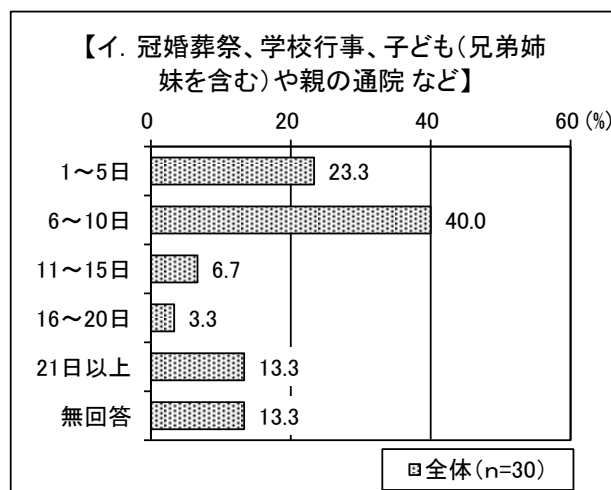
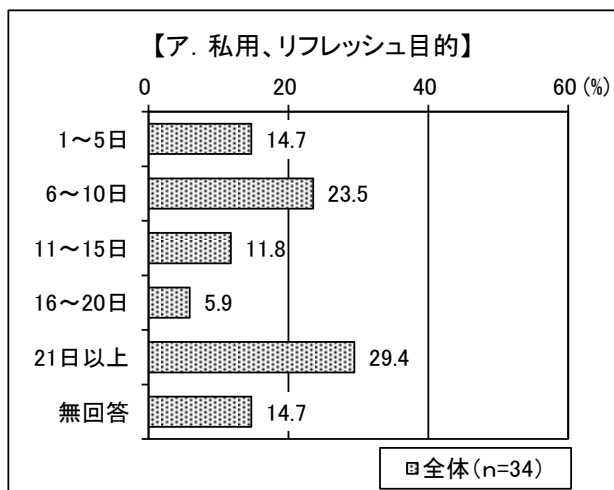
私用、親の通院、不定期の就労などの目的での事業の利用については、「利用する必要はない」が52.6%と半数を超えており、「利用したい」は42.1%となっている。



利用したい理由については、「ア. 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事など）、リフレッシュ目的」が70.8%と最も高く、以下、「イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院 など」が62.5%、「ウ. 不定期の就労」が12.5%、「エ. その他」が2.1%となっている。



利用したい年間の日数については、「21日以上」が33.3%と最も高く、以下、「6～10日」が18.8%、「1～5日」が12.5%、「11～15日」及び「16～20日」がともに10.4%となっている。

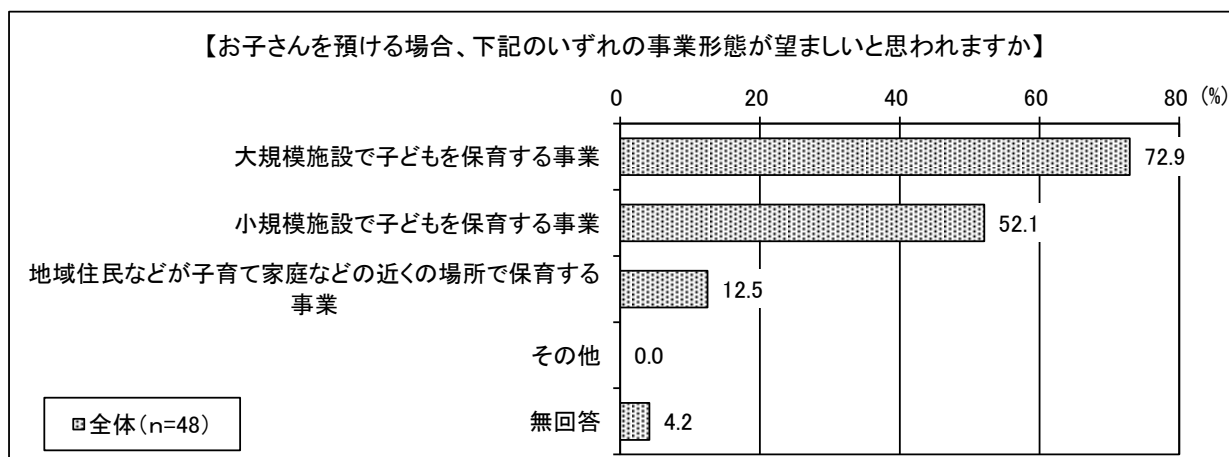


※「エ. その他」のグラフは少人数のため省略（1人で1～5日）。

【問 24 で「利用したい」とお答えいただいた方にお聞きします。】

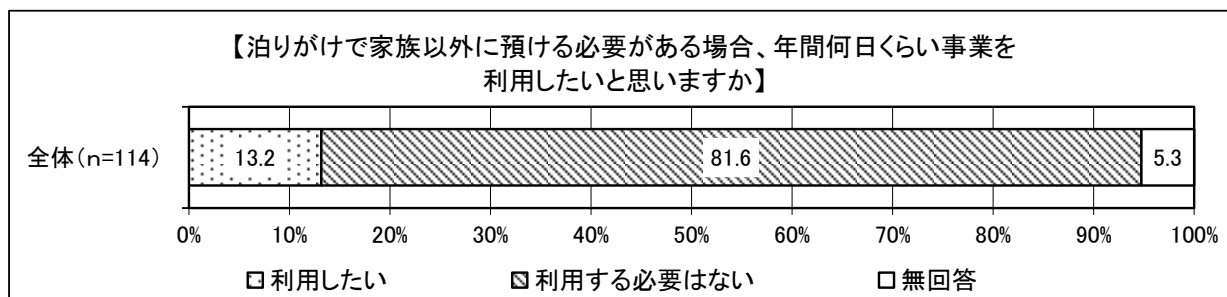
問 24-1. 上記の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。（☑はいくつでも）

一時的預かりの利用希望形態については、「大規模施設で子どもを保育する事業」が 72.9%と最も高く、「小規模施設で子どもを保育する事業」は 52.1%、「地域住民などが子育て家庭などの近くの場所で保育する事業」は 12.5%となっている。

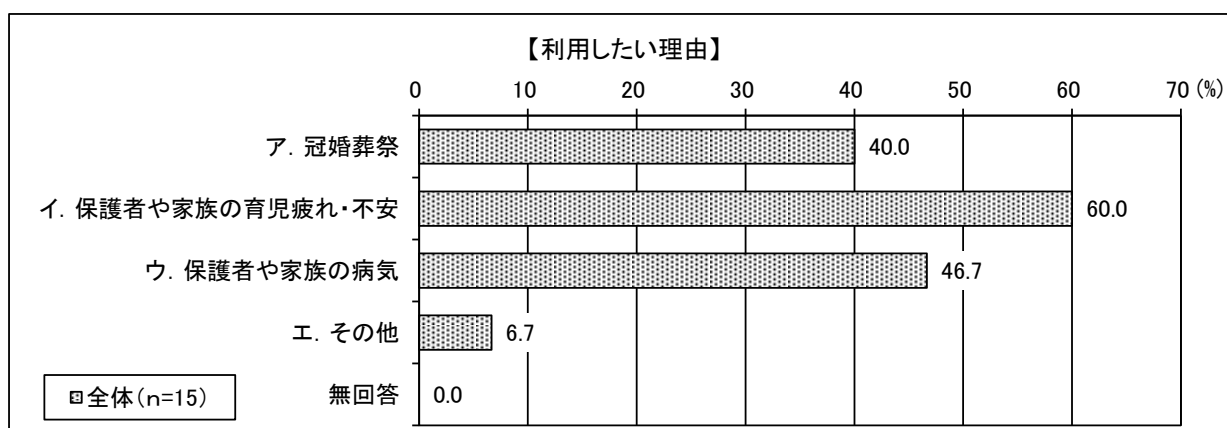


問 25. 宛名のお子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気など）により、泊りがけで家族以外に預ける必要がある場合、年間何日くらい事業を利用したいと思いますか。なお、ファミリー・サポート・センターや子育て短期支援事業（児童養護施設などでのショートステイ）の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。（☑は1つのみ）

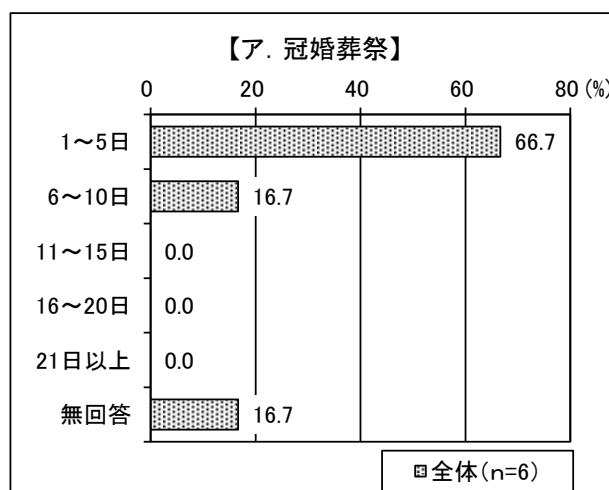
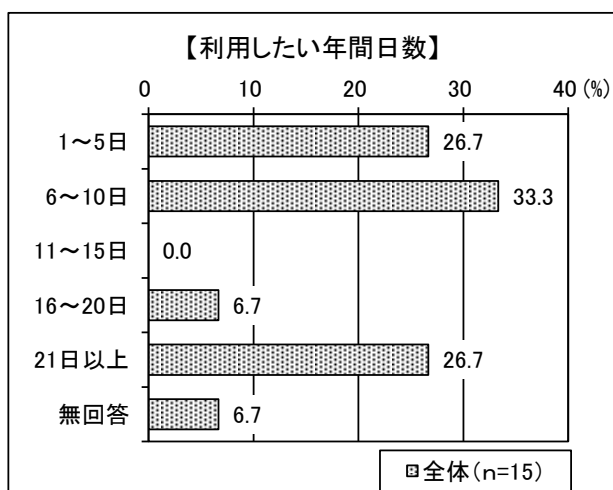
保護者の用事により、泊まりがけで家族以外に預ける必要については、「利用する必要はない」が81.6%と多数を占め、「利用したい」は13.2%となっている。

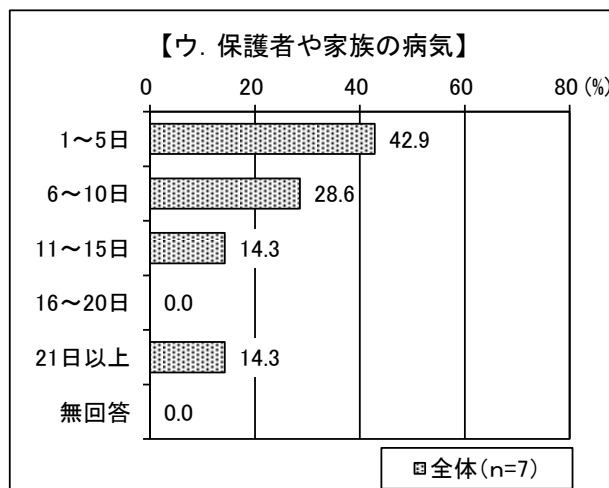
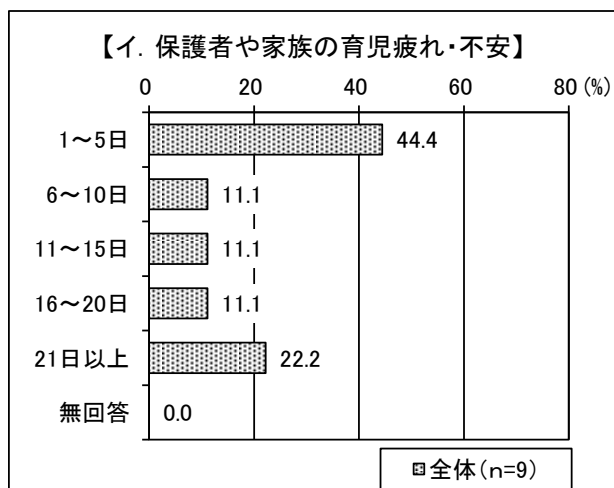


利用したい理由については、「イ. 保護者や家族の育児疲れ・不安」が60.0%と最も高く、以下、「ウ. 保護者や家族の病気」が46.7%、「ア. 冠婚葬祭」が40.0%、「エ. その他」が6.7%となっている。



利用したい年間日数については、「6～10日」が33.3%、「1～5日」及び「21日以上」がともに26.7%、「16～20日」が6.7%となっている。





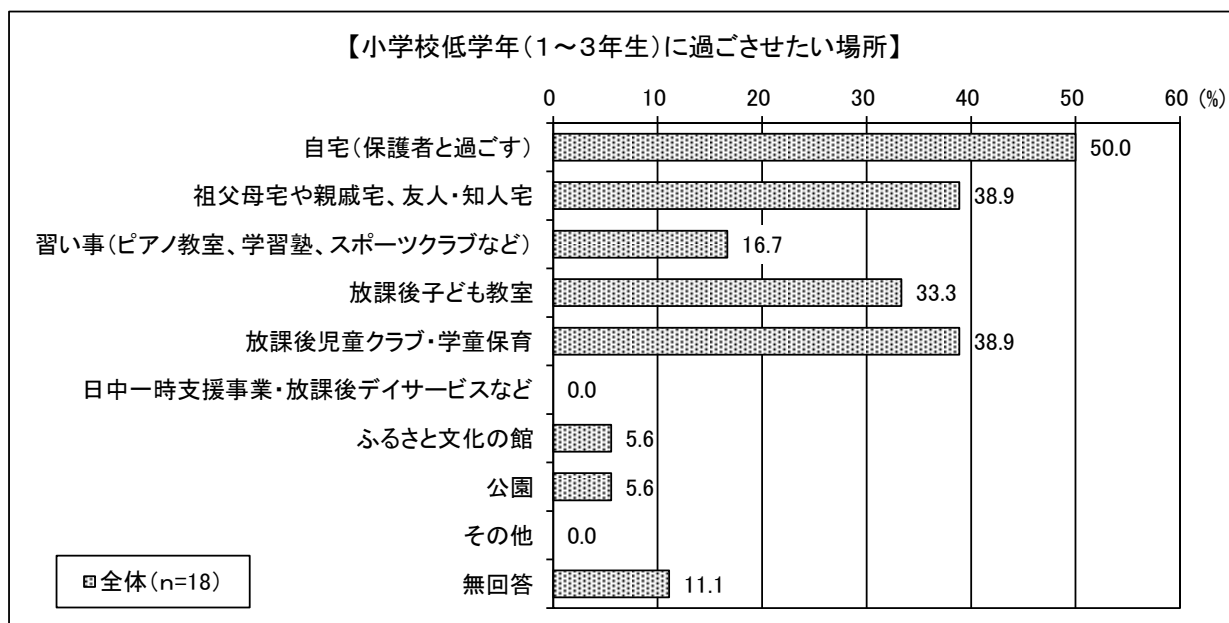
※「エ. その他」のグラフは少人数のため省略（1人で21日以上）。

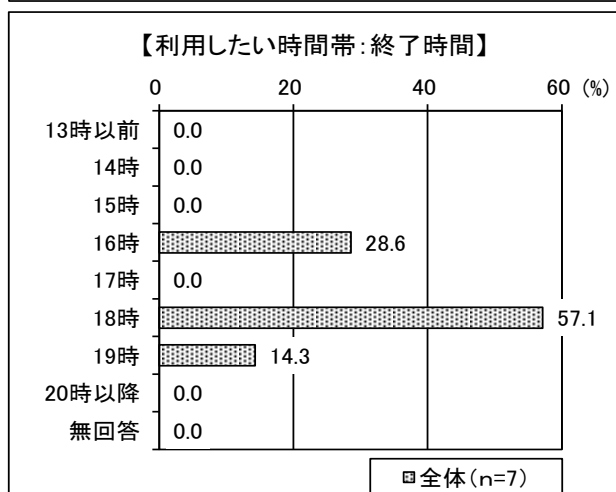
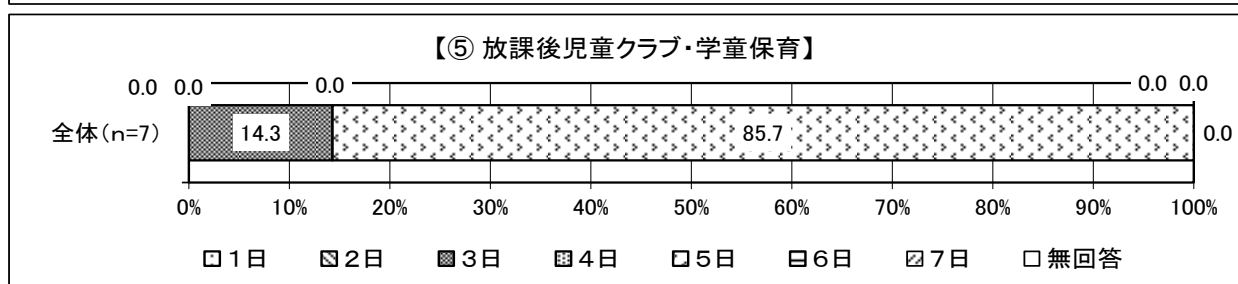
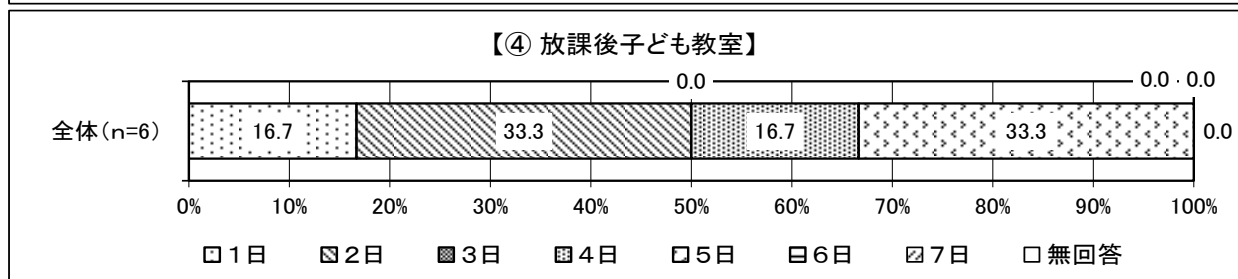
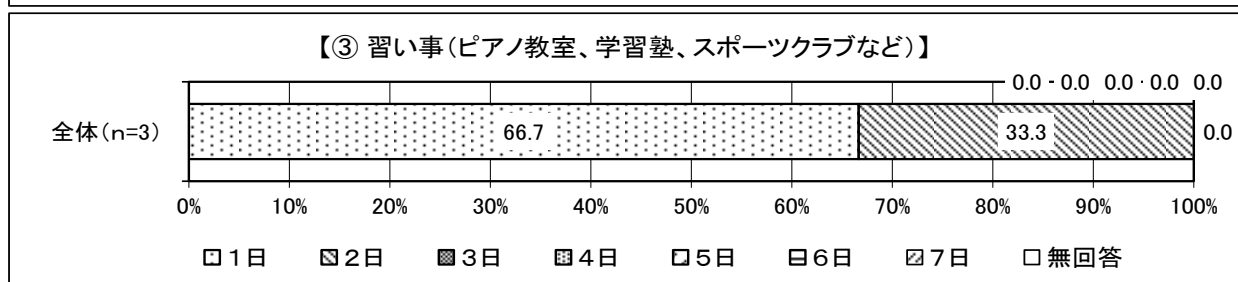
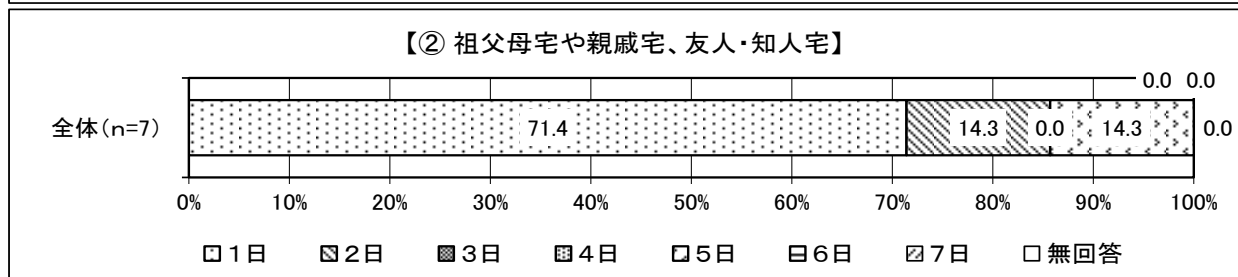
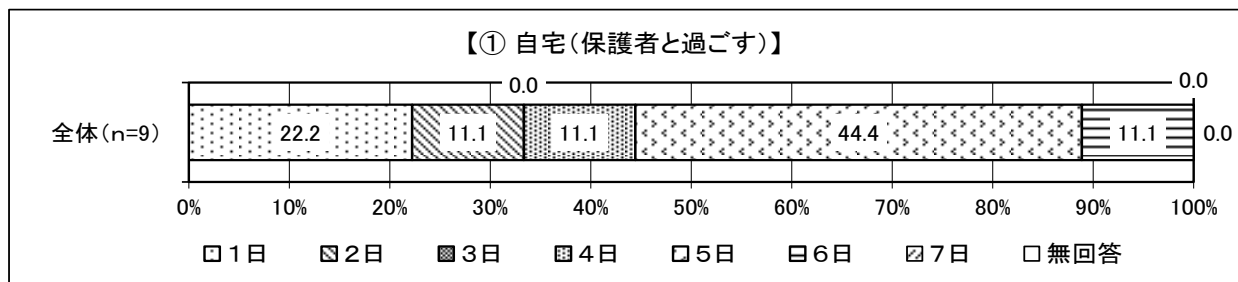
9. 小学校就学後の放課後の過ごし方について

※問 26～28 は宛名のお子さんが、5歳以上である方が、お答えください。

問 26. 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（☑はいくつでも）

放課後（低学年（1～3年生））に過ごさせたい場所は、「自宅（保護者と過ごす）」が 50.0%と最も高く、以下、「祖父母宅や親戚宅、友人・知人宅」及び「放課後児童クラブ・学童保育」（ともに 38.9%）、「放課後子ども教室」（33.3%）となっている。

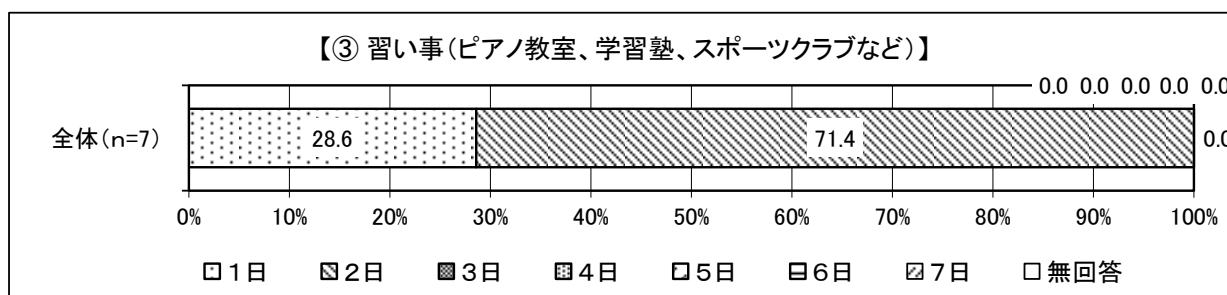
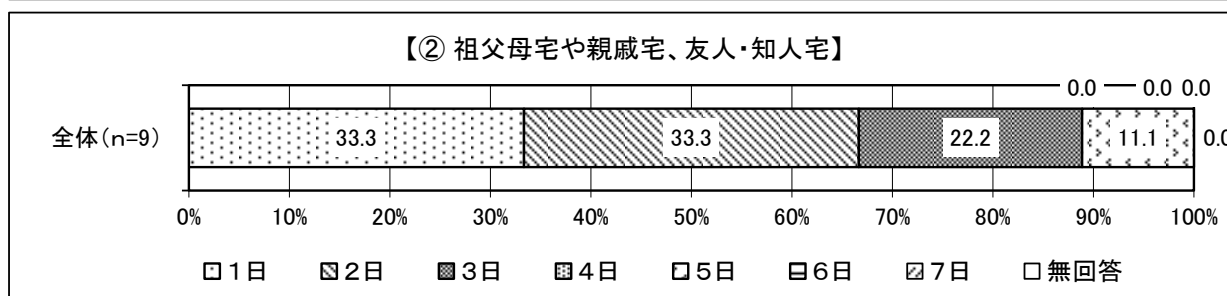
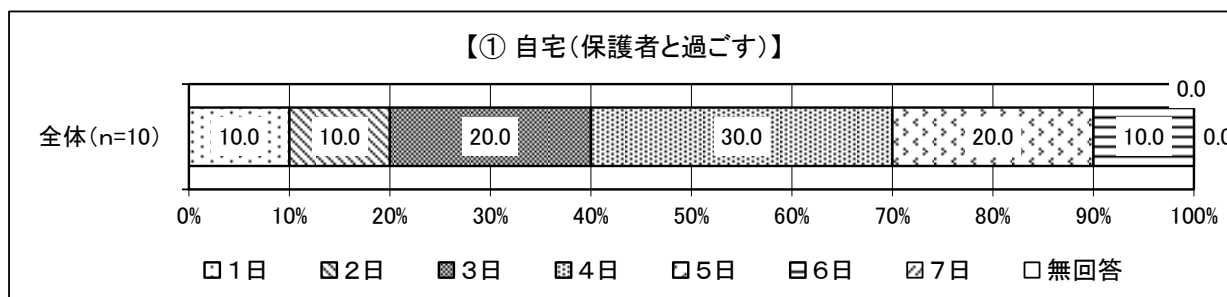
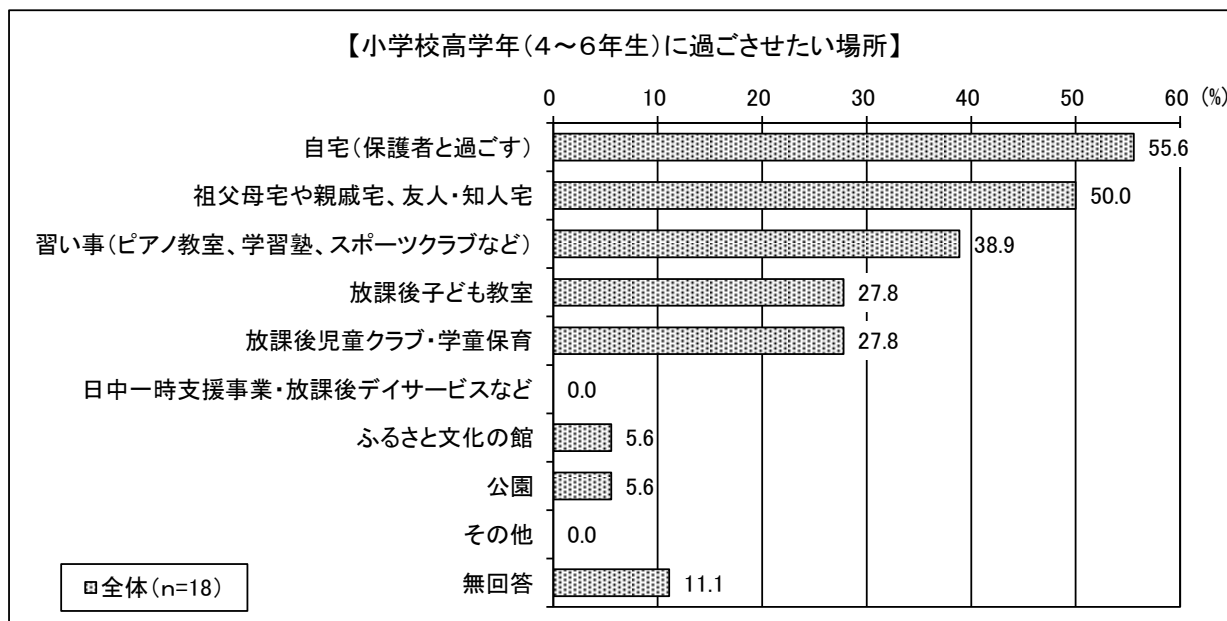


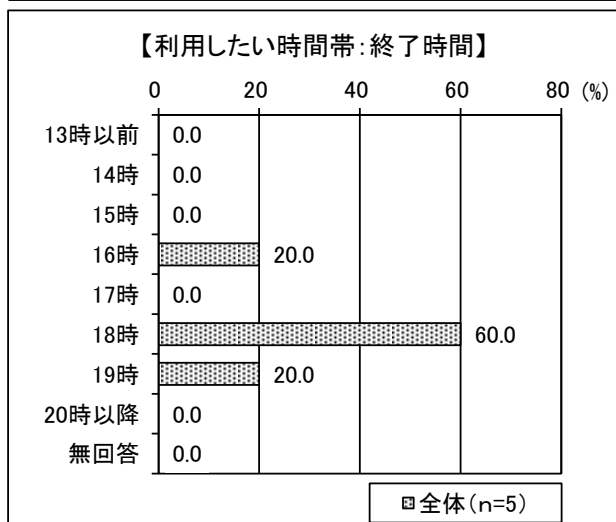
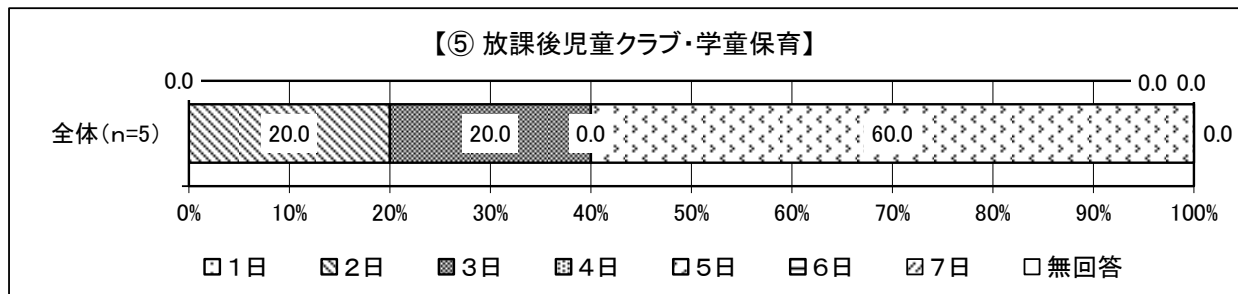
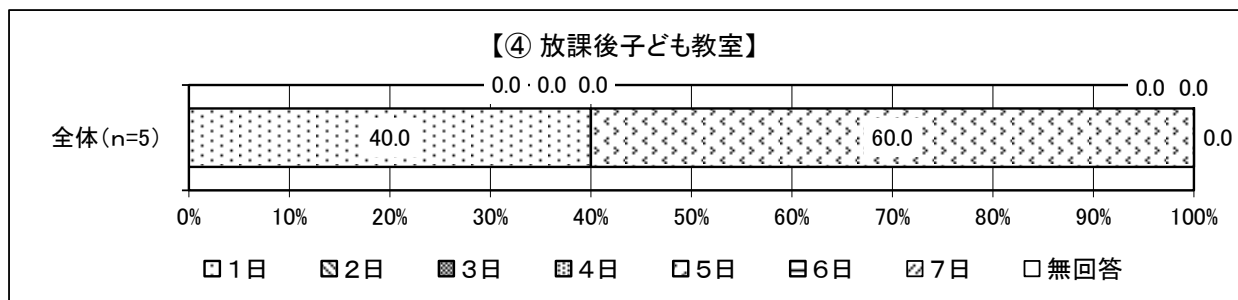


※⑥及び⑨は該当者なし、⑦及び⑧は少人数のためグラフは省略(「⑦ふるさと文化の館」は1人で1日、「⑧公園」は1人で1日)。

問 27. 宛名のお子さんについて、小学校高学年（４～６年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（☑はいくつでも）

放課後（高学年（４～６年生））に過ごさせたい場所は、「自宅（保護者と過ごす）」が 55.6%と最も高く、以下、「祖父母宅や親戚宅、友人・知人宅」（50.0%）、「習い事（ピアノ教室、学習塾、スポーツクラブなど）」（38.9%）、「放課後子ども教室」及び「放課後児童クラブ・学童保育」（ともに 27.8%）などとなっている。





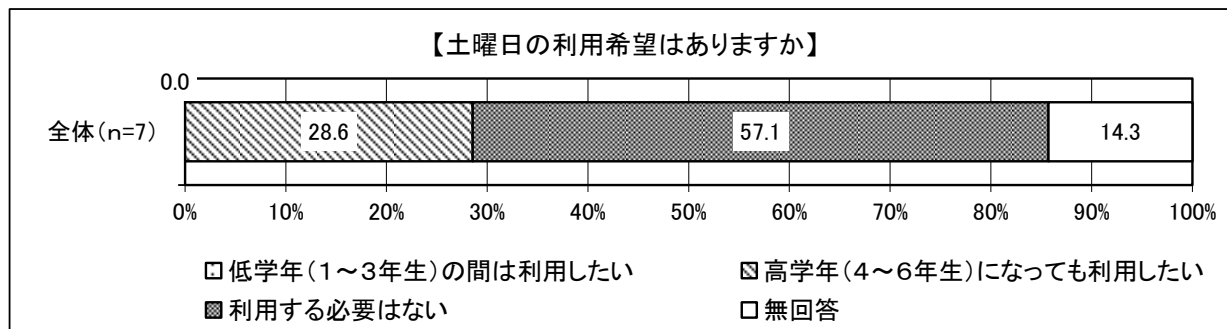
※⑥及び⑨は該当者なし、⑦及び⑧は少人数のためグラフは省略（「⑦ふるさと文化の館」は1人で1日、「⑧公園」は1人で1日）。

【問 26 または問 27 で「⑤ 放課後児童クラブ・学童保育」とお答えいただいた方にお聞きします。】

問 28. 宛名のお子さんについて、土曜日、日曜日・祝日、長期休暇時に、放課後児童クラブ・学童保育の利用希望はありますか。（☑は 1 つのみ）

（１）土曜日

土曜日の放課後児童クラブの利用希望は、「利用する必要はない」が 57.1%と半数以上を占め、「高学年（４～６年生）になっても利用したい」が 28.6%となっている。



【低学年（１～３年生）】

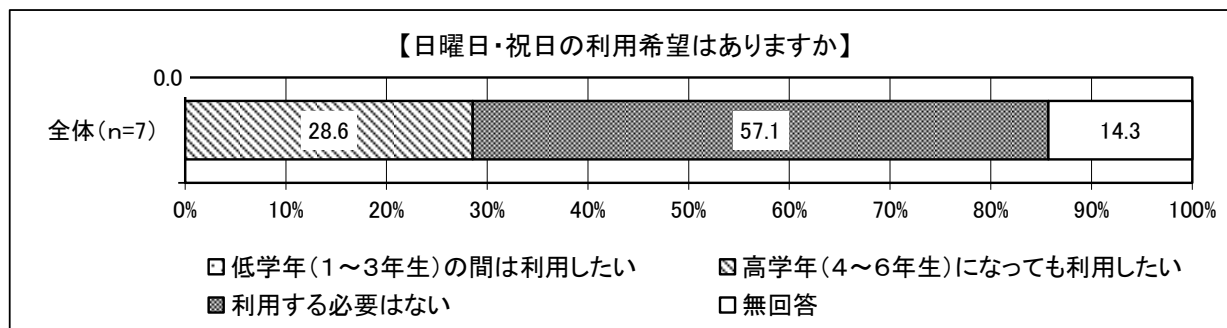
該当者はなし。

【高学年（４～６年生）】

該当者は２人で、希望の利用開始時間は、「８時台」（２人）であり、終了時間は「１４時台」及び「１５時台」（各１人）となっている。

（２）日曜日・祝日

日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用希望は、「利用する必要はない」が 57.1%と半数以上を占め、「高学年（４～６年生）になっても利用したい」が 28.6%となっている。



【低学年（１～３年生）】

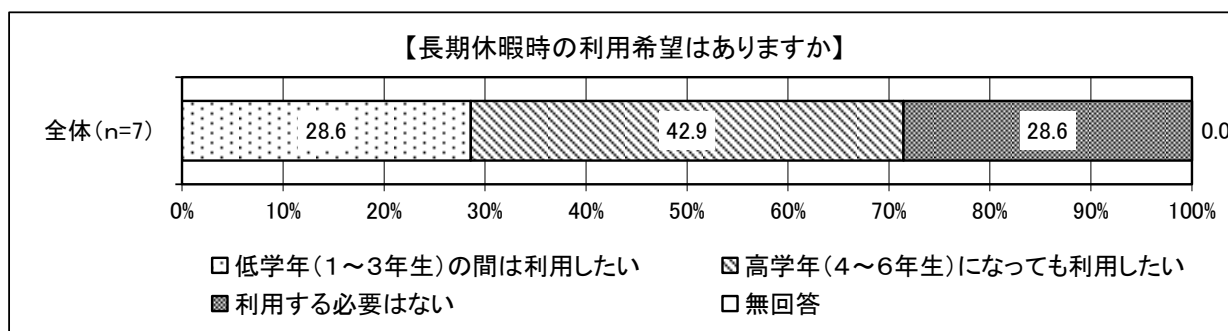
該当者はなし。

【高学年（４～６年生）】

該当者は２人で、希望の利用開始時間は、「８時台」（２人）であり、終了時間は「１４時台」及び「１５時台」（各１人）となっている。

（３）長期休暇

長期休暇の放課後児童クラブの利用希望は、「高学年（４～６年生）になっても利用したい」が４２．９％と最も高く、「低学年（１～３年生）の間は利用したい」及び「利用する必要はない」はともに２８．６％となっている。



【低学年（１～３年生）】

該当者は２人で、希望の利用開始時間は、「８時台」（２人）であり、終了時間は「１６時台」及び「１８時台」（各１人）となっている。

【高学年（４～６年生）】

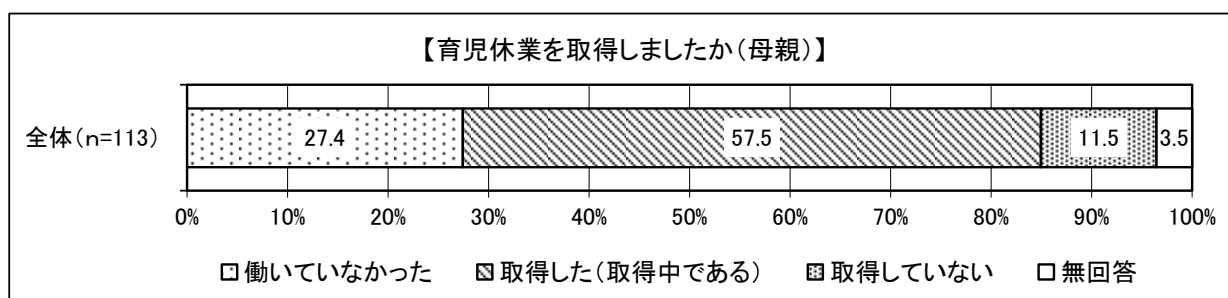
該当者は３人で、希望の利用開始時間は、「８時台」（２人）、「６時台以前」（１人）であり、終了時間は「１６時台」、「１８時台」、「１９時台」（各１人）となっている。

10. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

問 29. 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。（母親、父親それぞれ☑は1つ）

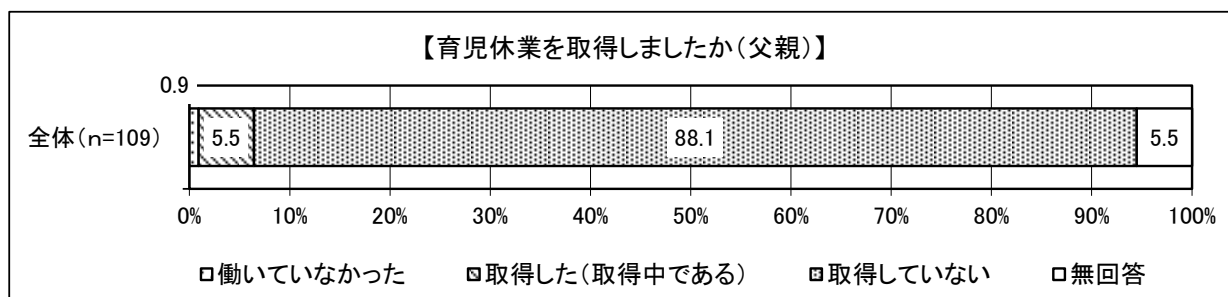
（１）母親

母親の育児休業の取得については、「取得した（取得中である）」が 57.5%と最も高く、以下、「働いていなかった」が 27.4%、「取得していない」が 11.5%となっている。



（２）父親

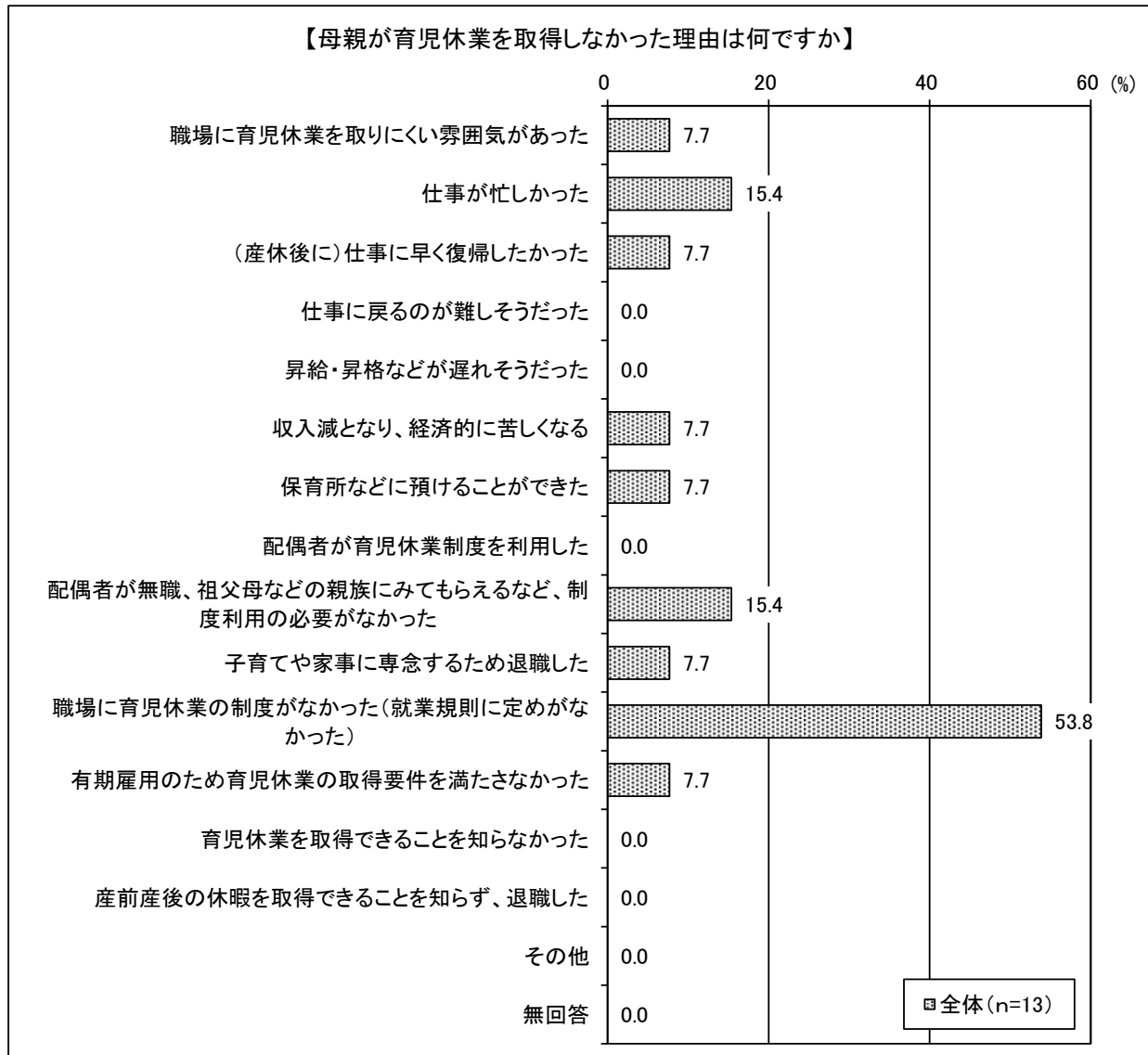
父親の育児休業の取得については、「取得していない」が 88.1%と多数を占め、「取得した（取得中である）」が 5.5%となっている。



取得していない理由

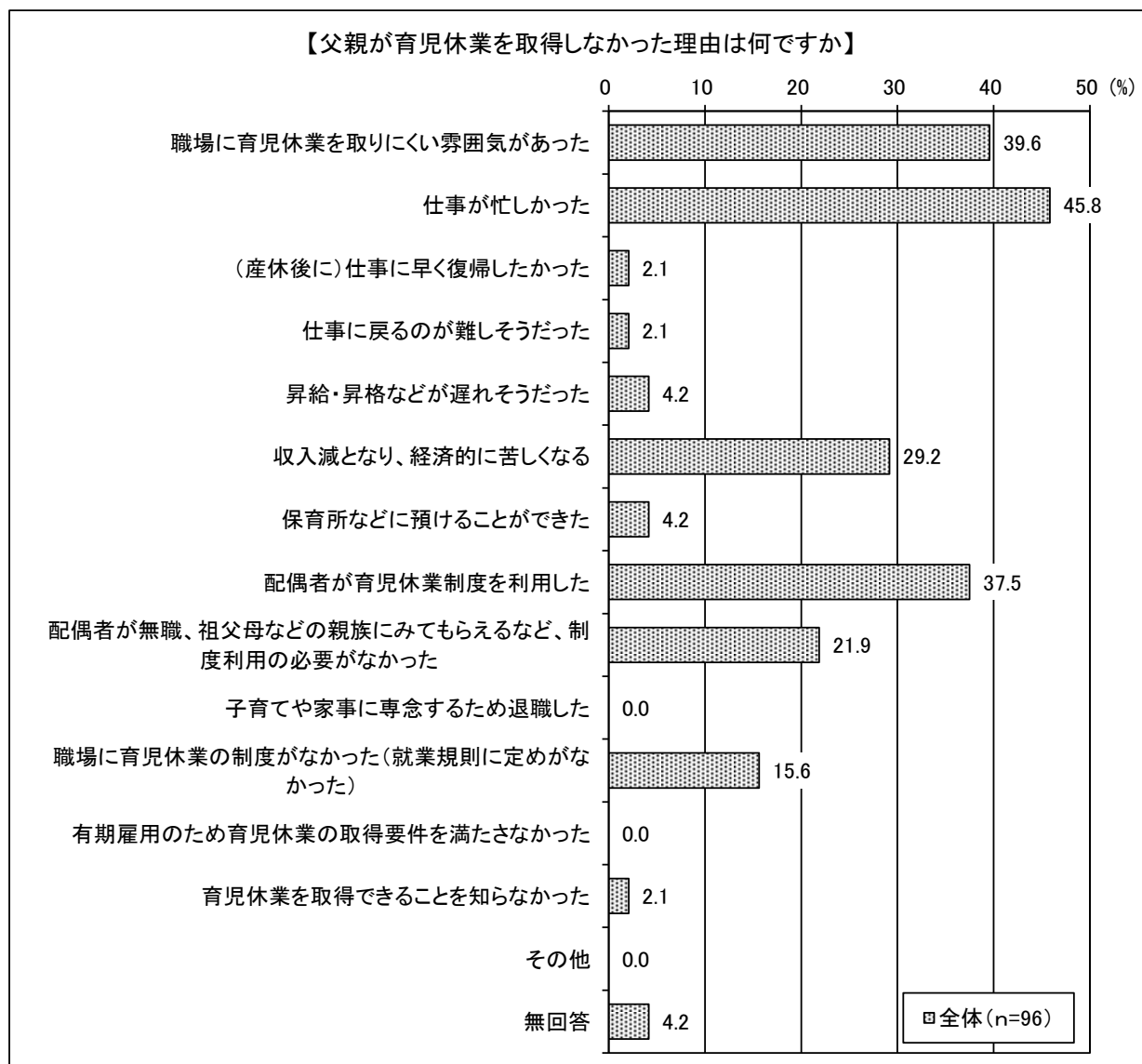
(1) 母親

母親が育児休業を取得していない理由は、「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」が53.8%と最も高く、以下、「仕事が忙しかった」及び「配偶者が無職、祖父母などの親族にみてもらえるなど、制度利用の必要がなかった」（ともに15.4%）などとなっている。



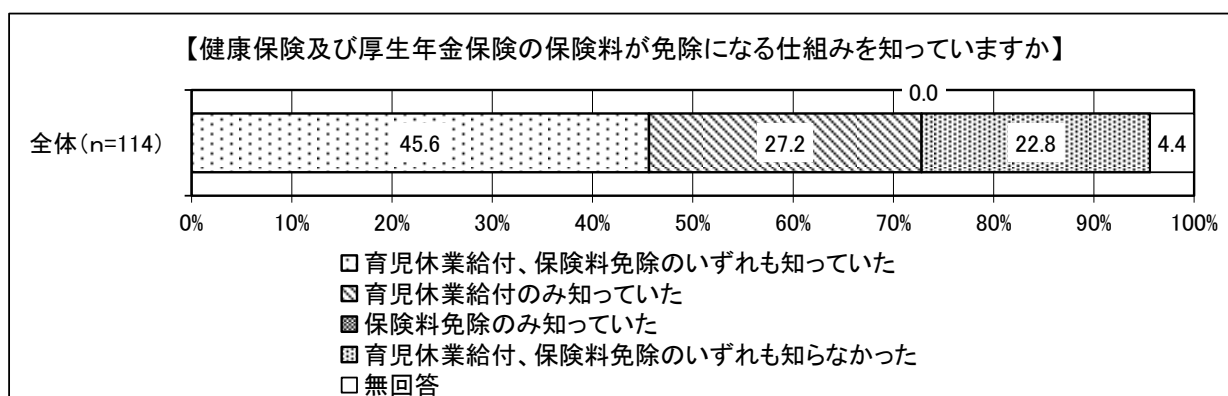
(2) 父親

父親が育児休業を取得していない理由は、「仕事が忙しかった」が45.8%と最も高く、以下、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」(39.6%)、「配偶者が育児休業制度を利用した」(37.5%)、「収入減となり、経済的に苦しくなる」(29.2%)、「配偶者が無職、祖父母などの親族にみてもらえるなど、制度利用の必要がなかった」(21.9%) などとなっている。



問 29-1. 子どもが原則 1 歳（保育所などにおける保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は 2 歳）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満 3 歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。（☑は 1 つのみ）

育児休業給付の支給、健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みを知っていたかについては、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が 45.6%と最も高く、以下、「育児休業給付のみ知っていた」(27.2%)、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」(22.8%)となっている。

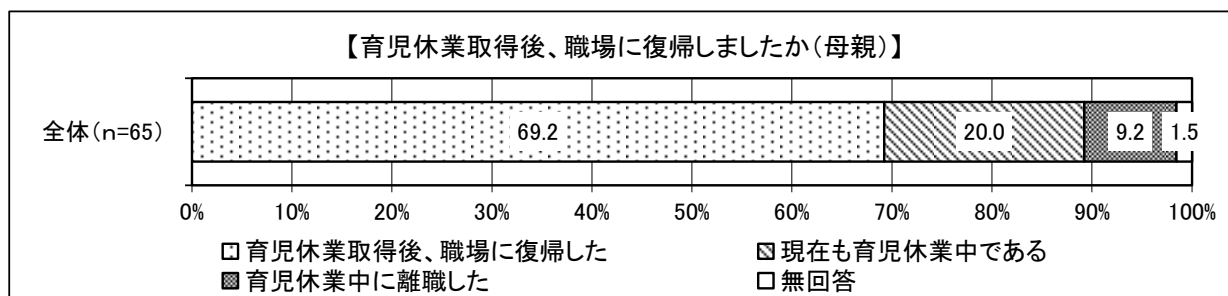


【問 29 で「取得した（取得中である）」とお答えいただいた方にお聞きます。】

問 29-2. 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。（それぞれ☑は 1 つのみ）

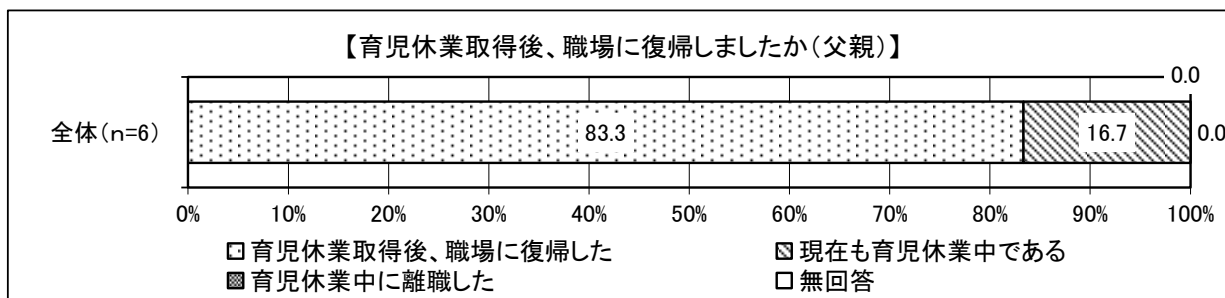
（１）母親

育児休業取得後の職場復帰については、「育児休業取得後、職場に復帰した」が 69.2%と多数を占め、「現在も育児休業中である」が 20.0%、「育児休業中に離職した」が 9.2%となっている。



（２）父親

育児休業取得後の職場復帰については、「育児休業取得後、職場に復帰した」が 83.3%と多数を占め、「現在も育児休業中である」が 16.7%となっている。

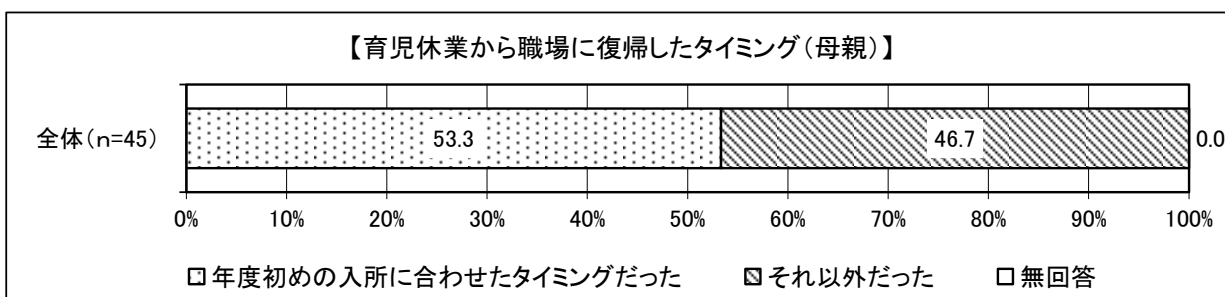


【問 29-2 で「育児休業取得後、職場に復帰した」とお答えいただいた方にお聞きます。】

問 29-3. 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所などの入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。（それぞれ☑は 1 つのみ）

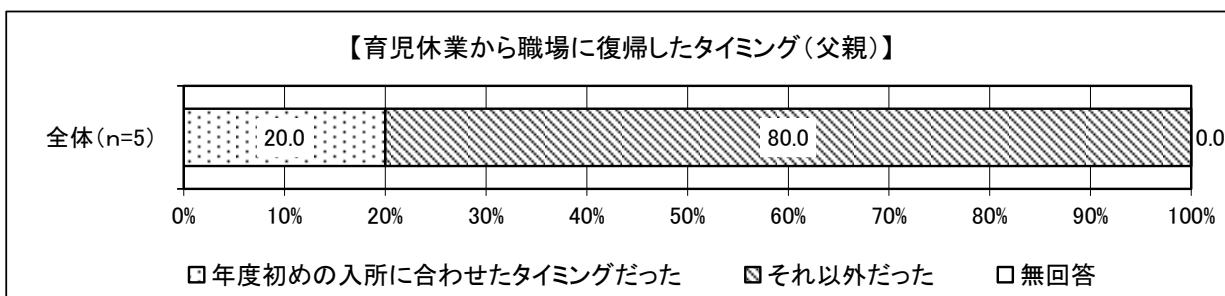
（１）母親

育児休業から職場に復帰した時期については、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が 53.3%、「それ以外だった」が 46.7%となっている。



（２）父親

育児休業から職場に復帰した時期については、「それ以外だった」が 80.0%、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」は 20.0%となっている。



【問 29-2 で「育児休業取得後、職場に復帰した」とお答えいただいた方にお聞きします。】

問 29-4. 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。

(1) 母親

実際の取得期間の子どもの年齢は、平均 1 歳 1. 8 か月であり、希望の取得期間の子どもの年齢は、平均 1 歳 4. 1 か月となっている。

	全体	
実際の取得期間(平均)	1 歳	1. 8 か月
希望の取得期間(平均)	1 歳	4. 1 か月

(2) 父親

実際の取得期間の子どもの年齢は、平均 1 歳 5. 5 か月であり、希望の取得期間の子どもの年齢は、平均 0 歳 6. 5 か月となっている。

	全体	
実際の取得期間(平均)	1 歳	5. 5 か月
希望の取得期間(平均)	0 歳	6. 5 か月

【問 29-2 で「育児休業取得後、職場に復帰した」とお答えいただいた方にお聞きします。】

問 29-5. お勤め先に、育児のために 3 歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。

(1) 母親

希望の取得期間の子どもの年齢は、平均 2 歳 0. 5 か月となっている。

	全体	
希望の取得期間(平均)	2 歳	0. 5 か月

(2) 父親

希望の取得期間の子どもの年齢は、平均 1 歳 6. 0 か月となっている。

	全体	
希望の取得期間(平均)	1 歳	6. 0 か月

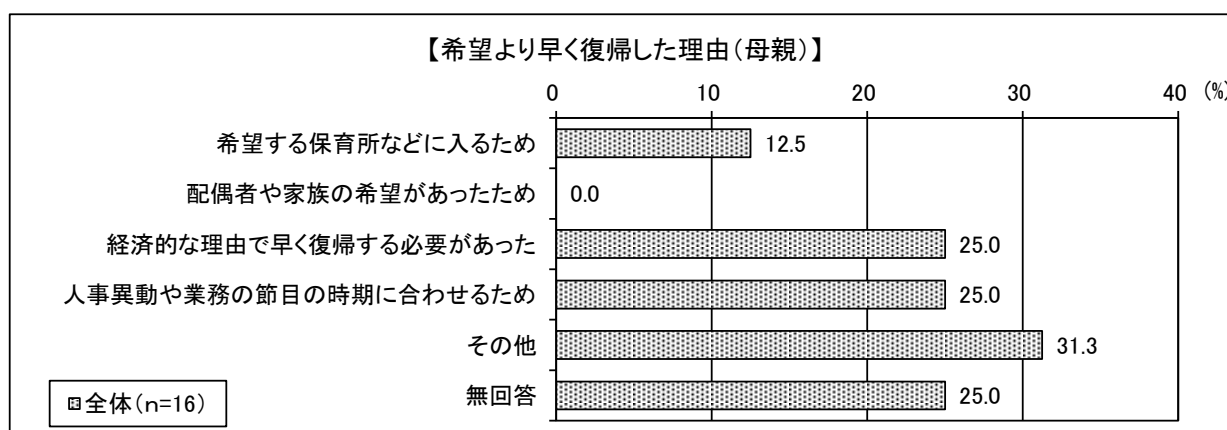
【問 29-4 で実際の復帰と希望が異なる方にお聞きします。】

問 29-6. 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてお答えください。（それぞれ☑はいくつでも）

（１）「希望」より早く復帰した方

①母親

希望より早く復帰した理由は、「経済的な理由で早く復帰する必要があった」及び「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」がともに 25.0%、「希望する保育所などに入るため」が 12.5%となっている。



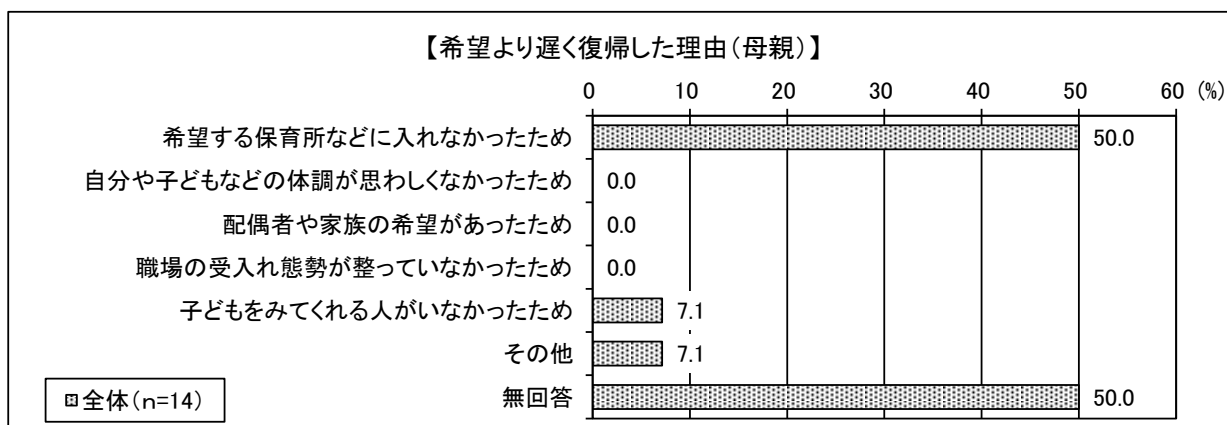
②父親

該当者は2人で、「経済的な理由で早く復帰する必要があった」及び「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」（各2人）となっている。

（２）「希望」より遅く復帰した方

①母親

希望より遅く復帰した理由は、「希望する保育所などに入れなかったため」が 50.0%、「子どもをみてくれる人がいなかったため」が 7.1%となっている。



②父親

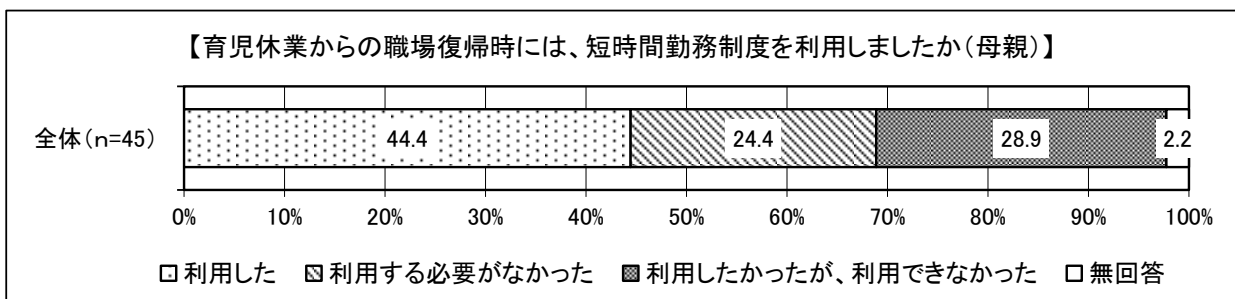
該当者は2人で無回答。

【問 29-2 で「育児休業取得後、職場に復帰した」とお答えいただいた方にお聞きます。】

問 29-7. 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。（それぞれ
☑は1つのみ）

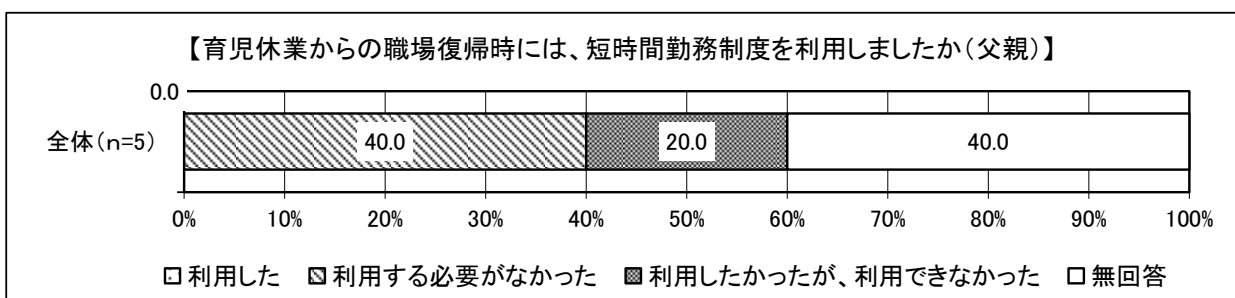
（1）母親

短時間制度の利用については、「利用した」が44.4%と最も高く、以下、「利用したかったが、利用できなかった」が28.9%、「利用する必要がなかった」が24.4%となっている。



（2）父親

短時間制度の利用については、「利用する必要がなかった」が40.0%（2人）、「利用したかったが、利用できなかった」が20.0%（1人）となっている。

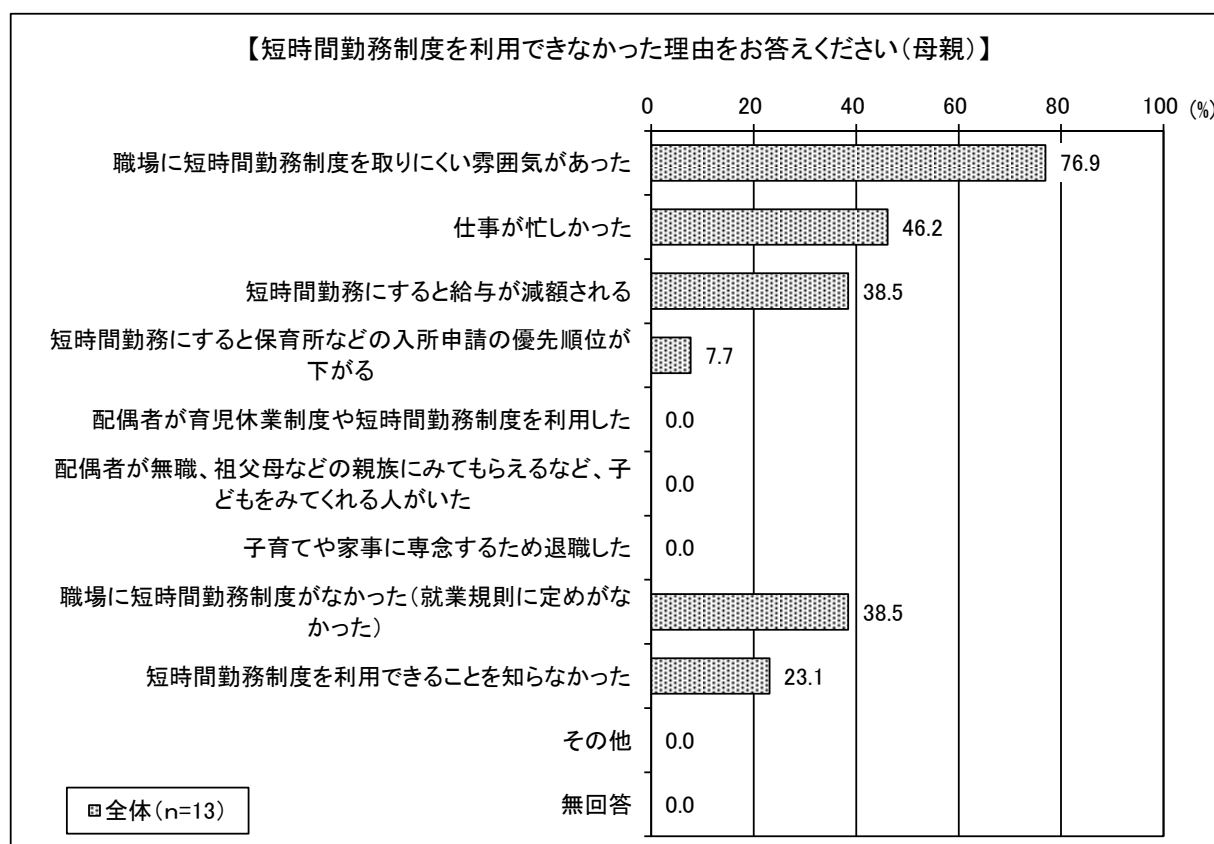


【問 29-7 で「利用したかったが、利用できなかった」とお答えいただいた方にお聞きします。】

問 29-8. 短時間勤務制度を利用できなかった理由をお答えください。（それぞれ☑はいくつでも）

（１）母親

短時間制度を利用しなかった理由は、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が 76.9%と最も高く、以下、「仕事が忙しかった」(46.2%)、「短時間勤務にすると給与が減額される」及び「職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」(38.5%) などとなっている。



（２）父親

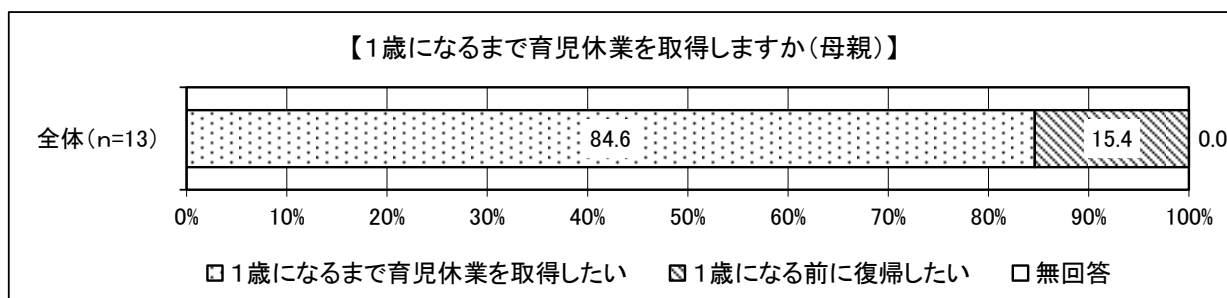
該当者は 1 人で、「仕事が忙しかった」となっている。

【問 29-2 で「現在も育児休業中である」とお答えいただいた方にお聞きます。】

問 29-9. 宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる保育の事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。（それぞれ☑は1つのみ）

（１）母親

1歳になったときに必ず利用できる保育の事業があれば育児休業を取得するかについては、「1歳になるまで育児休業を取得したい」が84.6%と多数を占め、「1歳になる前に復帰したい」は15.4%となっている。



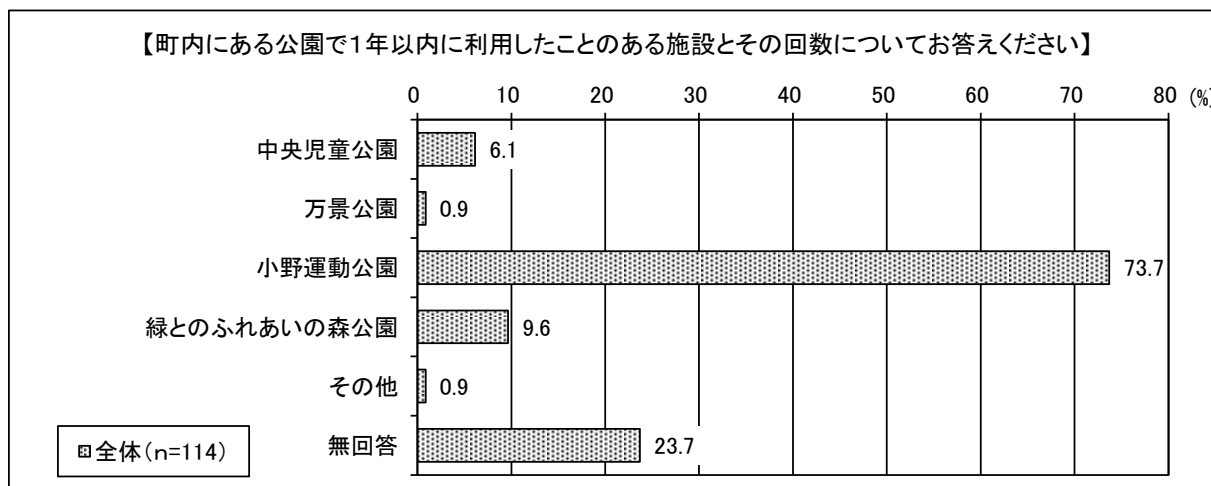
（２）父親

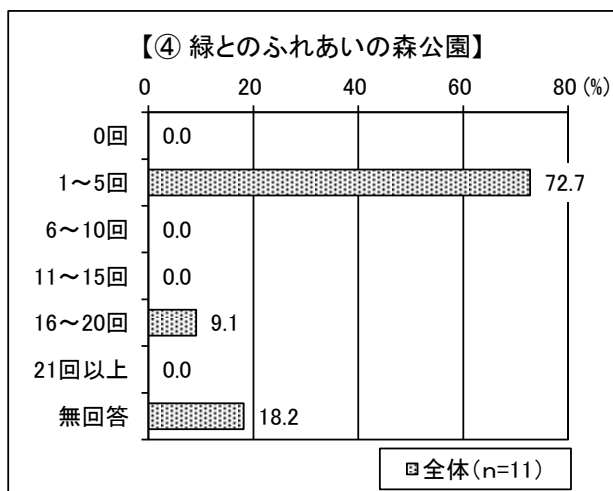
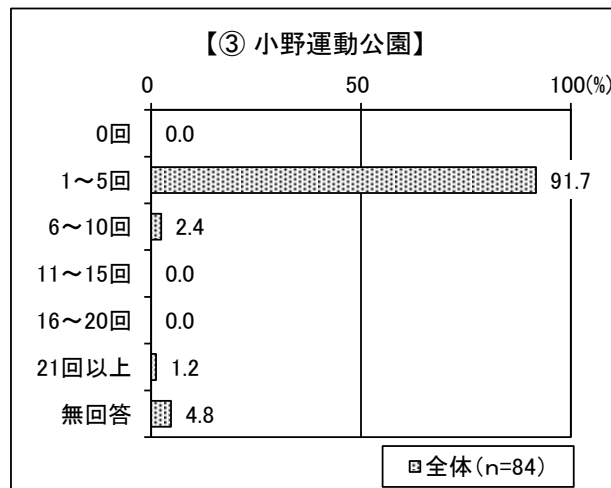
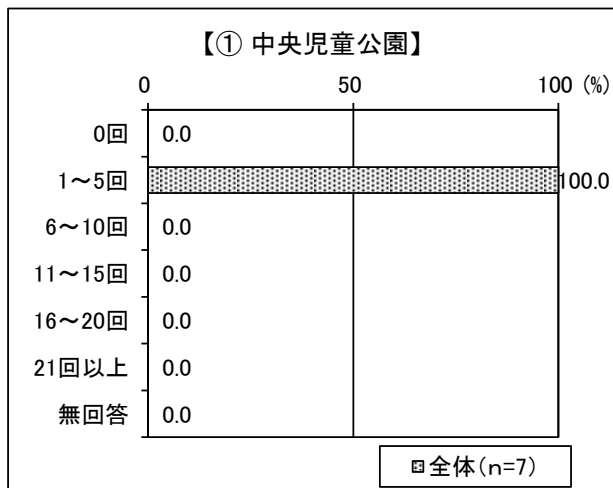
該当者は1人で、「1歳になる前に復帰したい」となっている。

11. 小野町の子育て環境や子育て支援施策全般について

問 30. 町内にある公園で1年以内に利用したことのある施設とその回数についてお答えください。（あてはまるものすべてに☑し、該当する口内に回数をご記入ください。）

町内にある公園で1年以内に利用したことのある施設は、「小野運動公園」が73.7%と最も高く、以下、「緑とのふれあいの森公園」(9.6%)、「中央児童公園」(6.1%)、「万景公園」(0.9%)となっている。

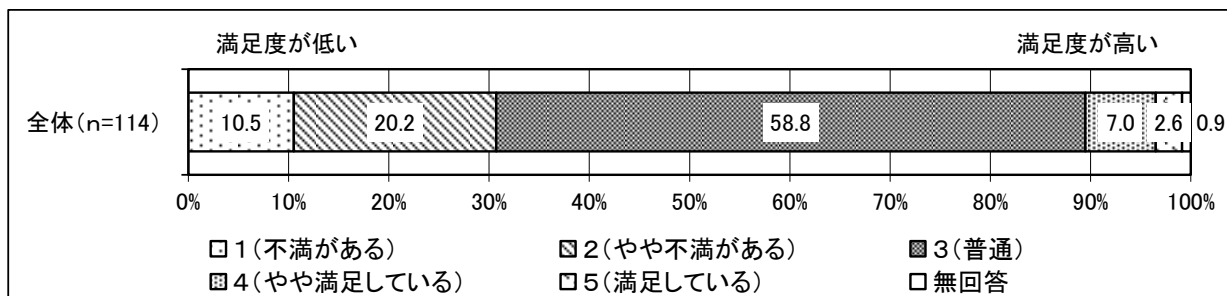




※②及び⑤のグラフは少人数のため省略：(「②万景公園」は1人で1～5回、「⑤その他」は1人で0.1回)。

問 31. お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度についてお答えください。
(☑は1つのみ)

本町における子育ての環境や支援への満足度は、「3 (普通)」が 58.8%と最も高く、以下、「2 (やや不満がある)」が 20.2%、「1 (不満がある)」が 10.5%、「4 (やや満足している)」が 7.0%、「5 (満足している)」が 2.6%となっている。



問 32. 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援について、57 人から 76 件の意見等が寄せられており、「子どもの遊び場」(27 件)や「子育て全般の経済的負担」(8 件)、「施設の充足、待機児童の解消など」(6 件)などが上位にあげられている。

自由意見		件数
1	教育、保育サービス	15
	施設に預けるサービス	2
	病気の際などの緊急時のサービス	4
	施設の充足、待機児童の解消など	6
	教育・保育環境の整備	1
	障がいのある子どもへのサポート	2
2	小・中学校	2
	登下校	1
	放課後の過ごし方	1
3	家庭環境	10
	保護者の就労状況	2
	子育て全般の経済的負担	8
4	地域の子育て環境	32
	子どもの遊び場	27
	商業施設、日用品の買物	1
	医療環境	2
	交通環境（公共交通・道路）	2
5	教育・保育の人材	1
	保育士、教職員の確保	1
6	その他の子育て支援	3
	子育てに関する情報	1
	子育てに関する相談	1
	子育てに関するイベント、講座など	1
7	その他	13
	習い事の場合	1
	手続き等	1
	行政・政策	4
	アンケート調査	1
	その他	3
	特になし	3
合計		76

※1つの調査票に複数の内容が記載されている場合、件数は複数回カウントしている。

Ⅲ 小学生アンケート調査 集計結果

Ⅲ 小学生 集計結果

◇ 調査結果（概要）

1. お子さんご家族の状況について

子どもの学年は、「5年生」が22.4%と最も高く、以下、「1年生」及び「6年生」がともに16.4%、「2年生」が16.1%、「4年生」が14.5%、「3年生」が13.9%となっている。

また、きょうだいの数は、「2人」が38.8%と最も高く、以下、「3人」が34.1%、「1人」が12.3%、「4人」が11.0%、「5人」が3.8%となっている。

本調査票の回答者は、「母親」が89.0%と多数を占めている。

同居されている方は、「母親、父親とも」が85.2%と最も高く、以下、「祖母（同居）」が43.8%、「祖父（同居）」が36.9%、「祖母（近居）」が28.4%、「祖父（近居）」が20.5%となっている。

子育てを主に行っている人は、「母親、父親ともに」が58.7%、「母親」が31.5%となっている。

2. お子さんの育ちをめぐる環境について

情報の入手先は、「広報おのまち」(57.1%)や「おのまち健康カレンダー」(22.7%)が上位となっている。一方、「特に得ていない」は31.5%となっている。

3. 保護者の就労状況について

【母親の就労状況】

「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が63.0%と最も高く、以下、「パート・アルバイトなどで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が27.0%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が7.1%となっている。

就労日数は、「5日」(73.2%)、1日あたりの就労時間は「8時間」(44.9%)、家を出る時間は「7時台」(42.2%)、帰宅時間は「18時台」(32.8%)が、それぞれ最も高い比率となっている。

「パート・アルバイト」などで就労している方の「フルタイム」への変更希望については、「パート・アルバイトなどの就労を続けることを希望」が42.5%と約半数を占める高い比率となっている。一方、フルタイムへの転換希望については、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が20.7%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が13.8%と、フルタイムへの転換希望は34.5%である。

現在就労していない方の就労希望については、「1年より先、一番下の子どもが●歳になったころに就労したい」及び「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」がともに26.1%、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が21.7%となっている。

「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の希望就労形態は、「フルタイム」が41.7%、「パート・アルバイトなど」が33.3%（4人）であり、希望就労日数は「5日」（4人）、希望就労時間は「4時間」及び「6時間」が各1人、「8時間」が2人となっている。

【父親の就労状況】

「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」が94.1%と多数を占めている。

就労日数は、「5日」（49.6%）、1日あたりの就労時間は「8時間」（51.1%）、家を出る時間は「7時台」（45.9%）、帰宅時間は「18時台」（27.4%）が、それぞれ最も高い比率となっている。

「パート・アルバイト」などで就労している方は該当者がいなかった。

現在就労していない方は1人で、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」となっている。

4. 放課後の過ごし方について

現在の放課後の過ごし方については、「自宅（保護者と過ごす）」が55.8%と最も高く、以下、「放課後児童クラブ・学童保育」（26.8%）、「習い事（ピアノ教室、学習塾、スポーツクラブなど）」（26.5%）、「放課後子ども教室」（24.3%）となっている。

放課後に過ごさせたい場所は、低学年（1～3年生）は「放課後児童クラブ・学童保育」（50.0%）が、小学校高学年（4～6年生）は「自宅」（41.3%）が、それぞれ最も高くなっている。

5. 子どもの居場所づくり事業について

新たな施設（児童館）で実施する場合の利用希望については、「利用する必要はない」が65.0%と多数を占め、「利用したい」は33.4%となっており、利用希望の日数は「5日」（26.4%）、利用希望の終了時間は「18時まで」（25.5%）が、それぞれ最も高くなっている。

土曜日の利用希望については、「利用する必要はない」が51.9%、「利用したい」が44.3%となっており、希望の利用開始時間は「8時台」（42.6%）、利用終了時間は「17時台」（40.4%）が、それぞれ最も高くなっている。

保護者も一緒に利用したいかについては、「利用する必要はない」が55.7%と過半数を占め、「利用したい」は17.9%となっており、利用希望の日数は「1日」（63.2%）、利用希望の終了時間は「19時まで」（36.8%）が、それぞれ最も高くなっている。

6. 小野町の子育て環境や子育て支援施策全般について

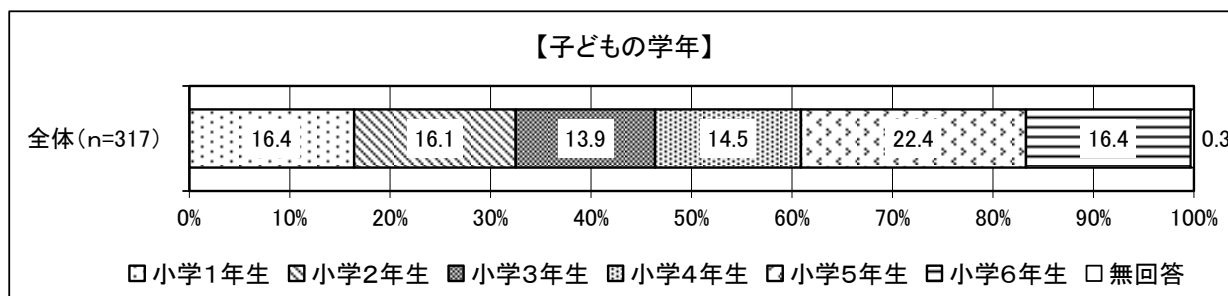
町内の利用したことのある公園については、「小野運動公園」が59.9%と最も高く、「緑とのふれあいの森公園」（9.5%）、「中央児童公園」（5.4%）、「万景公園」（1.3%）となっている。

本町における子育ての環境や支援への満足度は、「3（普通）」が49.5%と最も高く、以下、「2（やや不満がある）」が25.6%、「1（不満がある）」が12.6%、「4（やや満足している）」が6.9%、「5（満足している）」が2.2%となっている。

1. お子さんご家族の状況について

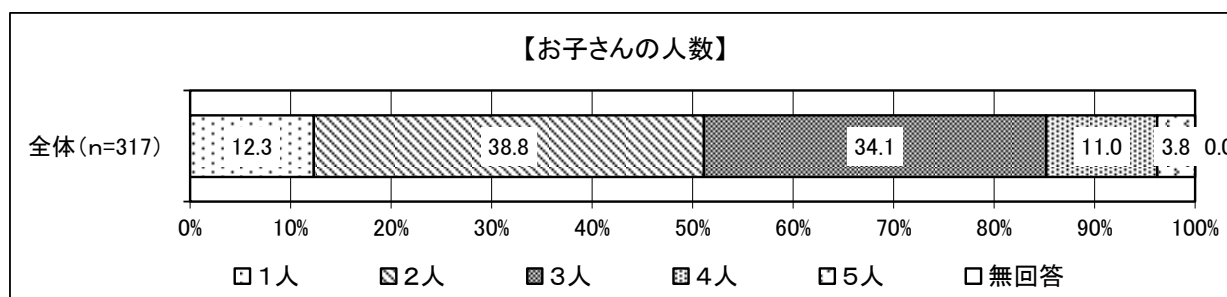
問1. 宛名のお子さんの現在の学年をお答えください。（☑は1つのみ）

子どもの学年は、「5年生」が22.4%と最も高く、以下、「1年生」及び「6年生」がともに16.4%、「2年生」が16.1%、「4年生」が14.5%、「3年生」が13.9%となっている。



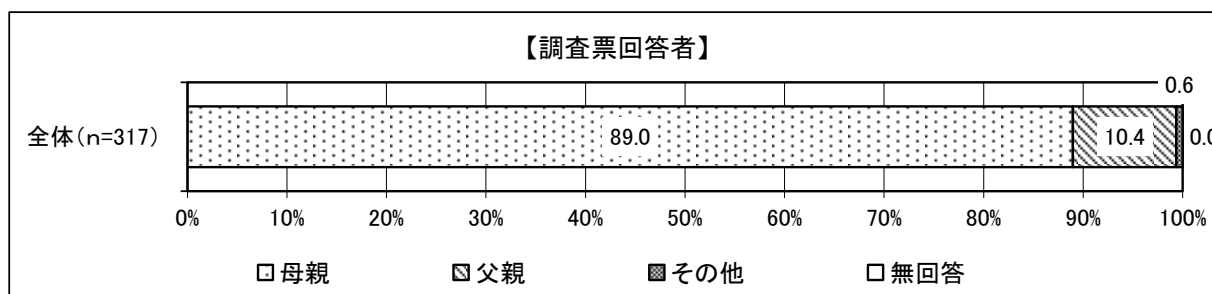
問2. すべてのお子さんの人数をお答えください。（□内に数字をご記入ください。）

きょうだいの数は、「2人」が38.8%と最も高く、以下、「3人」が34.1%、「1人」が12.3%、「4人」が11.0%、「5人」が3.8%となっている。



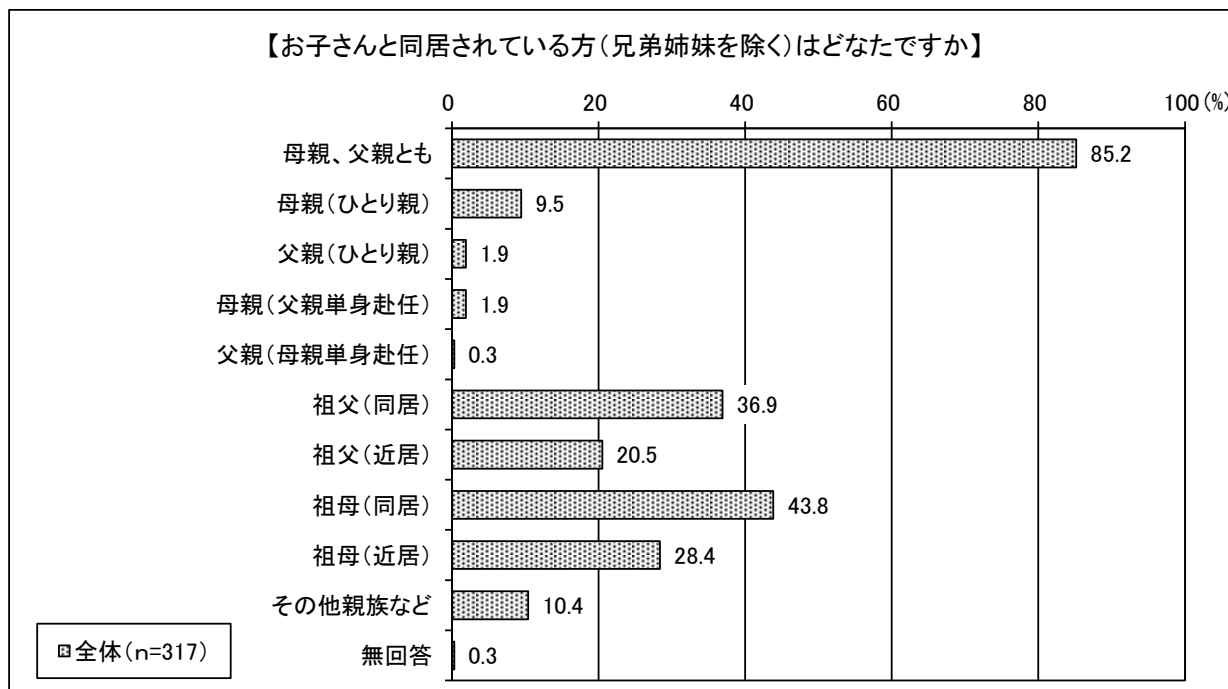
問3. この調査票にお答えいただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。（☑は1つのみ）

本調査票の回答者は、「母親」が89.0%と多数を占め、「父親」は10.4%となっている。



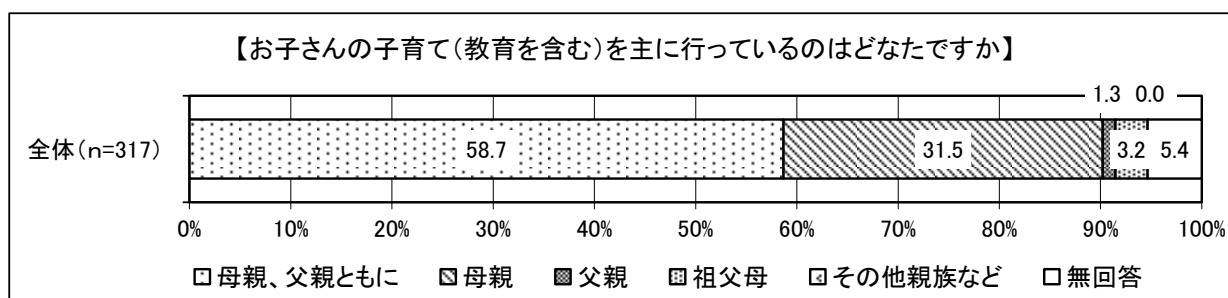
問4. お子さんと同居されている方（兄弟姉妹を除く）はどなたですか。お子さんから見た関係でお答えください。祖父、祖母については同居または近居（おおむね 30 分で行き来できる状況）の別でお答えください。（☑はいくつでも）

同居されている方は、「母親、父親とも」が 85.2%と最も高く、以下、「祖母（同居）」が 43.8%、「祖父（同居）」が 36.9%、「祖母（近居）」が 28.4%、「祖父（近居）」が 20.5%となっている。



問5. 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんから見た関係でお答えください。（☑は1つのみ）

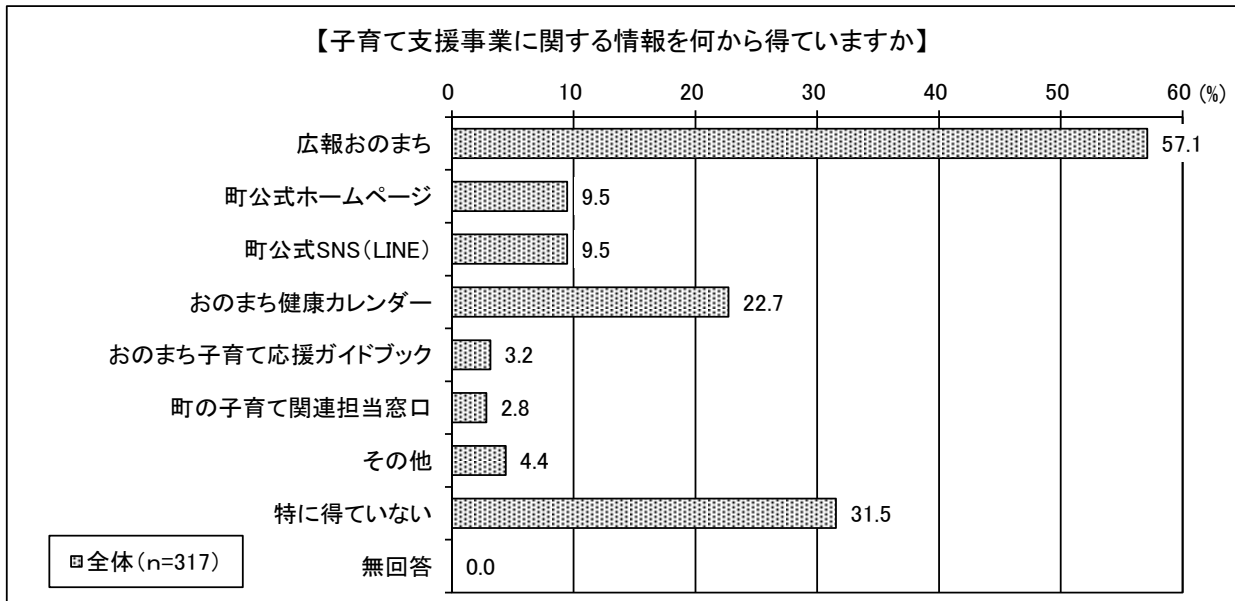
子育てを主に行っている人は、「母親、父親ともに」が 58.7%と最も高く、以下、「母親」が 31.5%、「祖父母」が 3.2%、「父親」が 1.3%となっている。



2. お子さんの育ちをめぐる環境について

問6. 子育て支援事業に関する情報を何から得ていますか。（☑はいくつでも）

子育て支援事業に関する情報を何から得ているかについては、「広報おのまち」（57.1%）及び「おのまち健康カレンダー」（22.7%）が上位となっており、それ以外の項目は10%未満となっている。また、「特に得ていない」は31.5%となっている。

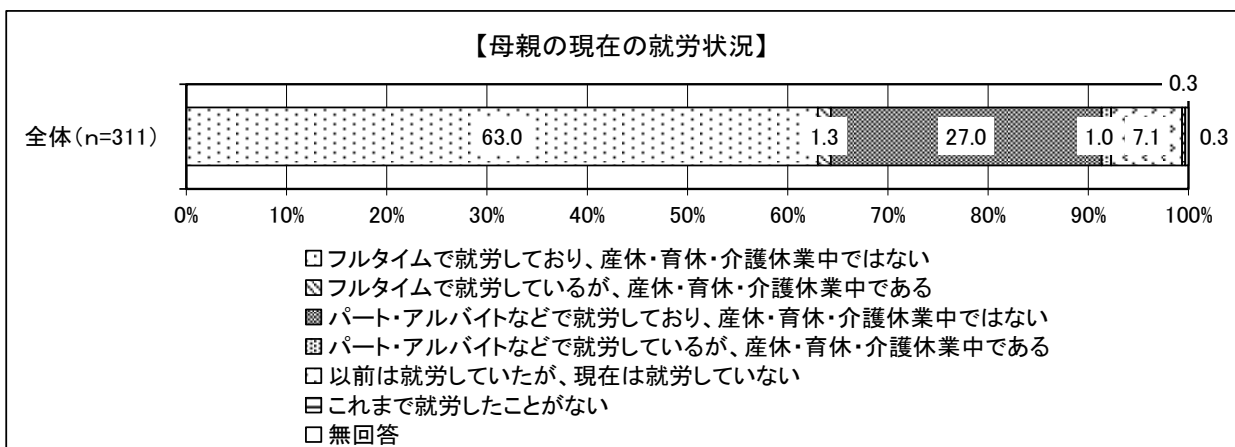


3. 保護者の就労状況について

《母親の状況について》

問7（1）. 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況をお聞きます。（☑は1つのみ）

母親の就労状況は、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が63.0%と最も高く、以下、「パート・アルバイトなどで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が27.0%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が7.1%などとなっている。

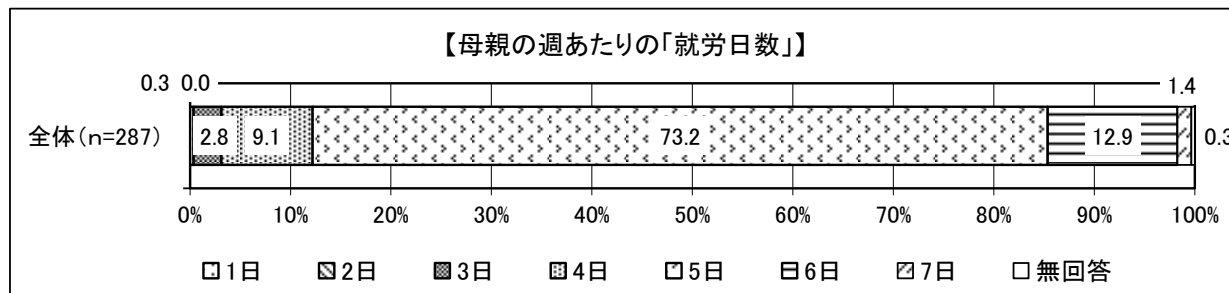


【(1)で「就労している」とお答えいただいた方にお聞きします。】

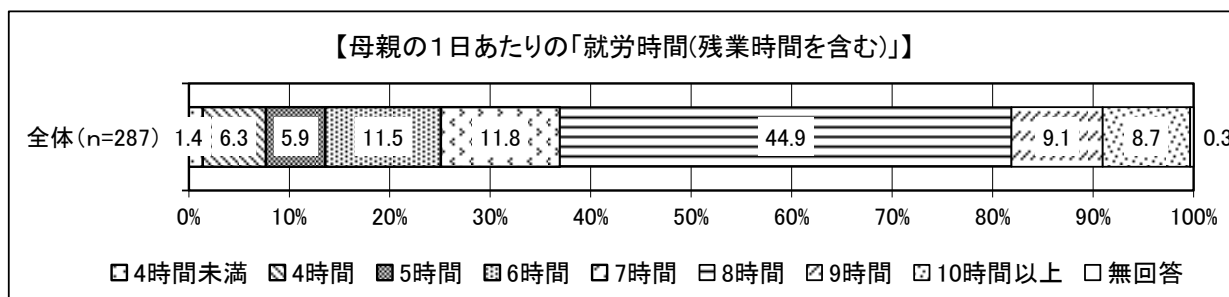
1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。

(1)-1 1週あたりの就労日数と1日あたりの就労時間（残業時間を含む）

母親の週あたりの就労日数は、「5日」が73.2%と多数を占め、以下、「6日」が12.9%、「4日」が9.1%、「3日」が2.8%となっている。

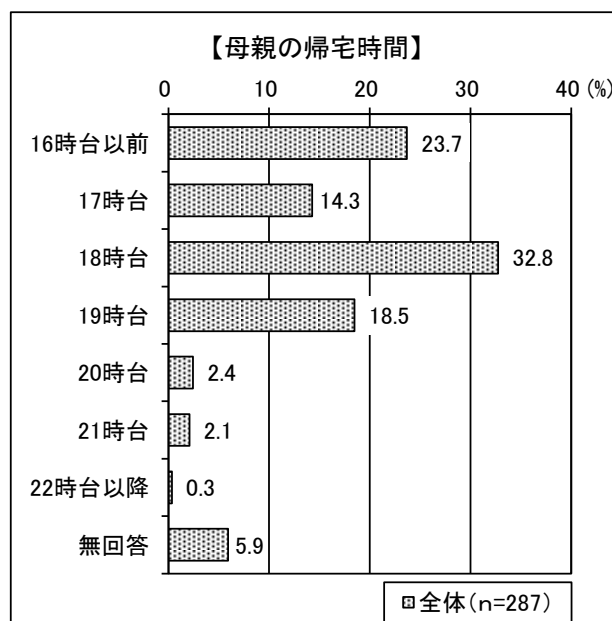
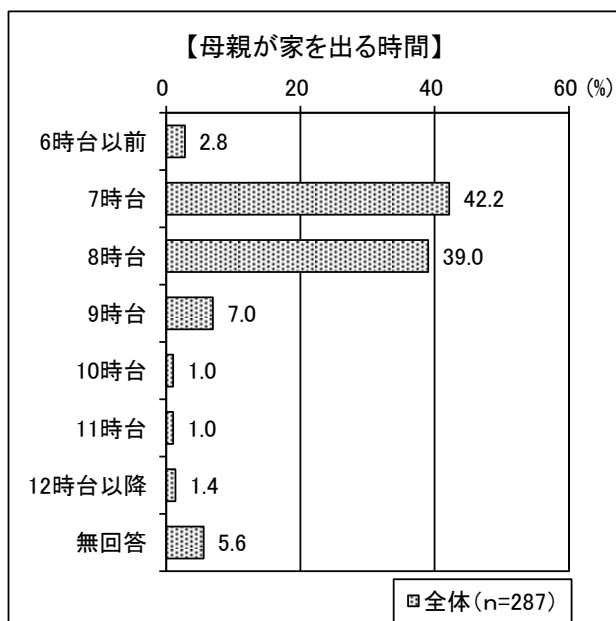


母親の1日あたりの就労時間は、「8時間」が44.9%と最も高く、以下、「7時間」が11.8%、「6時間」が11.5%、「9時間」が9.1%となっている。



(1)-2 家を出る時間と帰宅時間

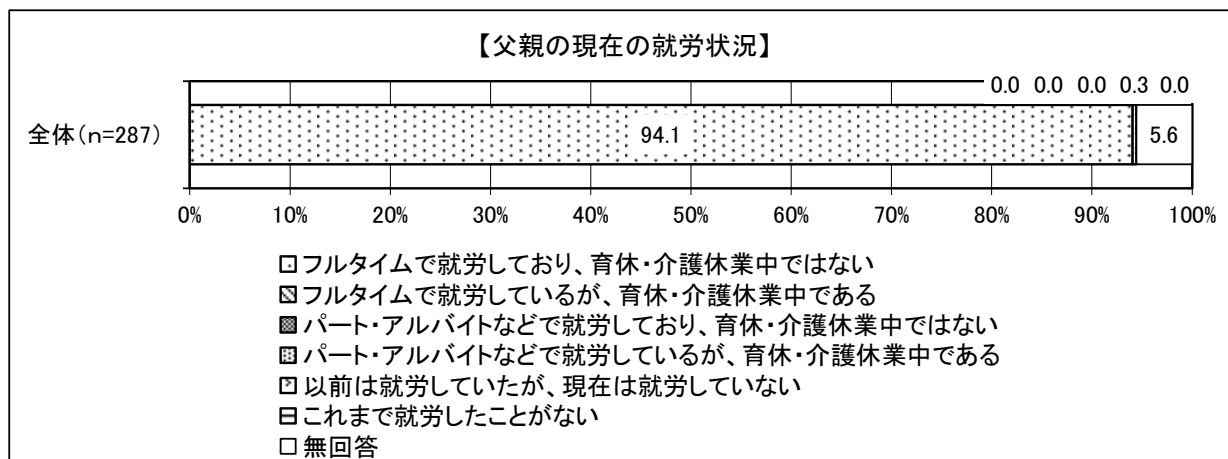
母親が家を出る時間は、「7時台」が42.2%と最も高く、「8時台」が39.0%となっている。帰宅時間は、「18時台」が32.8%と最も高く、「16時台以前」が23.7%、「19時台」が18.5%、「17時台」が14.3%などとなっている。



《父親の状況について》

問7（2）．宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況をお聞きます。（☑は1つのみ）

父親の就労状況は、「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」が94.1%と多数を占め、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が0.3%となっている。

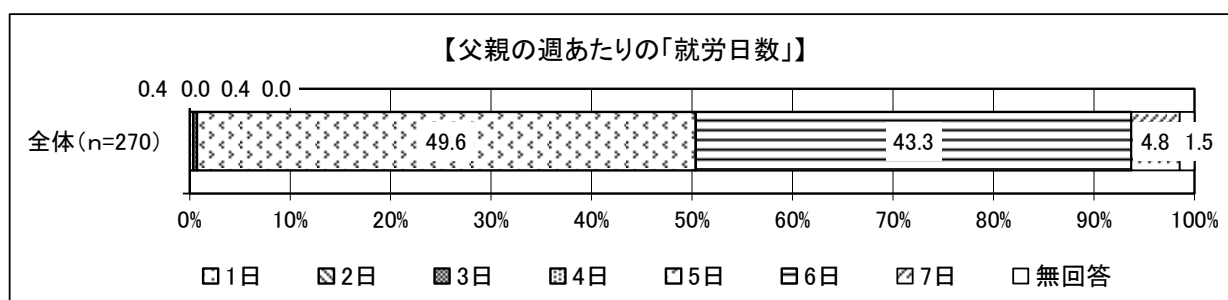


【（2）で「就労している」とお答えいただいた方にお聞きます。】

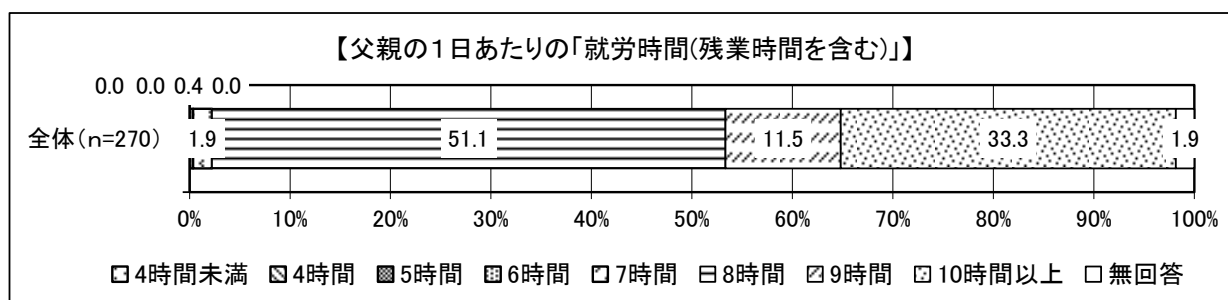
1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。

(2)-1 週あたりの就労日数と1日あたりの就労時間（残業時間を含む）

父親の週あたりの就労日数は、「5日」が49.6%と最も高く、以下、「6日」が43.3%、「7日」が4.8%となっている。

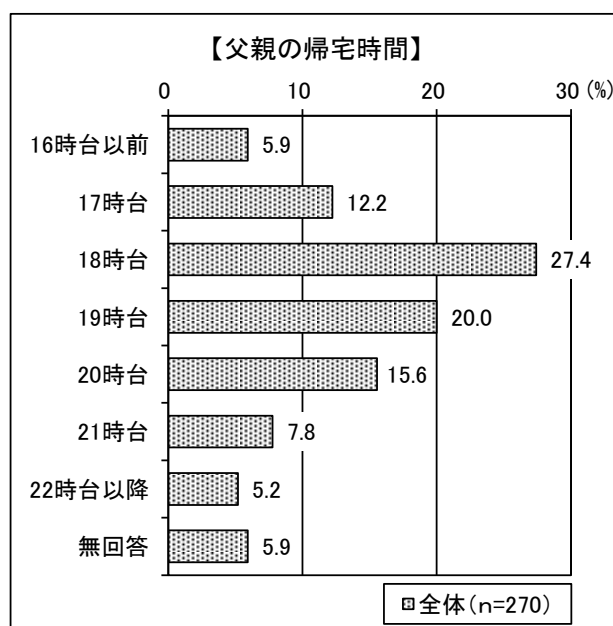
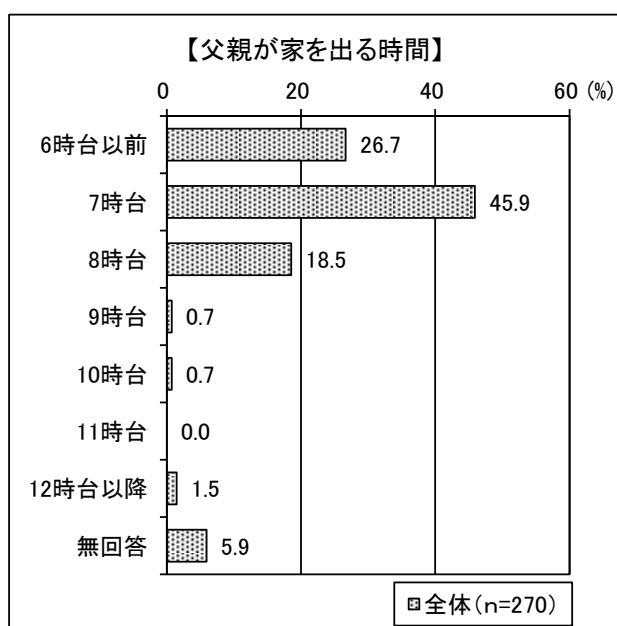


父親の1日あたりの就労時間は、「8時間」が51.1%と最も高く、以下、「10時間以上」が33.3%、「9時間」が11.5%となっている。



(2)-2 家を出る時間と帰宅時間

父親が家を出る時間は、「7時台」が45.9%と最も高く、以下、「6時台以前」が26.7%、「8時台」が18.5%と続いている。帰宅時間は、「18時台」が27.4%と最も高く、以下、「19時台」が20.0%、「20時台」が15.6%、「17時台」が12.2%などとなっている。

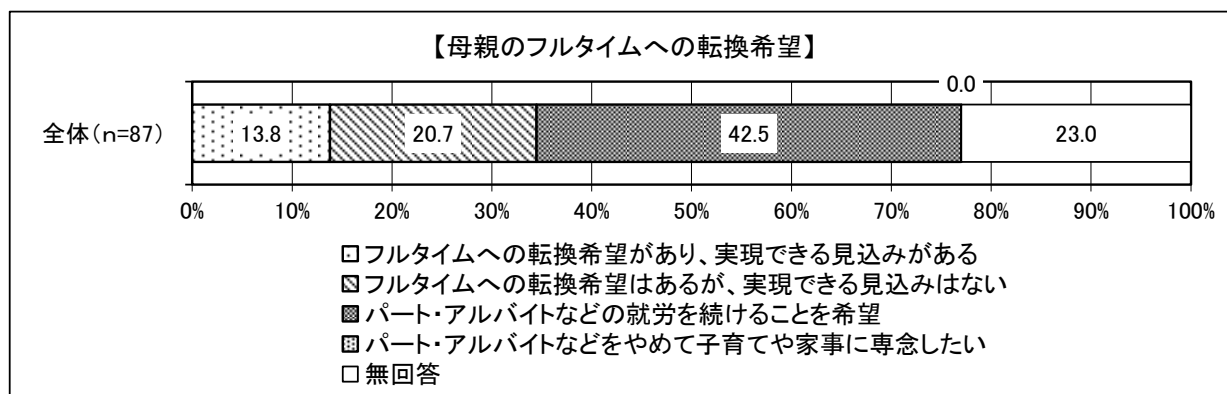


【問7の（1）または（2）で「パート・アルバイトなどで就労している」とお答えいただいた方にお聞きします。】

問8. フルタイムへの転換希望はありますか。（それぞれ☑は1つのみ）

◇母親

フルタイムへの転換希望については、「パート・アルバイトなどの就労を続けることを希望」が42.5%となっている。また、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」(20.7%)と「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」(13.8%)を合わせた3割は『転換希望』がある。



◇父親

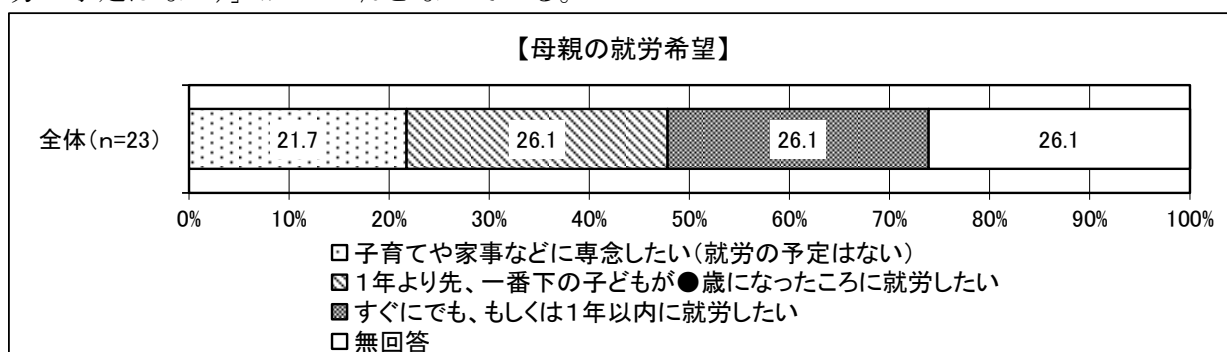
該当者はなし。

【問7の（1）または（2）で「就労していない」「就労したことがない」とお答えいただいた方にお聞きします。】

問9. 就労したいという希望はありますか。（☑は1つのみ）

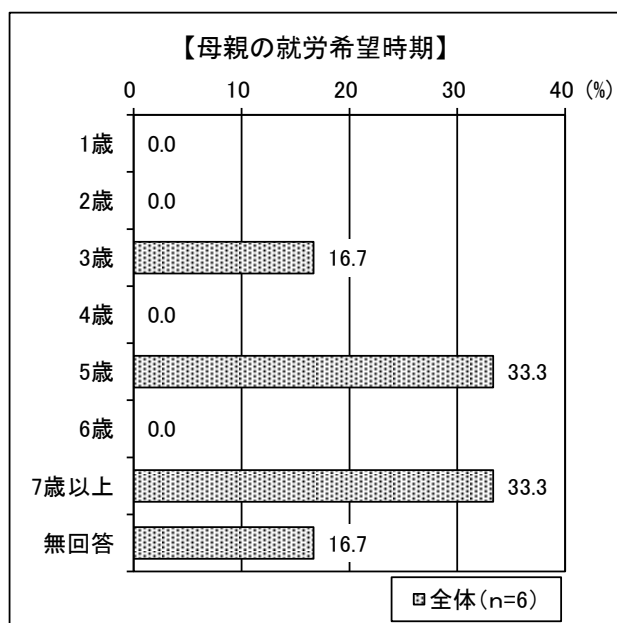
◇母親

就労希望については、「1年より先、一番下の子どもが●歳になったところに就労したい」及び「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」がともに26.1%、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が21.7%となっている。



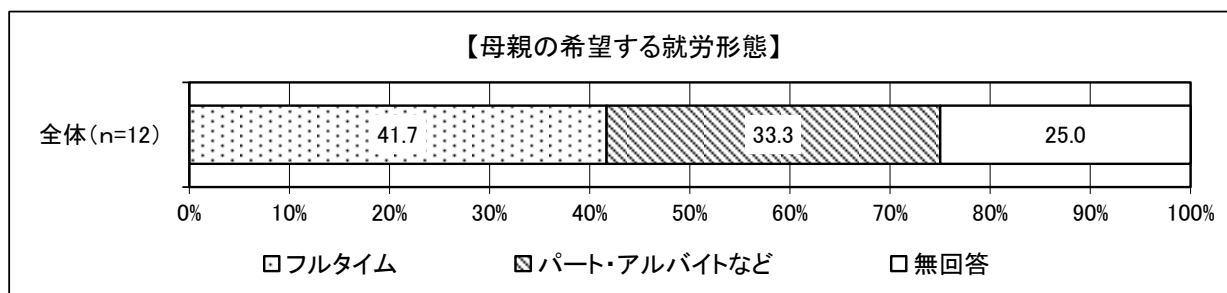
【「1年より先、一番下の子どもが●歳になったところに就労したい」の回答の子どもの年齢】

就労希望時期については、「5歳」及び「7歳以上」がともに33.3%、「3歳」が16.7%となっている。



【「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の希望勤務形態】

希望する就労形態は、「フルタイム」が41.7%、「パート・アルバイトなど」が33.3%となっている。



パート・アルバイトなどで就労を希望する人は4人で、希望の日数は「5日」、就労時間は「4時間」及び「6時間」が各1人、「8時間」が2人となっている。

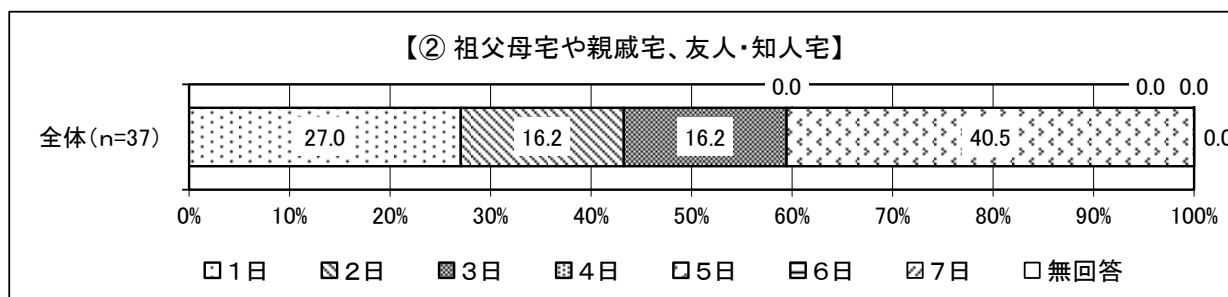
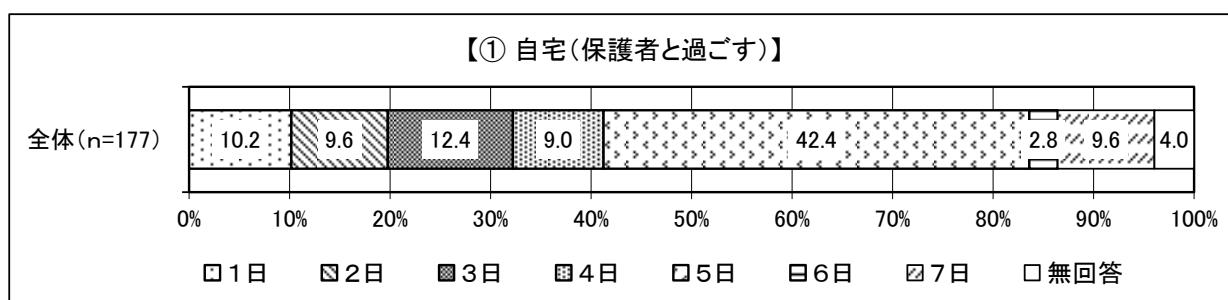
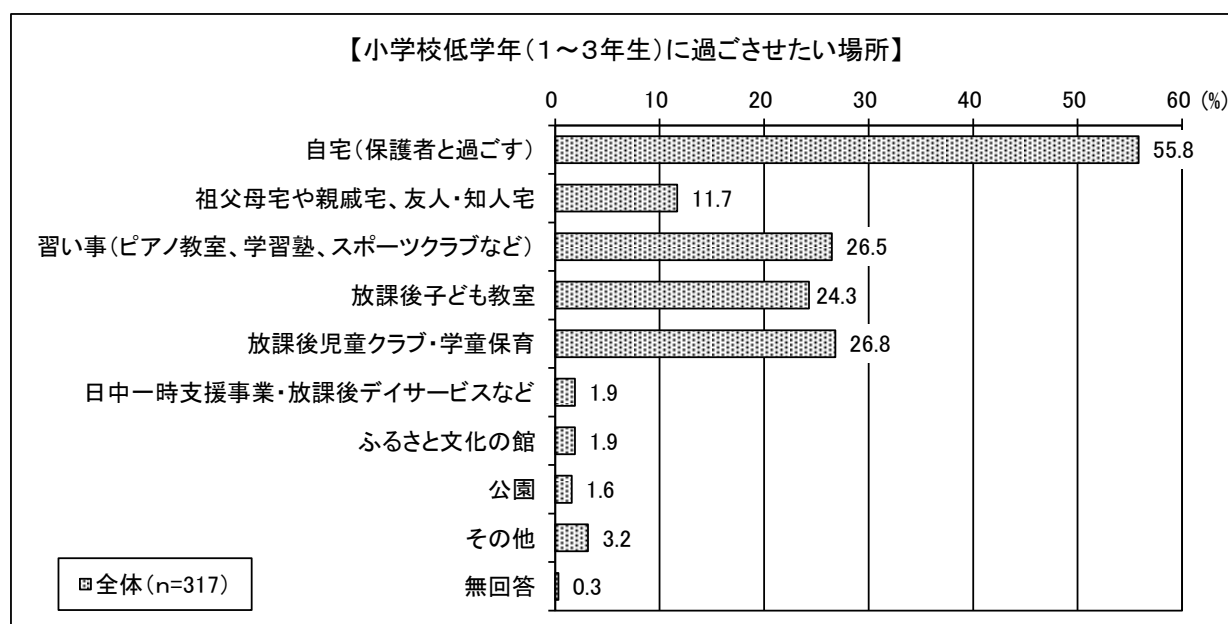
◇父親

該当者は1人で、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」となっている。

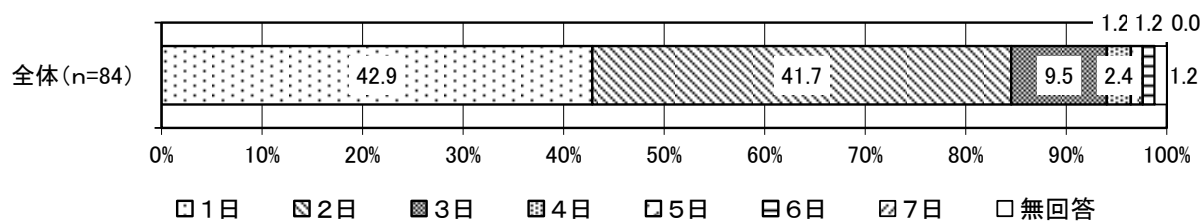
4. 放課後の過ごし方について

問 10. 宛名のお子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間はどのような場所過ごしていますか。「放課後児童クラブ・学童保育」の場合には、利用を希望する時間もご記入ください。（☑はいくつでも）

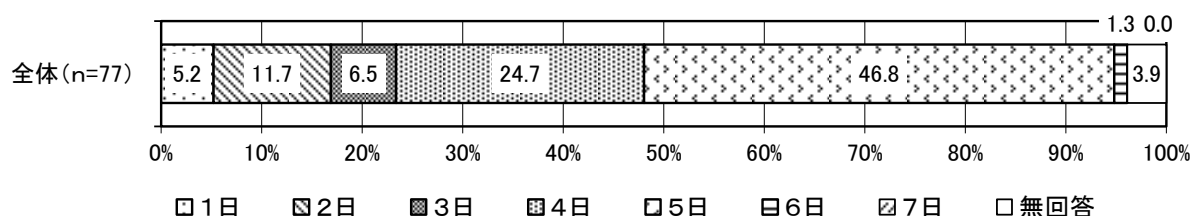
放課後に過ごしている場所は、「自宅（保護者と過ごす）」が 55.8%と最も高く、以下、「放課後児童クラブ・学童保育」(26.8%)、「習い事（ピアノ教室、学習塾、スポーツクラブなど）」(26.5%)、「放課後子ども教室」(24.3%) となっている。



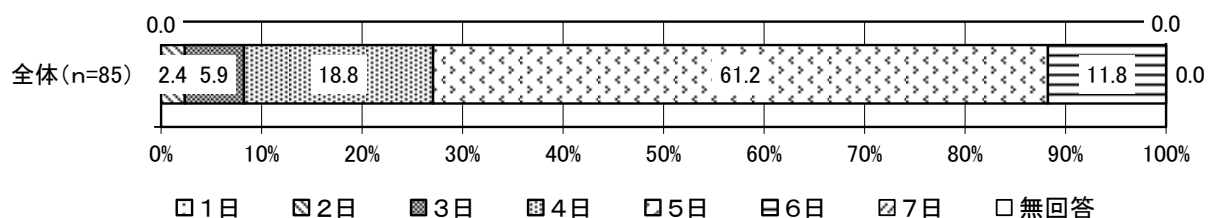
【③ 習い事(ピアノ教室、学習塾、スポーツクラブなど)】



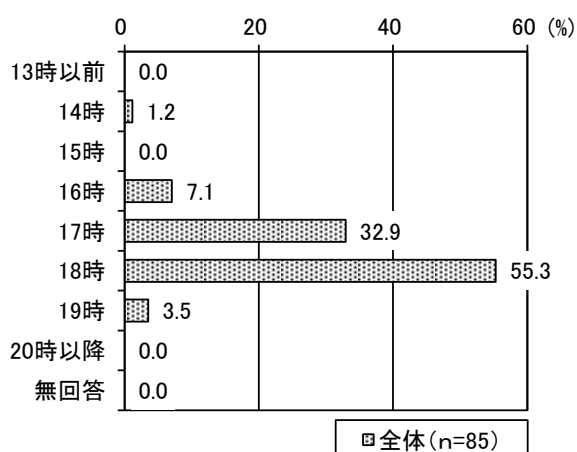
【④ 放課後子ども教室】



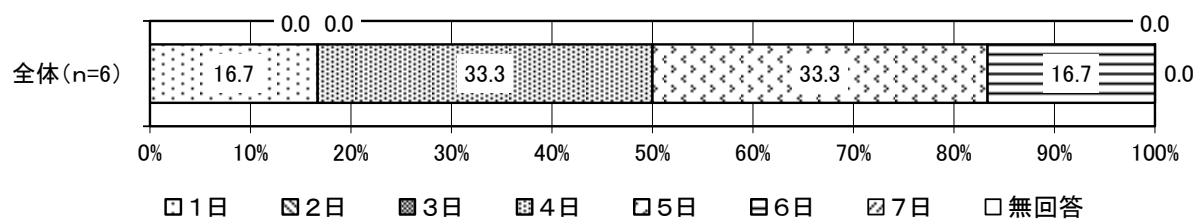
【⑤ 放課後児童クラブ・学童保育】

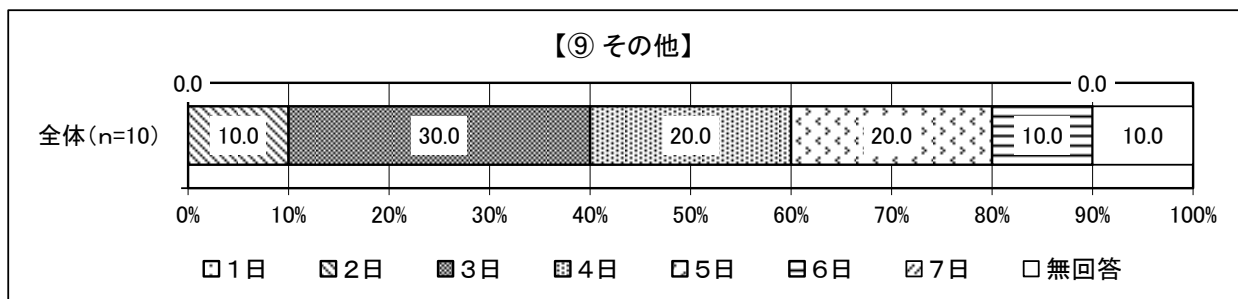
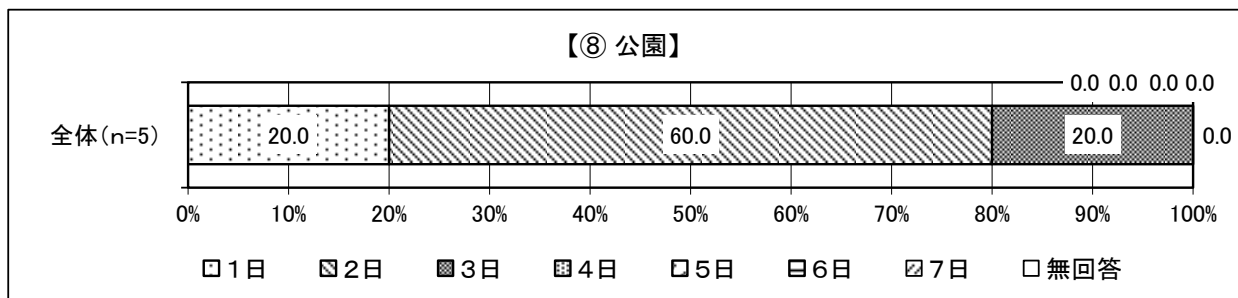
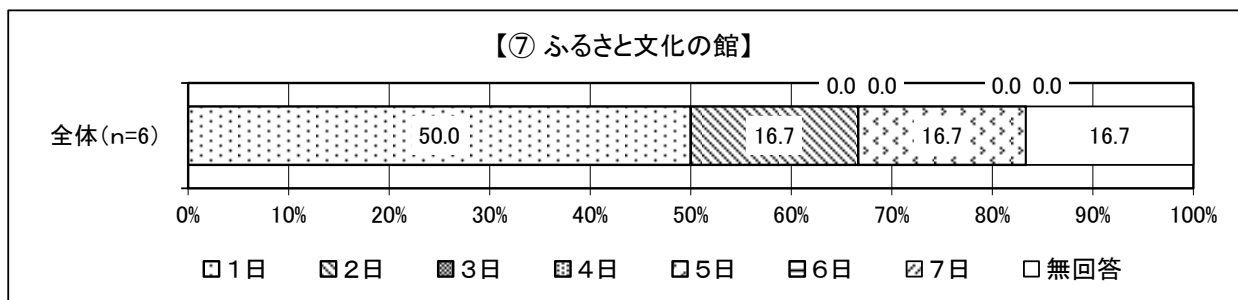


【利用したい時間帯:終了時間】



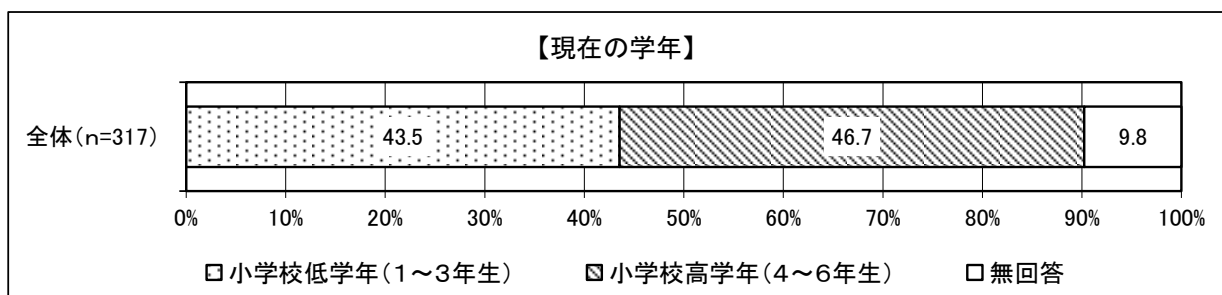
【⑥ 日中一時支援事業・放課後デイサービスなど】





問 11. 宛名のお子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。現在の学年に☑し、次の問いにお答えください。

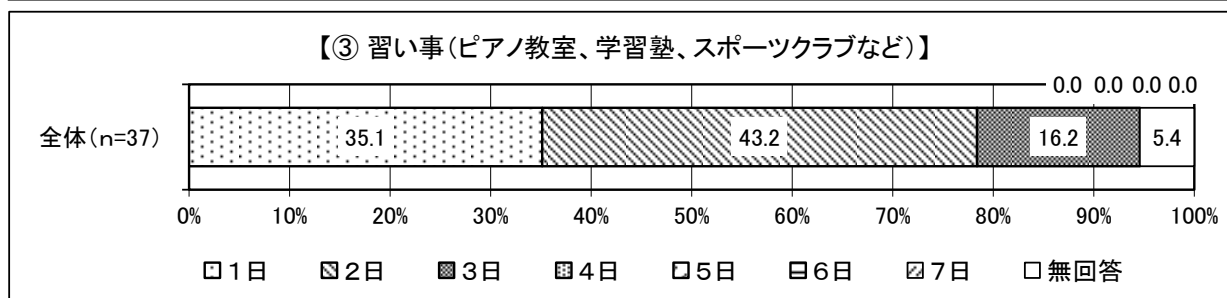
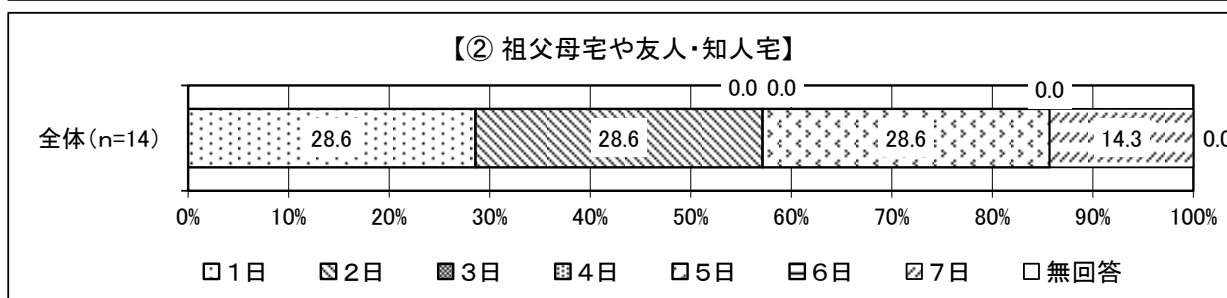
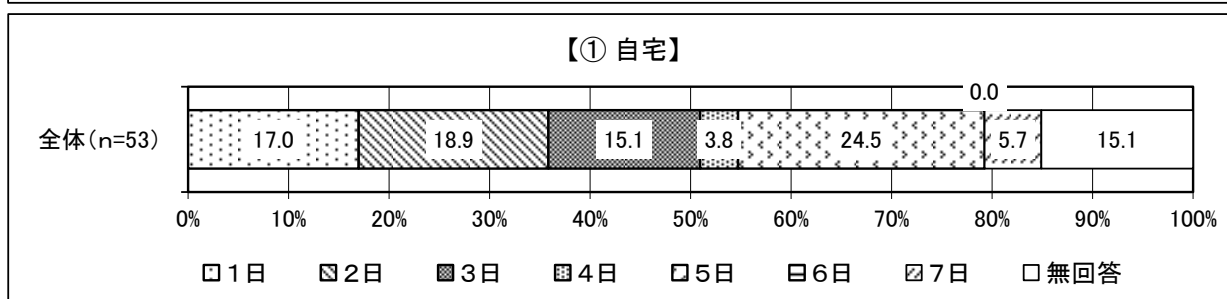
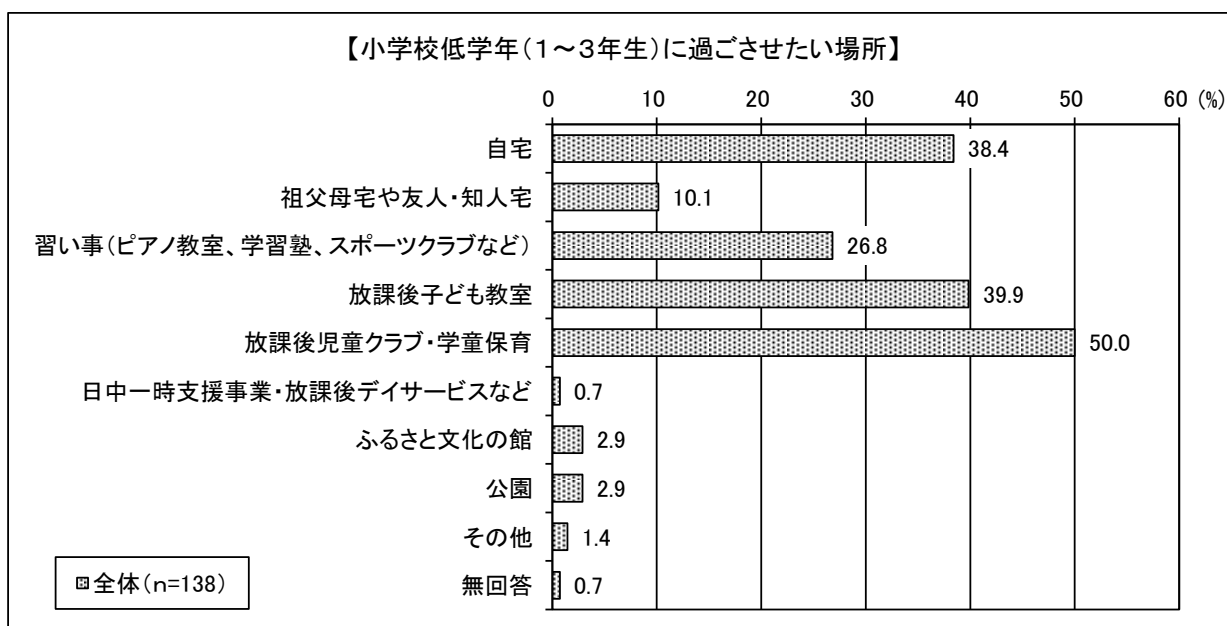
現在の学年は、「小学校高学年（４～６年生）」が 46.7%、「小学校低学年（１～３年生）」が 43.5% となっている。

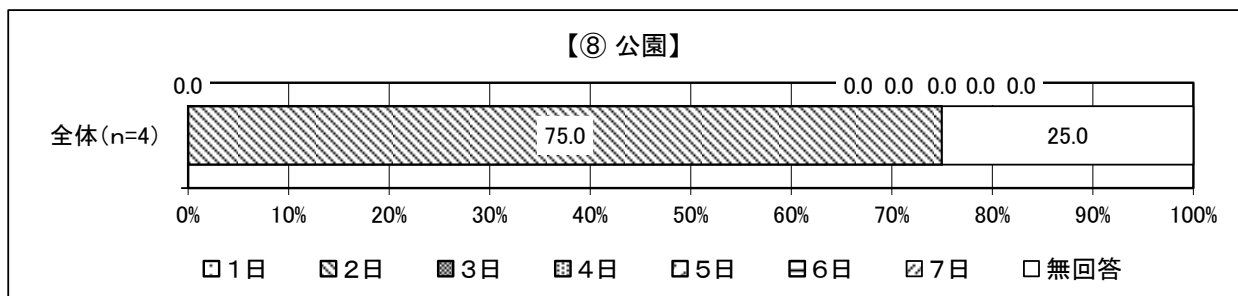
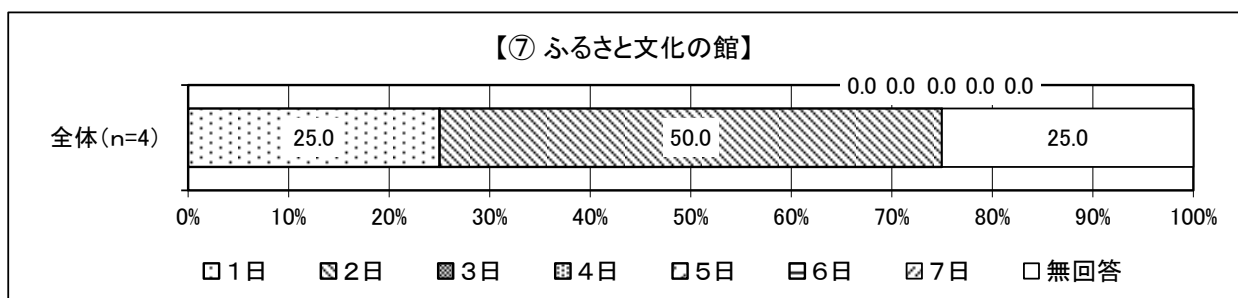
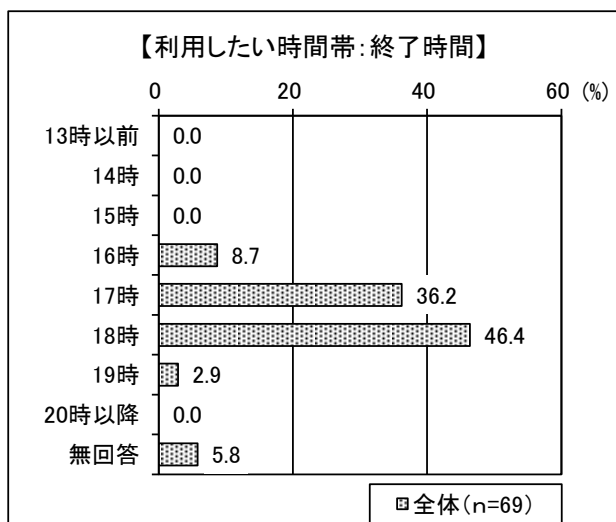
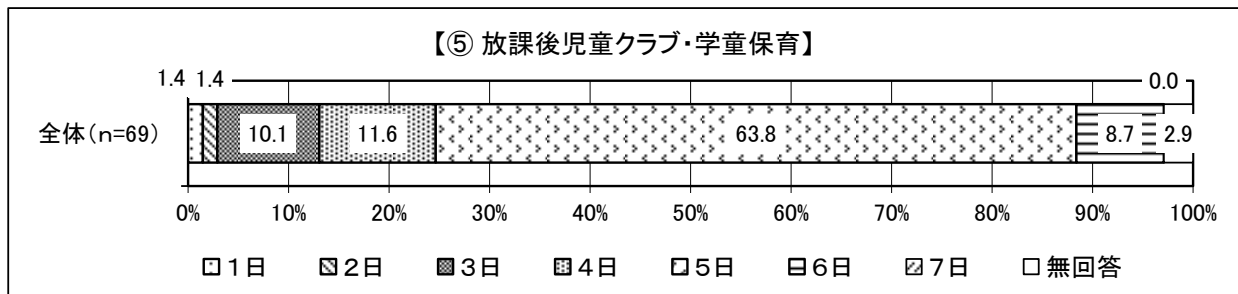
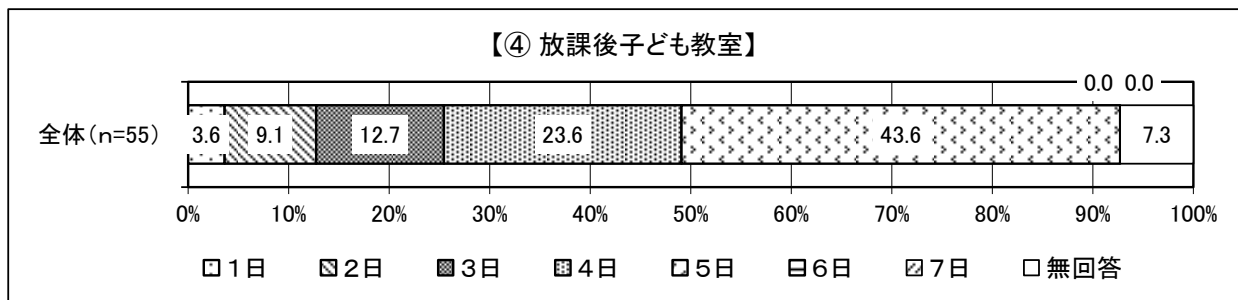


【問 11 で「小学校低学年（１～３年生）」とお答えいただいた方にお聞きます。】

問 11-1. 小学校低学年（１～３年生）の時、過ごさせたいと思う場所をお答えください。（☑はいくつでも）

放課後（低学年（１～３年生））に過ごさせたい場所は、「放課後児童クラブ・学童保育」が 50.0%と最も高く、以下、「放課後子ども教室」（39.9%）、「自宅」（38.4%）、「習い事（ピアノ教室、学習塾、スポーツクラブなど）」（26.8%）となっている。



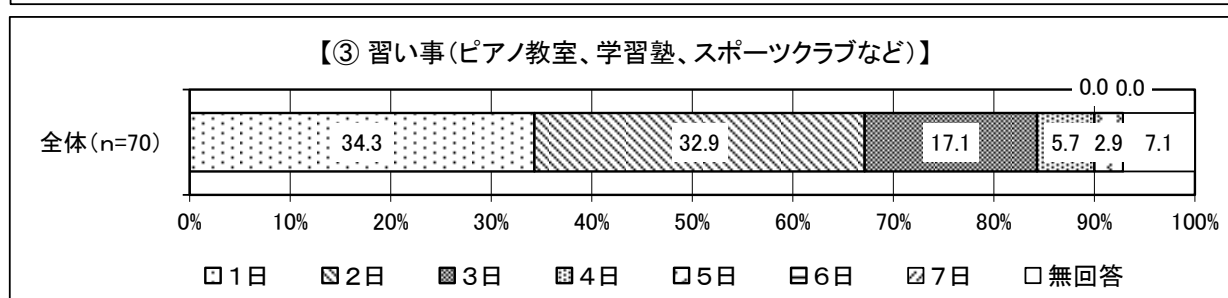
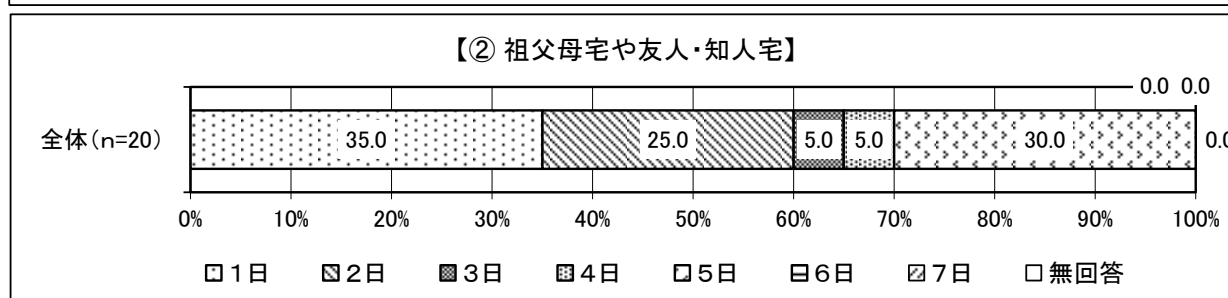
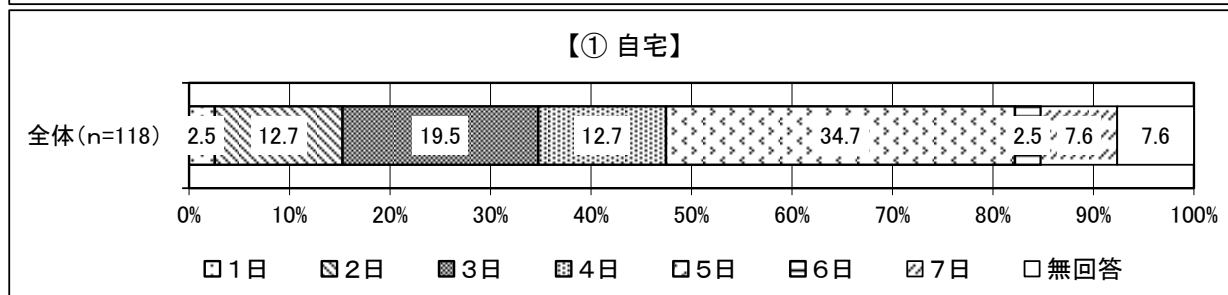
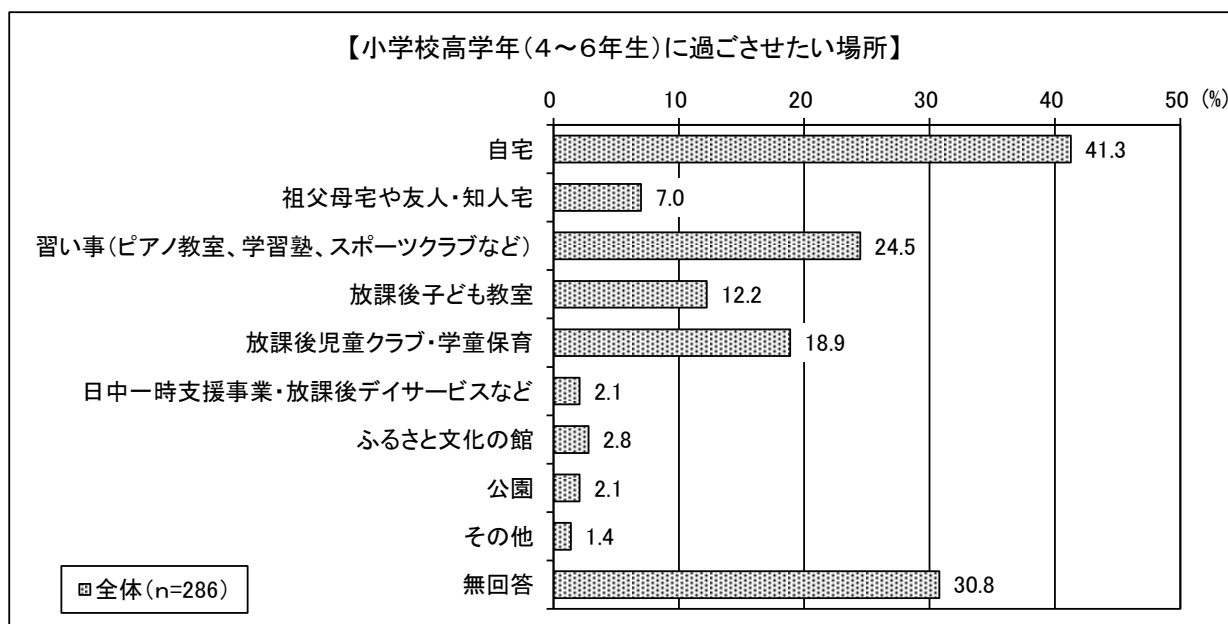


※⑥及び⑨は少人数のためグラフは省略（「⑥日中一時支援事業・放課後デイサービスなど」は1人で5日、「⑨その他」は2人で4日及び6日）。

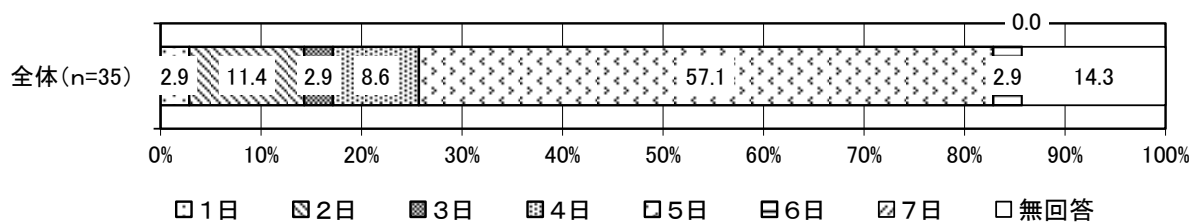
【問 11 で「小学校低学年（１～３年生）」及び「小学校高学年（４～６年生）」とお答え
 いただいた方にお聞きます。】

問 11-2. 小学校高学年（４～６年生）の時、過ごさせたいと思う場所をお答えください。（☑
 はいくつでも）

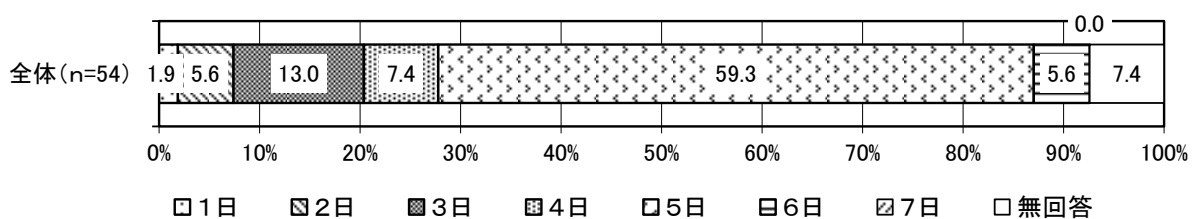
放課後（小学校高学年（４～６年生））に過ごさせたい場所は、「自宅」が 41.3%と最も高く、以
 下、「習い事（ピアノ教室、学習塾、スポーツクラブなど）」（24.5%）、「放課後児童クラブ・学童保
 育」（18.9%）、「放課後子ども教室」（12.2%）となっている。



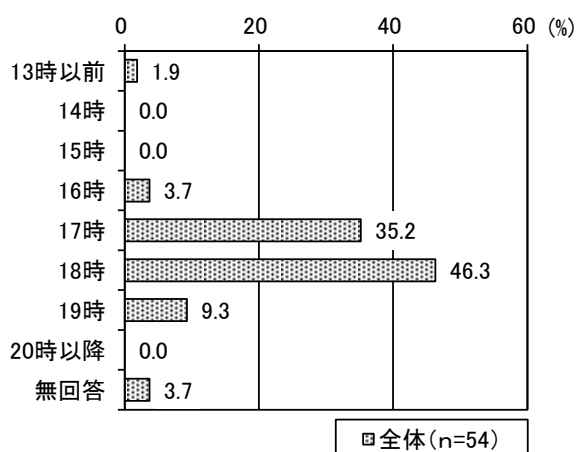
【④ 放課後子ども教室】



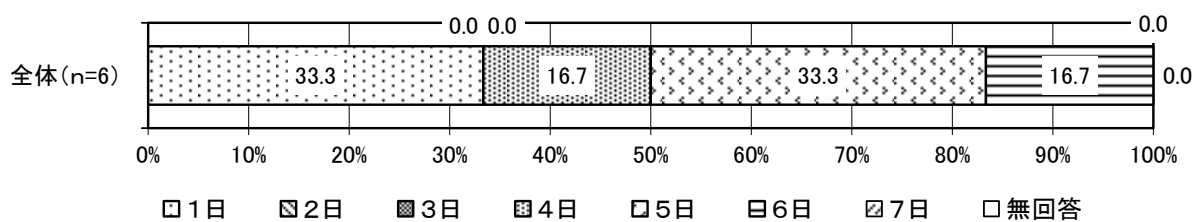
【⑤ 放課後児童クラブ・学童保育】



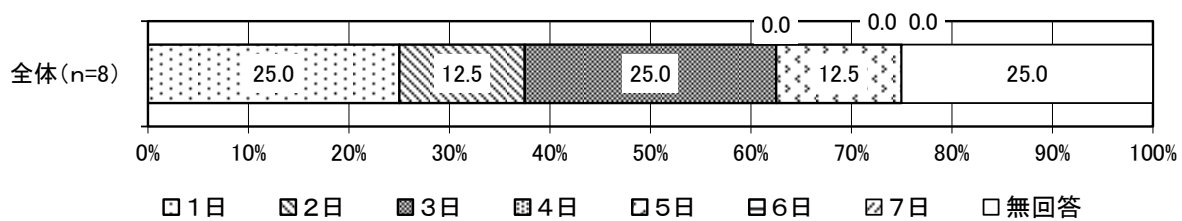
【利用したい時間帯: 終了時間】

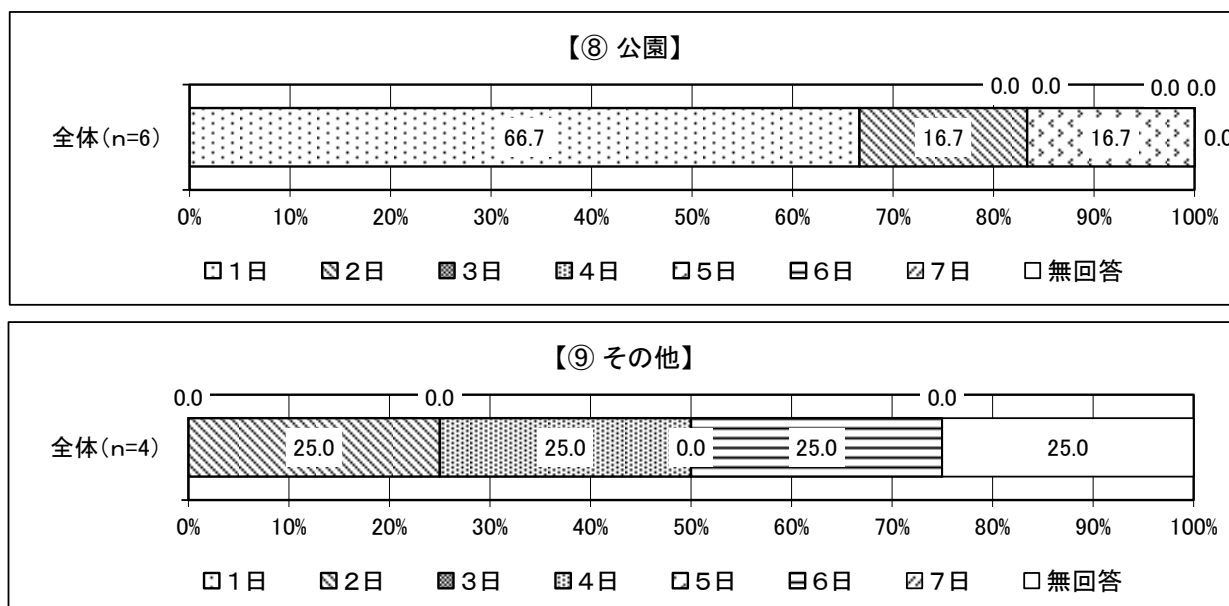


【⑥ 日中一時支援事業・放課後デイサービスなど】



【⑦ ふるさと文化の館】



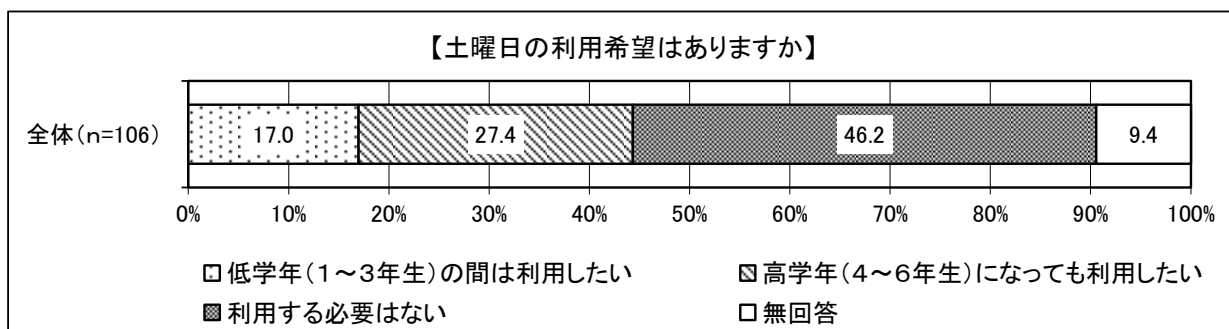


【問 11-1 または問 11-2 で「⑤ 放課後児童クラブ・学童保育」とお答えいただいた方にお聞きします。】

問 12. 宛名のお子さんについて、土曜日、日曜日・祝日、長期休暇時に、放課後児童クラブ・学童保育の利用希望はありますか。（☑は1つのみ）

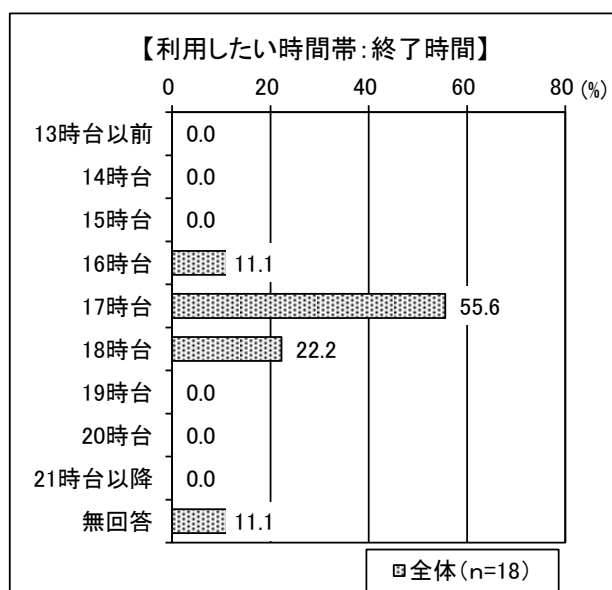
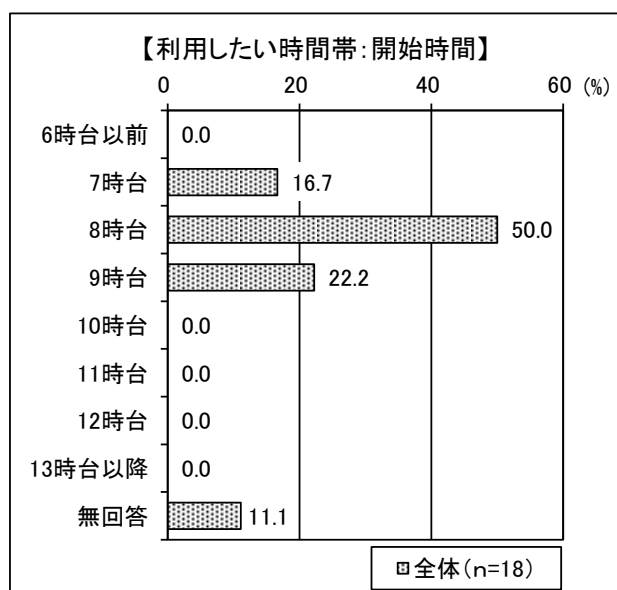
（１）土曜日

土曜日の放課後児童クラブの利用希望は、「利用する必要はない」が 46.2%と最も高く、以下、「高学年（４～６年生）になっても利用したい」が 27.4%、「低学年（１～３年生）の間は利用したい」が 17.0%となっている。



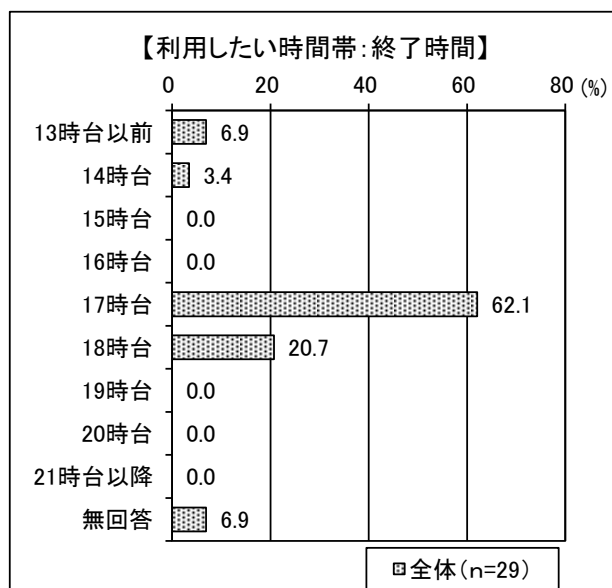
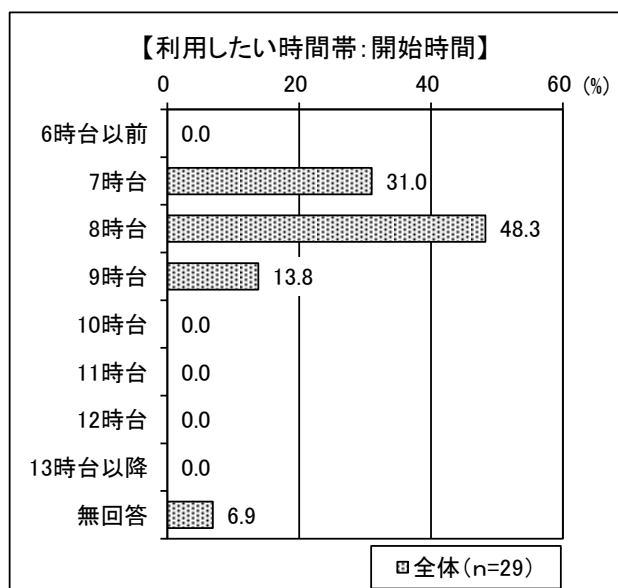
【低学年（１～３年生）】

希望の利用開始時間は、「８時台」が50.0%、「９時台」が22.2%、「７時台」が16.7%であり、利用終了時間は、「17時台」が55.6%、「18時台」が22.2%、「16時台」が11.1%となっている。



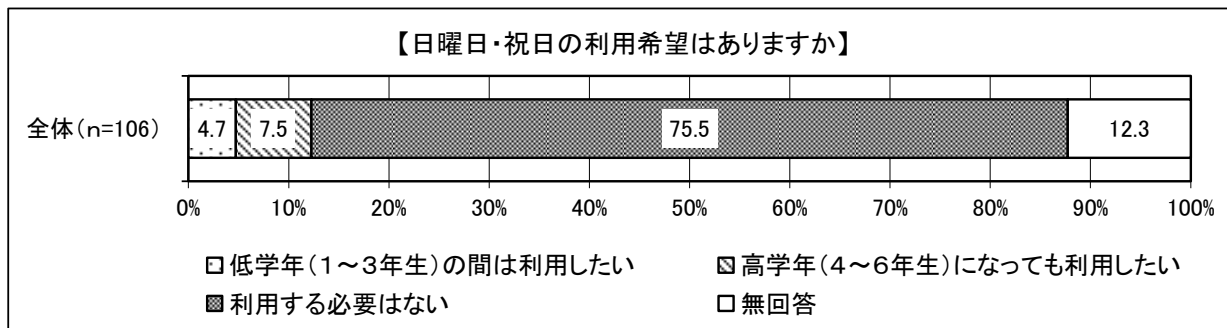
【高学年（４～６年生）】

希望の利用開始時間は、「８時台」が48.3%、「７時台」が31.0%であり、利用終了時間は、「17時台」が62.1%、「18時台」が20.7%となっている。



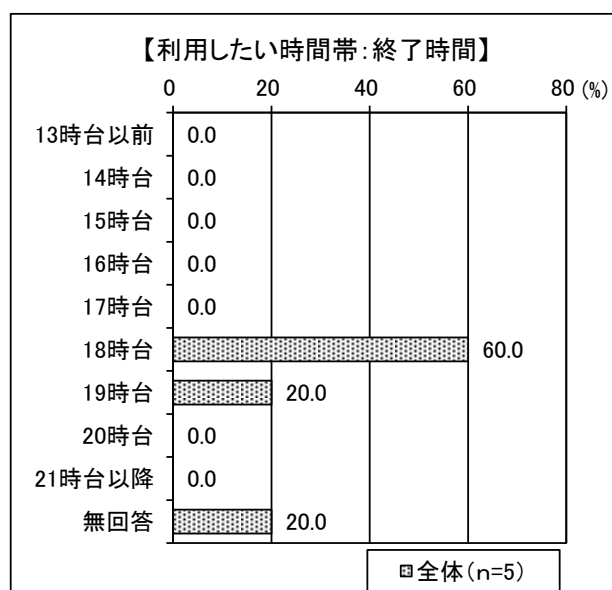
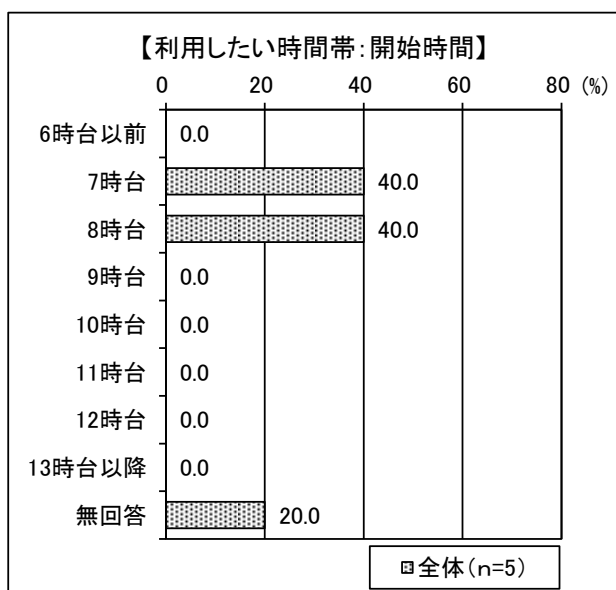
（２）日曜日・祝日

日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用希望は、「利用する必要はない」が75.5%と多数を占め、以下、「高学年（４～６年生）になっても利用したい」が7.5%、「低学年（１～３年生）の間は利用したい」が4.7%となっている。



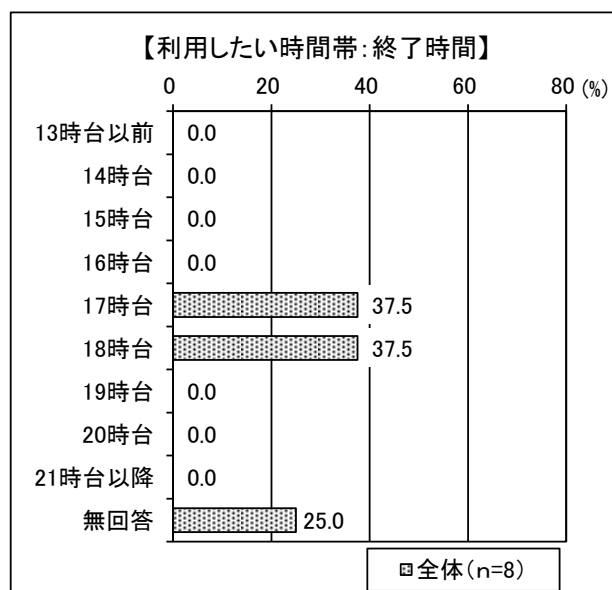
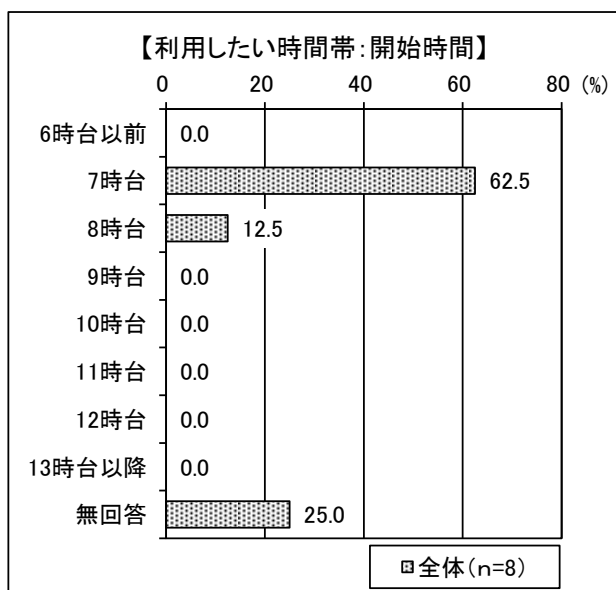
【低学年（１～３年生）】

希望の利用開始時間は、「７時台」及び「８時台」がともに40.0%であり、利用終了時間は、「18時台」が60.0%、「19時台」が20.0%となっている。



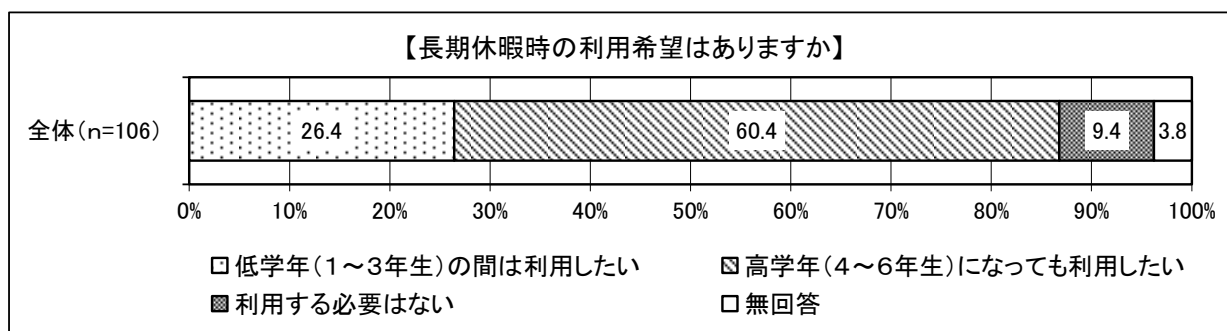
【高学年（４～６年生）】

希望の利用開始時間は、「７時台」が 62.5%、「８時台」が 12.5%であり、利用終了時間は、「17 時台」及び「18 時台」がともに 37.5%となっている。



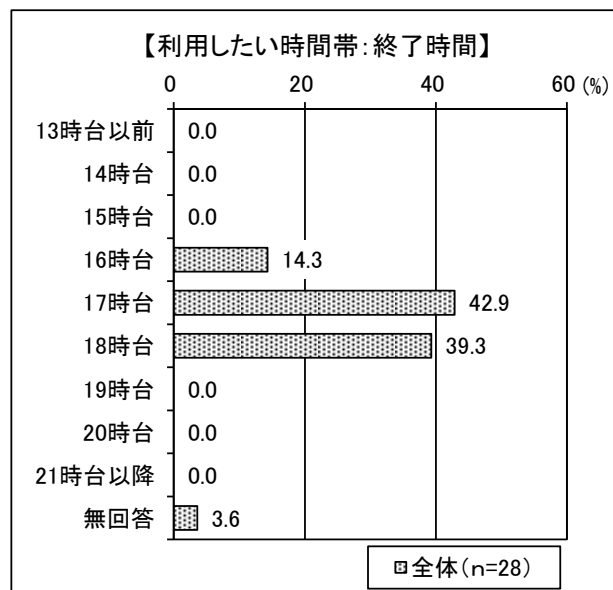
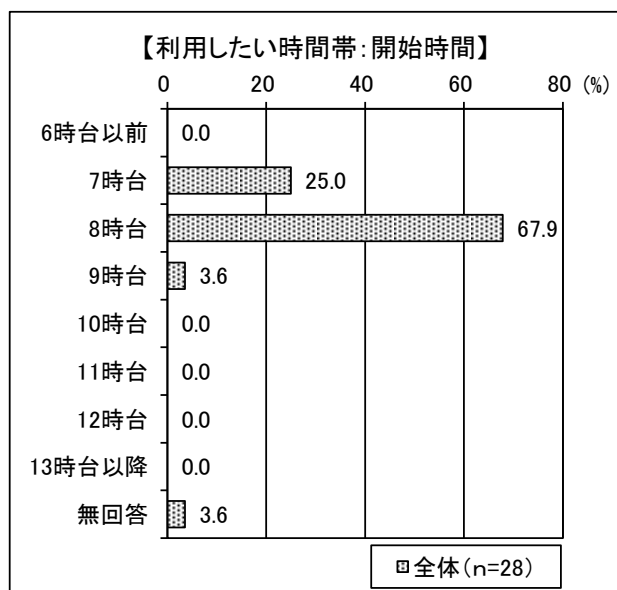
(３) 長期休暇

長期休暇の放課後児童クラブの利用希望は、「高学年（４～６年生）になっても利用したい」が 60.4%と多数を占め、「低学年（１～３年生）の間は利用したい」が 26.4%、「利用する必要はない」が 9.4%となっている。



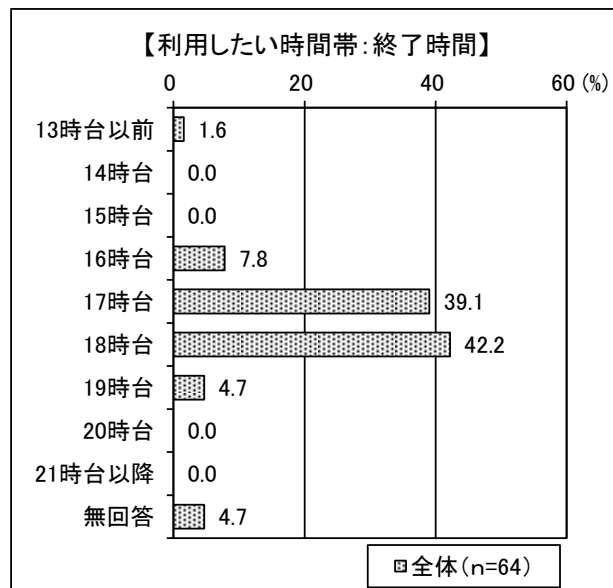
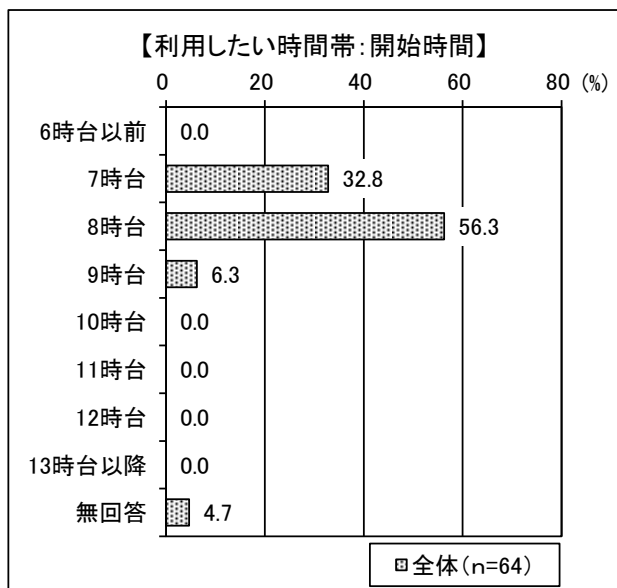
【低学年（１～３年生）】

希望の利用開始時間は、「８時台」が 67.9%、「７時台」が 25.0%であり、利用終了時間は、「17時台」が 42.9%、「18時台」が 39.3%、「16時台」が 14.3%となっている。



【高学年（４～６年生）】

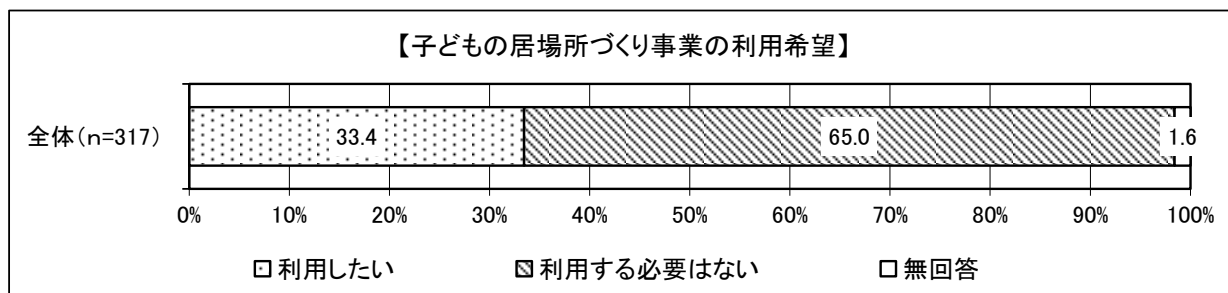
希望の利用開始時間は、「８時台」が 56.3%、「７時台」が 32.8%であり、利用終了時間は、「18時台」が 42.2%、「17時台」が 39.1%となっている。



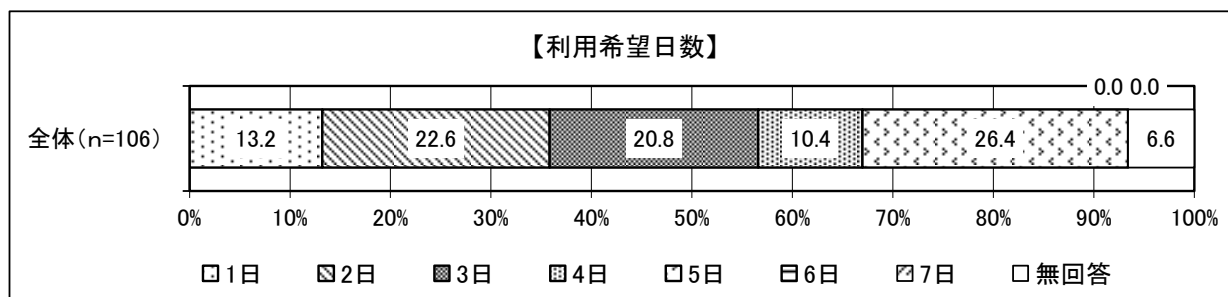
5. 子どもの居場所づくり事業について

問 13. 町では「子どもの居場所づくり事業（※第三の居場所づくり）」を進めており、学習支援や希望者への夕食提供を検討していますが、新たな施設（児童館）で実施する場合に利用希望はありますか。（☑は1つのみ）

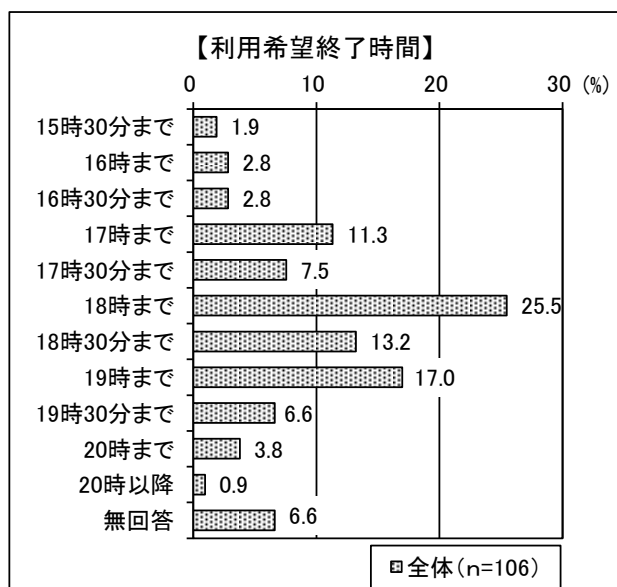
新たな施設（児童館）で実施する場合の利用希望については、「利用する必要はない」が 65.0%と多数を占め、「利用したい」は 33.4%となっている。



週あたりの利用希望の日数は、「5日」が 26.4%と最も高く、以下、「2日」が 22.6%、「3日」が 20.8%、「1日」が 13.2%、「4日」が 10.4%となっている。



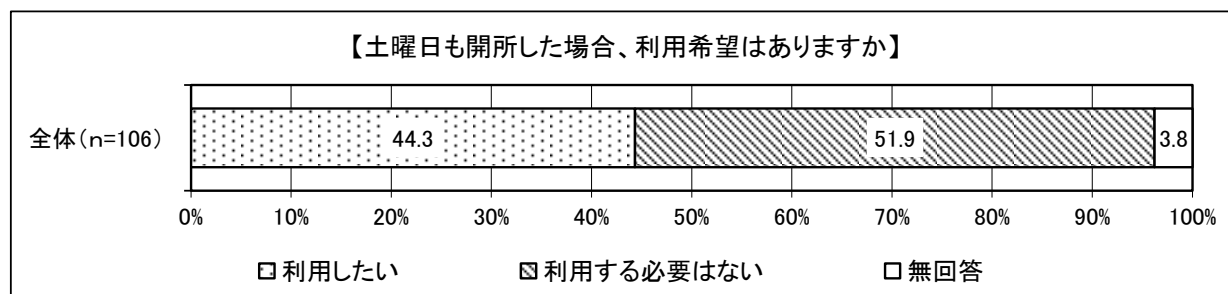
利用希望の終了時間は、「18時まで」が 25.5%、「19時まで」が 17.0%、「18時30分まで」が 13.2%、「17時まで」が 11.3%となっている。



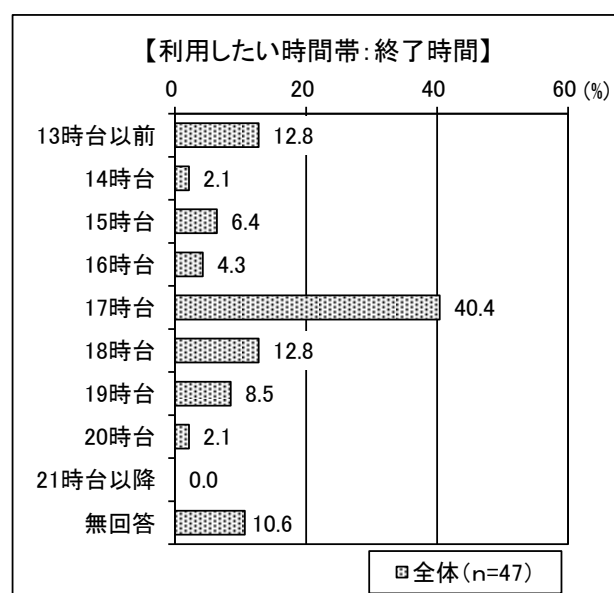
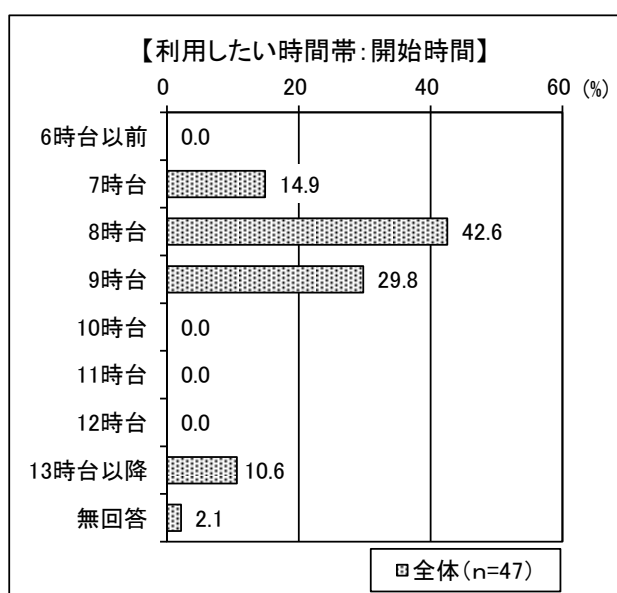
【問 13 で「利用したい」とお答えいただいた方にお聞きします。】

問 14. 土曜日も開所した場合、利用希望はありますか。（☑は 1 つのみ）

土曜日の利用希望については、「利用する必要はない」が 51.9%、「利用したい」が 44.3%となっている。



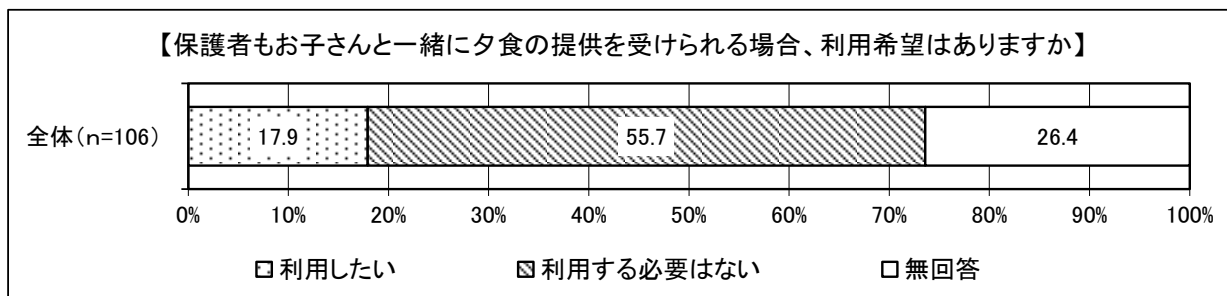
希望の利用開始時間は、「8 時台」が 42.6%、「9 時台」が 29.8%であり、利用終了時間は、「17 時台」が 40.4%、「13 時台以前」及び「18 時台」がともに 12.8%となっている。



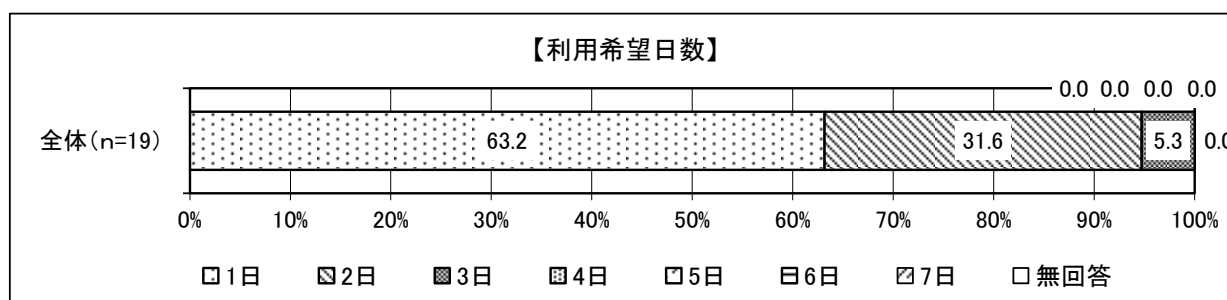
【問 13 で「利用したい」とお答えいただいた方にお聞きします。】

問 15. 保護者もお子さんと一緒に夕食の提供を受けられる場合、利用希望はありますか。
(☑は1つのみ)

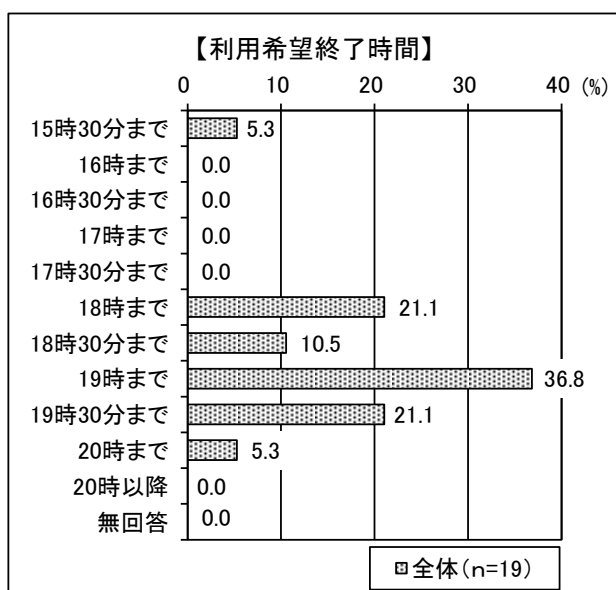
保護者も一緒に利用したいかについては、「利用する必要はない」が 55.7%と過半数を占め、「利用したい」は 17.9%となっている。



週あたりの利用希望の日数は、「1日」が 63.2%と最も高く、以下、「2日」が 31.6%、「3日」が 5.3%となっている。



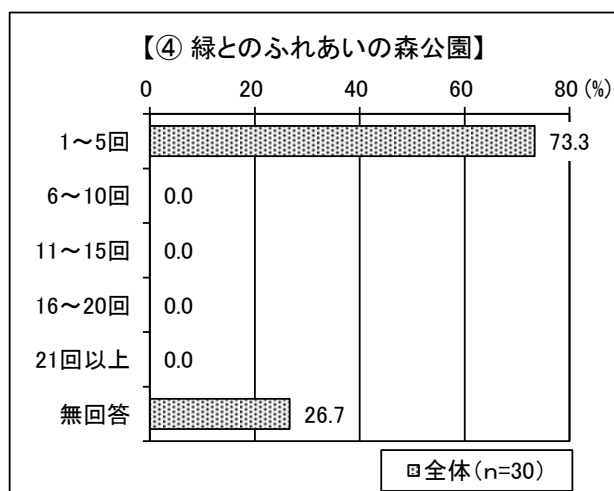
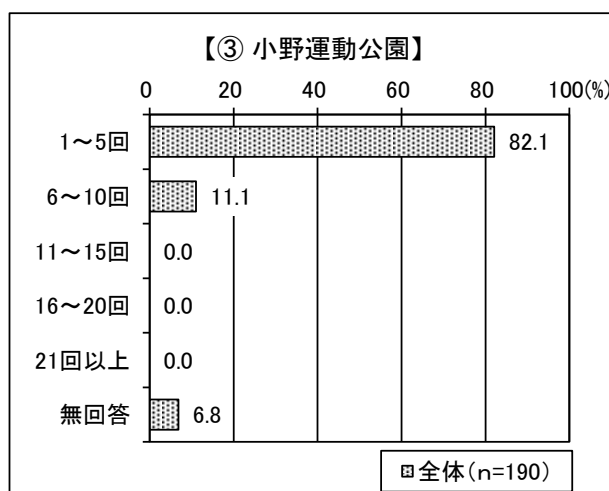
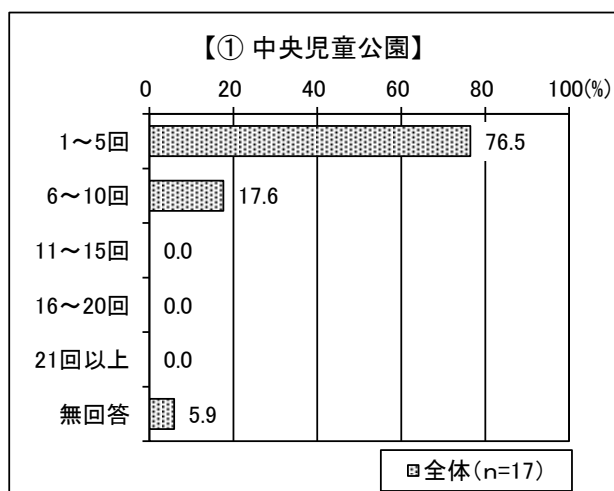
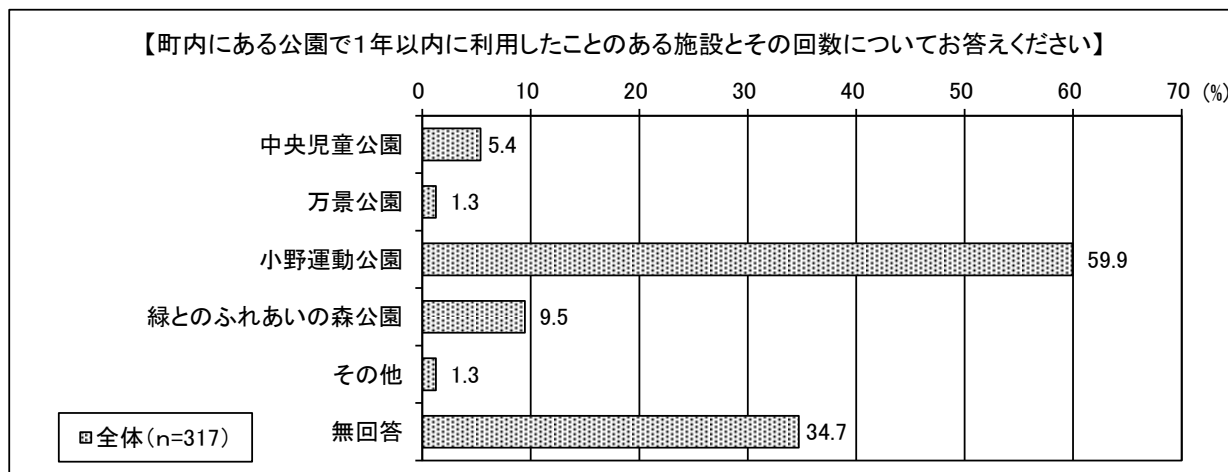
利用希望の終了時間は、「19時まで」が 36.8%、「18時まで」及び「19時30分まで」がともに 21.1%、「18時30分まで」が 10.5%となっている。



6. 小野町の子育て環境や子育て支援施策全般について

問 16. 町内にある公園で1年以内に利用したことがある施設とその回数についてお答えください。（☑はいくつでも）

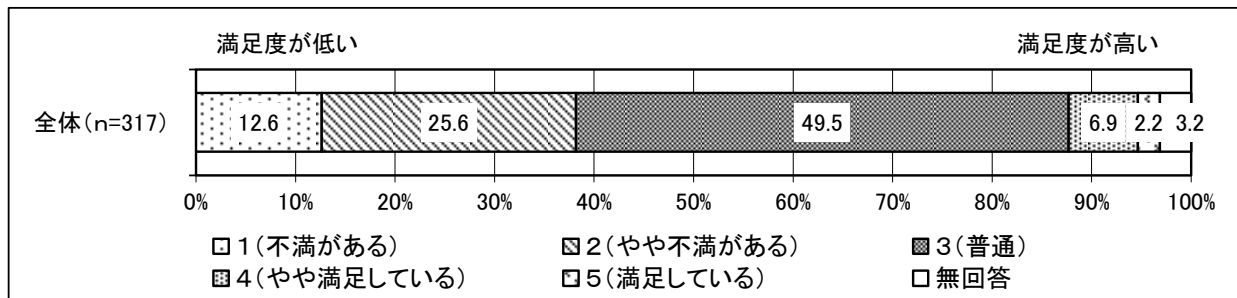
町内にある公園で1年以内に利用したことがある施設は、「小野運動公園」が59.9%と最も高く、以下、「緑とのふれあいの森公園」(9.5%)、「中央児童公園」(5.4%)、「万景公園」(1.3%)となっている。



※②及び⑤のグラフは少人数のため省略：(「②万景公園」は4人で1～5回、「⑤その他」は4人で1～5回が1人、無回答が3人)。

問 17. お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度についてお答えください。
(☑は1つのみ)

本町における子育ての環境や支援への満足度は、「3 (普通)」が 49.5%と最も高く、以下、「2 (やや不満がある)」が 25.6%、「1 (不満がある)」が 12.6%、「4 (やや満足している)」が 6.9%、「5 (満足している)」が 2.2%となっている。



問 18. 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援について、97 人から 120 件の意見等が寄せられており、「子どもの遊び場・運動ができる場」(29 件)や「行政の施策・不満等」(15 件)、「施設に預けるサービス」及び「放課後の過ごし方」(ともに 8 件)などが上位にあげられている。

自由意見		件数
1	教育、保育サービス	18
	施設に預けるサービス	8
	病気の際などの緊急時のサービス	2
	施設の充足、待機児童の解消など	2
	教育・保育環境の整備	5
	障がいのある子どもへのサポート	1
2	小・中学校	16
	授業の内容・宿題等	3
	登下校	5
	放課後の過ごし方	8
3	家庭環境	10
	保護者の就労状況	2
	子育て全般の経済的負担	8
4	地域の子育て環境	36
	子どもの遊び場・運動ができる場	29
	商業施設、日用品の買物	1
	公共施設	1
	医療環境	3
	交通環境（公共交通・道路）	2
5	教育・保育の人材	8
	保育士、教職員の確保	1
	保育士、教職員の技能（質の問題）	7
6	その他の子育て支援	6
	子育てに関する情報	3
	子育てに関する相談	1
	子育てに関するイベント、講座など	1
	子育てに関するボランティア活動	1
7	その他	26
	塾等への送迎サポート	1
	行政の施策・不満等	15
	行政への感謝等	4
	安全面の不安	2
	第三の居場所作り	2
	その他	2
合計		120

※1 つの調査票に複数の内容が記載されている場合、件数は複数回カウントしている。

小野町第3期
子ども・子育て支援事業計画策定に係る
ニーズ調査

－ 調査結果報告書 －

発 行 日：令和7年3月
発 行 者：福島県 小野町
問合せ先：小野町役場 子育て支援課